京城日報 夕刊 三月十六日（土）

對內的の犠牲となつた日支交渉

反蔣派の策動と全國代表會議 併し停頓はしない

【上海十五日發聯合】一部において日支交渉に對する支那側の態度が硬化し交渉は殆ど困難に陷つたとの説を流布するものがあるが、日支兩當局の語るところを綜合するに日支交渉は傳へらるゝが如く惡化を見てゐない、目下の事態は支那國內において反蔣介石派の策動あり且つ十五日より開會された代表大會において日支交渉問題が反對派の攻撃の中心となつてますく事態を惡化するが如き結果となる模樣があるので支那側としては今すこし統一的機運の到るをまち交渉を再開して解決を計らんとするにあるもの>如く、日本側としても支那側の立場を諒として暫らくその國を待んとするが如くである。但支那側としては自己の立場を幾分でも有利ならしめんがためすでに日支間に殆ど出來上がつた協定文章の一、二の點につき修正を求めて居るのは事實である。しかし交渉は決して停頓の憂ひはない

解決を一時遷延する

胡漢民氏の獻策＝蔣氏も承認

【上海十五日發電】支那側が公文作成にあたり王正廷氏が一旦承認した案の文字を勝手に變替して來たものは胡漢民氏一派が日本の提案に對し支那側が易々諾々賛成する如きは對內的に中央の威信を傷つくるものなるゆゑ、日支國交回復を切望するあまりやむを得ず日本の主張を默認する程度に公文を書き改めよと主張し、蔣介石氏がこれに同意せるためなりといはれてゐるが、蔣氏が胡漢民氏等の主張を聽き容れたるは第三次全國代表大會開會の折柄、日支交渉の解決を一時遷延する手段としてこの種の難問題を持出し、この間に日本撤兵後の山東管理に對する蔣、馮兩氏間の諒解を遂げんとするにあるらしい

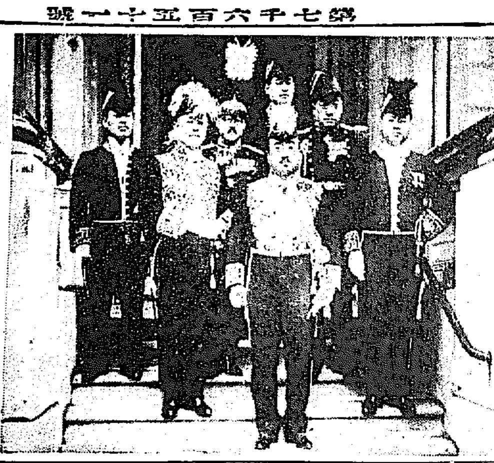
第三次全國代表大會 兎に角開會せらる

周氏南京に歸る

【上海十五日發電】周龍光氏は昨夜急遽南京に歸つたが、右は既報協定公文中の賠償に關する日支の衝突につき王正廷氏に報告するためで、今夜蔣介石氏と和議の上數日中に當地に歸り局面打開に努める模樣である

十間置きに巡警、憲兵を配置し 共產黨潛入を嚴戒

【南京十五日發聯合】湖南問題や代表選出問題などで開會を危ぶまれた第三次全國代表大會は十四日までの出席通告者二百六名に達し定數に達する過半數以上になつたので豫定通り十五日午前十時より中央軍官學校で開かれることゝなり、前日來上海から共產黨員等が潛入し來り、妨害運動を企てんとする恐れあるため市內の警戒嚴重を極め會場附近は要所々々に十間置きに巡警憲兵を配置し通行人を誰何してゐる、しかし一般に市民は平穩で代表連は朝八時から續々會場につめかけてゐる



信任狀捧呈の松平駐英大使

資金增額案の通過を見越し

農林省の對策準備 新米第一回買上は百萬石か

【東京電話】米穀法特別會計法改正案は珍しくも衆議院を全會一致をもつて可決したので、貴族院も衆議院の情勢にかんがみ大した論議もなく同案は通過するものとみられてゐるので、農林省では同案通過後即時米穀委員會を召集して米價對策に出動することに決定してゐるが、委員會では資金增額の通過を報告し新米買上げ案を諮問することになつてゐる、しかして第一回の買上げは目下の米穀事情より推して百萬石程度が最も適當數量とみられてゐる

朝鮮の簡易保險は始政記念日から實施

兩院を通過した と大喜びで山本遞信局長歸る

【釜山特電】朝鮮における社會政策的施設としてかつ民力の增強として重大な使命を持つ朝鮮簡易生命保險案の實現に關し東上中であつた山本遞信局長は該案の無事兩院通過の喜びを抱へて十六日朝釜山上陸直に歸城したが簡易保險の實施期は朝鮮始政第二十年にあたる本年秋十月一日より開始し保險加入の見込みは初年度三萬口、次年度において三十萬口、十ケ年後においては約二千萬圓に達する見込みで、この莫大なる收入は有效なる低利資金として運用することは勿論內地の實例にならつて鮮內各地に民衆保健相談所を設けて國民の健康增進に資する經費に投ずることも意義ある事業と考へてをると語り、左の如きステートメントを發した

朝鮮簡易生命保險特別會計法案とその保險に關する郵便物を無料とすることに關する法律案とが朝鮮簡易生命保險に關する法律案として今期議會に提出せられたのであるが、幸に兩案とも無事兩院を通過したので大いに喜んでゐる次第である、朝鮮簡易生命保險制度の實施は勅令を以てこれを定め大體は內地の例にならふことになる、しかしてこの事業は性質上その收入を以てその支出に當てる必要があるから收支を明確にするため特別會計を設置し、簡易保險に關するものは一切他の會計と區別にするといふのが今回の保險特別會計法案を提出したゆゑんである、かつこの事業はいはゆる社會政策的施設の一として實施せられたのであるから保險關係者を保護する目的を以て保險の事務に關する郵便物はこれを無料とする規定を設ける必要ありと認めたのでこれに關する法律案をも提出したのであるすでに法律案が議會を通過したから今後準備を急ぎ始政記念日に當たる十月一日より實施せられるやうにしたいと思つてゐる、これによつて朝鮮の民衆生活の安定を招來しその經濟力の增進が實現せられるならば誠に慶賀すべきである

會期は十日

【南京十五日發電】國民黨第三次全國代表大會は十五日午前十時中央軍官學校大禮堂で開會された、各地から集まつた出席代表は二百十余名で國民政府側よりは蔣介石、譚延闓、孫科、王伯群、張靜江、その他要人總出にて胡漢民氏司會者となり壯烈なる宣誓式をもつて開會を宣した、本會議は本日午後二時より開き會期は十日の豫定である

不參加代表は問題とせず 勢ひて押切る

【南京十五日發電】第三次代表大會は開會式後代表資格委員會を行つたが豫備會議は十六日から四、五日間開會、正式大會は二十一、二日頃となるらしい、臨時首席胡漢民氏は語る

大會の宣言は正式會議で決定發表するが、豫備會議は四、五日正式會議は六日位で濟む筈で、遲くも月末までに終了する

尚蔣介石氏は湖北湖口等の代表不參加は眼中に置かず軍隊動員の勢ひを以て一瀉千里的に大會を終了せしめんとする腹らしい

乾坤一擲

武漢派の凄い鼻いき

【漢口十五日發電】南京軍を邀へ乾坤一擲いよいよ開戰すべく決心した武漢軍の陣容は十六師胡宗鐸、十七師夏斗寅、五十五師程汝懷、五十六師張義純氏の四ケ師六萬にて武穴方面一帶に出動せる兵員數はすでに廿四萬余あり、漢口、武昌兩地では新兵軍夫の大募集を行ひ募集者はいたるところで徵發され日當廿錢の外饅頭四個づゝを支給されをり、武漢當局は漢口で一萬二千、武昌で五千、漢陽で三千の軍夫を強制徵發するやう命令した

他武漢方面の防備作業は晝夜兼行で急ぎをり、なかんづく武昌の兩方城壁を基礎としほられてゐる塹壕の如きは六十余支里におよび塹壕の間の軍用電話で完全に聯絡され頗る堅固となつてゐる

法律案と豫算の可分を容認した新例

きのふの貴族院本會議の結果 議案審議の利便

【東京電報】貴族院においては從來審査期間の規定がなかつた爲め豫算と豫算關係法律案との關係については不可分論をとり、法律案の運命を見極めた上その法律案の運命に從ひ豫算を修正可決して來たが、貴族院も豫算の審査期間をもうけたのでこれを如何にすべきかにつき論議があり十五日の貴族院本會議で豫算總會の決定通りこの可分論を承認して豫算案は法律案と切離して決定し、法律案が修正又は否決された場合はこの法律案の運命に從つて豫算案を實施することになつた譯である、これは將來の先例となり豫算案は法律案と切り離して成立しうることゝなつたので將來政府に取つて非常に好都合となつたのみならず、貴族院でも議案審議の上に大いに便利になつた譯である

兩院堆積の重要法案

政府はその成行を見て 會期延長を考慮

【東京電報】本期議會も餘す處八日となつたが、今尚兩院に堆積してゐる重要法案を見るに

衆議院 自作農案、選擧法改正案、救護法案

貴族院 肥料管理法案、勞働者災害扶助法案、陪審法改正法案、宗教法案、取引所法案、米穀法案、兩稅案、府縣制中改正法案、鐵道敷設法中改正法案等にして、右の內衆議院につきこれを見るに選擧法改正案はまだ兩三回の委員會を開きたるのみに過ぎず、政友會においては十七日の日曜にもこれを開き同日を以て質問を打切り、十八日の本會議に上程し一擧に可決して貴族院に廻附すべしといつてゐるが果してこの調子に行くや否や、なほ貴族院においては豫定の審議は遲れてゐる、一方貴族院を見るに兩稅案、宗教法案ともまづ審議完了は困難であり、その他肥料管理案および自作農案等果して審議を終るべきや否や疑問とされてゐる、これに對し政府で當面の問題としては貴族院に議案の審議を求めて議事の進行をはかりその結果を見たる上會期延長の件を考慮する模樣である

研究會最高幹部の觀測

【東京電報】政府の四年度豫算案は十五日貴族院を通過したが目下同院に堆積しつゝある重要法案の運命に關してはその成行き頗る悲觀されて居る、研究會最高幹部の觀測するところによれば兩稅委讓案宗教法案は共に通過の見込なく、近く貴族院に廻附さるべき米穀法案、肥料管理法案、自作農案等も審査期間の時日なきため成立の見込なく、又小選擧區案も同樣の意味において貴族院に廻附さるるとも結局審議未了となるべく、これに對し政府筋では會期を延長して三十一日までとし貴族院をして審査期間の短少を云爲せしめず無理押にも重要法案の審議を急がしめんとして居るが、この會期延長說は徒らに貴族院を威嚇しその反感を醸成し重要法案の審議に對し徒に反撥的態度を促進するに過ぎぬものといはれて居る

區制案

十六日で切上げんと政友會焦る

【東京電報】小選擧區制案に對し政友會ではなるべく十六日を以て委員會を切上げる希望を有し、これが不能の場合は十七日の日曜をつぶしても遮二無二委員會で可決し、十八日本會議を開きこれを上程するの策戰をめぐらしてゐる

十九日迄引延しを民政黨策す

【東京電報】民政黨は十六日の區制委員會においては原夫次郎氏を先頭に濱田、永吉氏等が質問を繼續するはずで政友會が特に十七日の日曜日も開き十八日の本會議に上程せんとの策戰に對し民政黨は是非とも十九日まで引延ばすはらで奮鬪することゝなつた

盛り澤山な京城府協議會

＝しかも新味豐富＝ 二十日から開催さる

昭和四年度歲入出豫算を附議すべき京城府協議會は二十日午後二時より開催せられるが、同日附議さるべき議案は

一、京城府廳舍新築費充當價還方法變更の件
一、昭和三年度京城府歲入出豫算追加更正の件
一、京城府第二回公債條例設定の件
一、京城府整理公債並利率六分五厘以上の府債繰上償還費充當起債の件
一、昭和四年度京城府特別會計乘合自動車費歲入出豫算の件
一、京城府乘合自動車使用條例中改正の件
一、京城府乘合自動車特別會計設定の件
一、京城府公益質屋條例設定の件
一、京城府公益質屋費充當起債の件
一、昭和四年度京城府特別會計公益質屋費歲入出豫算の件
一、府金庫事務取扱條例中改正の件
一、府稅及地方稅附加稅賦課徵收條例中改正の件
一、府稅特別所得稅條例廢止の件
一、府稅制限外賦課條例改定の件
一、京城府特別受益稅條例設定の件
一、墓地及火葬場使用條例中改正の件
一、京城府道路排水補助條例設定の件
一、京城市區改修工事費繼續年期及支出方法設定の件
一、京城市區改修工事費充當起債の件
一、小住宅新築費充當起債の件
一、京城運動場設備費充當起債の件
一、西大門公設果菜市場設置の件
一、龍山出張所新築費充當起債の件
一、昭和四年度京城府歲入出豫算の件
一、昭和四年度京城府歲入出豫算追加の件
一、府外給水の件
一、京城府傳染病豫防費汚物掃除費充當價還方法變更の件

以上二十八件にのぼり、京城府は初まつて以來稀なる莫大なる本會議となり、議會も四月中旬までかゝるものとされてをり、殊に現府協議員にとつては最後の議會なので、その論議は細微にわたることゝ期待されてゐる、新豫算の**主なるもの**は、受益稅の設定で、これによつて都市計畫の遂行をはかるものであり、新規事業としては細民の金融機關たる公益質屋設定、細民住宅四百戶の新設、乘合自動車の創設と、一區五錢の値下げ、一千十萬圓の道路鋪裝計畫着手、京城運動場の改築、京城府龍山出張所の新築、西大門果菜市場新設と昭和三年度豫算の追加となつてゐる百八十五萬七千圓の六朱パー第二回公債の發行などであり、頗る廣汎多岐なる新事業、新施設により、同會の審議は注目せられてゐる

陸軍異動

【東京電報】十六日發令の陸軍異動左の如し

陸軍少將 服部英男
任陸軍中將

陸軍航空大佐 鷹本恒治
同 砲兵大佐 垣內豐禰
同 航空大佐 櫻井齋弥
同 輜重兵大佐 飯田恒次郎
同 騎兵大佐 市瀨源助
任陸軍少將（各通）

軍事參議官兼航空本部長陸軍大將 井上幾太郎
免兼職

第七師團長陸軍中將 渡邊錠太郎
補航空本部長

同 支那駐屯軍司令官 新井龜太郎
補第七師團長

同 軍馬補充部本部長 和田謙吉
補支那駐屯軍司令官

軍馬補充部本部附陸軍少將 吉岡豐輔
補軍馬補充部本部長

陸軍少將 市瀨源助
補軍馬補充部本部附

第八師團司令部附陸軍少將 倉茂三藏
補步兵第十四旅團長

同 步兵第十四旅團長 石丸志都磨
補第八師團司令部附

同 輜重兵監部附 橫須賀辰藏
補輜重兵監

陸軍少將 鷹本恒治
補基隆要塞司令官

同 垣內豐禰
補對馬要塞司令官

關東憲兵隊長 同 小山介藏
同 櫻井齋秀
基隆要塞司令官 同 松田常太
待命被仰付（各通）

砲兵第二十五聯隊附砲兵中佐 尾山武
待命被仰付

步兵第七十六聯隊附步兵少佐 佐澤秀雄
補步兵第八聯隊附

近衛步兵第三聯隊附步兵少佐 長谷川劍之助
補步兵第七十六聯隊附

步兵第七十七聯隊附步兵中佐 山口三郎
補第九師團參謀

熊本教導學校附步兵中佐 阿部規秀
補步兵第七十七聯隊附

步兵第七十八聯隊附步兵少佐 稻元藤次郎
補步兵第七十聯隊附

步兵第七十八聯隊附步兵少佐 的野憲三郎
補步兵第六十三聯隊附

步兵第七十五聯隊附步兵中佐 星見志郎
待命被仰付

兵器本廠員步兵少佐 眞野四子武
補步兵第七十六聯隊附

步兵第七十三聯隊附步兵中佐 新納時秋
補步兵第七十五聯隊附

第十九師團參謀步兵中佐 村上讓正
補步兵第七十三聯隊附

步兵第三十四聯隊附步兵中佐 秋山充三郎
補第十九師團參謀

豐橋教導學校附步兵少佐 田村仁三郎
補步兵第七十三聯隊大隊長

步兵第七十三聯隊大隊長步兵少佐 稻野文吾
補豐橋教導學校附

步兵第三聯隊附步兵少佐 市吉貞夫
補步兵第七十五聯隊附

步兵第二十三聯隊附步兵少佐 井上猪三郎
補步兵第七十七聯隊附

步兵學校教官步兵少佐 番行德
補步兵第八十聯隊大隊長

步兵第七十七聯隊附步兵中佐 眞志田米次郎
步兵第七十八聯隊附 村井矢之助
待命被仰付（各通）

陸軍大臣秘書官兼陸軍省副官步兵中佐 井出宣時
補步兵第八十聯隊附

陸軍士官學校教官步兵少佐 北島卓美
補鎭海灣要塞參謀

野砲兵第二十六聯隊大隊長砲兵少佐 熊丸光雷
補舞鶴重砲兵隊附

野戰重砲兵第二旅團副官砲兵少佐 中島要吉
補野砲兵第二十六聯隊大隊長

咸興衛戍病院長二等軍醫正 猪田直行
待命被仰付

鎭海灣要塞參謀砲兵少佐 篠崎正傳
補野戰重砲兵第七大隊長

旅順重砲兵大隊附砲兵中佐 味岡毅彥
補野砲兵第二十五聯隊附
（以下前刊）

歲費値上案と別途に議員優遇案提出

＝この案ならと＝ 鶴見氏の奔走

【東京電報】歲費値上げの御手盛案が漸次具體化せんとしつゝある折柄中野正剛、鶴見祐輔氏等は十五日協議の結果、別途の議員優遇案を近く提出することになつた同案によれば議院內か或はその附近に一大ビルヂングを建てそれを議員專用の部屋に宛てて室內の設備も近代的なものにして書齋にも應接間にもなり、地方議員などはホテル代りにさへなつて大に議員の品位を向上し、然かも從來の滯在費その他を節減せしめて、消極的優遇を圖るといふ今の議員達には勿體ない程結構なもの一兩日中に鶴見氏の手で成案し各派から賛成者をこふことになつてゐるが、早速賛成してゐるのは實業同志會の武藤氏、無所屬の鈴木文治氏等でこの案ならば餘り評判もわるくなささうだから賛成者も大部あるだらうし歲費値上げ案の不評判の折柄耳よりの案といはれてゐる

辭令（十五日附）

慶北知事 今村正美
黃海知事 朴相駿
出府を命ず
京城及平安北道へ出張を命ず

參政權建言

國民協會から 兩黨總裁に

國民協會長金明濬氏は十四日付を以て政友會および民政黨兩總裁に對し衆議を以て朝鮮に衆議院議員選擧法を施行する事を決定しこれを帝國議會に建議し政府をしてこれを實施せしめられん事を建言した

會

卒業式 セブランス聯合醫學專門學校は來る廿日午後二時三十分、淑明女子高普は同日午前十時各卒業式を擧行

京城聯合基督教會（南米倉町）十七日午前十時半より長谷川牧師の禮拜説教、午後八時より同牧師の聖書講義あり（來會歡迎）

人

◇山本遞信局長（遞信局長）東上中の處十六日午後七時四十分着列車にて歸任
◇武田左右太郎氏（林野調査委員會副事務官）慶尚南道へ出張中十六日歸城
◇日比優氏（專賣局新義州出張所長）十五日入城
◇黑川新作氏（京畿川端警察署長）十五日夕入城朝鮮屋旅館へ
◇高橋禎輔氏（日本トラスコン鋼材會社重役）十六日同上▲齋藤勳氏（全州製糸會社々長）同上
◇錦織定岩代氏（東亞土木公司支配人）十六日朝入城不知火旅館へ▲鈴木幸太郎氏（滿洲製粉鎭南浦工場長）同上▲西村伊之助氏（福岡明治鑛業技師）同上
◇渡邊彌象氏（淸水組京城支店長）は滿洲旅行中病氣に罹り大連滿鐵病院に入院治療中三月十二日死去した、葬儀は十八日午後五時府若草西本願寺にて告別式執行
◇久松本社庶務部長病氣中十六日より出社

あすの天氣（17）

觀測は蒙古から滿洲地方に掘りて本邦方面もやゝ氣壓が高い、其の傾斜は緩慢である、全鮮一般天氣良く時々曇で木浦には霧がある明日は天氣良く暖かい

豫報 晴一時曇

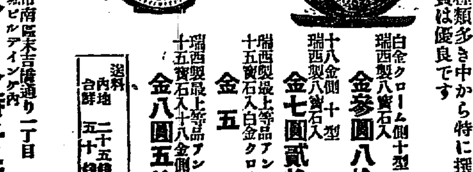
氣溫	十六日正午	一〇・三（攝）
	十五日最低	零下一・八（攝）

妖鬼流血錄（第四面に掲載）

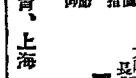
御印判御申込下さい 見本御入用の方は店章
黑紺サージ
專門で安くて品切せぬ
黑紺サージ・セル見本進呈
株式會社 森居保商店
大阪市東區谷町二丁目
電話東二六八九・七三五
振替大阪一一四
創業明治貳拾五年 セル專門

瑞西本國撰擇の堅牢腕卷時計
當商會は從來全國同業者に販賣して居りましたが今回一般の方にも直接販賣する事になりましたから即刻御買求め下さい種類多き中から特に撰定したるものでありから品質は優良です

新型腕時計輪着



白金クローム側十型 瑞西製八寶石入 金參圓八拾錢
十八金側十型 瑞西製八寶石入 金七圓貳拾錢
瑞西製最上等品アンクル十五寶石入白金クローム側 金五圓
瑞西製最上等品アンクル十五寶石入十八金側 金八圓五拾錢
送料 內地 二十五錢 台鮮 五十錢
値段表進呈



御一人一個高尚なる指環 御注文の節は男女別御書添乞ふ
瑞西、紐育、上海
大阪市南區末吉橋通り一丁目長堀ビルデイング內
スイス時計商會 直輸入卸部
電話船場三九三・四五二一
振替口座大阪四七七五

世界的發見
專賣特許 りん病根治療法
（慢性淋病）血尿、いたみ、ウミ、消渴、こしけ、にて困る人酒も煙草も運動も止めず自宅でヒミツで完全に治る
（ハガキで申越次第說明書無代送す）
大阪西成區東皿池町三 筒井回進堂

世界的に最も信頼さるゝ
完全膣殺菌錠
セモリ
膣內ニテ持續性强殺菌泡ヲ發生シ其擴大カニヨリ最深部ニ浸潤殺菌シ生物ニ最モ完全ナル膣壁ト殺菌ノ重複作用ナス無毒性ナルガ故ニ使用久シキニ亘ルモ障害ヲ來サズ
●花柳病豫防ニ用ヒラル
圖說明書進呈
輸入元 大阪南本町四 尾村商店
代理店 東京本町四 田邊元三郎商店 大阪伏見町三 光榮商會

本欄特別廣告取扱 大阪高麗橋五 昭廣社

拳銃で大膽な脅迫
府外に延びた怪盜の魔手
きのふもまだ宵の口 內地人農家を襲ふ

俄然府民の耳目をそばたてた置屋荒しの怪盜事件がいよ〳〵迷宮に入らんとする折柄、またく始興郡西二面安養里農家安江正三(四一)方に說教まがひの强盜事件が突發した。十五日午後九時半頃白の朝鮮服を纏つた鐘路の男が同家表戶で『ごめん下さい』と猫なで聲でいふので訪問客だと思ひ、主人正三が應接に出るやくだんの男は流暢な內地語をもつて『安江さんお金を少々戴きにまゐりました』といふので、主人正三が余りの突差に呆氣にとられて驚いてゐるのを重味のある沈靜な聲で靜めながら、雄用のゴム足袋をぬぎすて奧の間に主人を導き入れ懷中からおもむろにピストルをとり出し『お金がほしい丈です』と主人を輕く脅かし、主人が『家にはこれだけです』といつて財布を與へると、くだんの怪漢は中をあらためて『もうないか』といひながら十圓紙幣と三枚の一圓紙幣を懷中し、殘り四十錢入りの財布をそのまゝ主人に渡して午後十時頃悠々と表戶から裏山の森中に姿をくらましてしまつた

犯人の目星は 皆目つかない
置屋の犯人と手口は相似 永登浦署が非常線

ピストル强盜の急報に接した永登浦署では刑事十數名は直に非常線をはると同時に金司法主任ほか刑事數名はいづれも護身用の拳銃を手にし現場に急行搜査を開始したが、犯人の手がかりとなるべきものは一つもなく、たゞ被害者安江から朝鮮服の背丈を知りうるのみで人相は皆目わからず、朝鮮人とするには內地語の發音が余り巧で被害者の耳にした發音からはむしろ內地人とおもはれたといふ事である。なほ先に發生した南山町の置屋を襲つた說教强盜犯人について警察ではたゞ一つの疑問となつた足跡のない點に關しても安養農家荒し事件の犯人は皮靴にもその疑問に對し解答を與へてゐるものゝ如くその

犯行 の全くわからぬ點が第一、足跡を殘さぬといふのが第二、第三は、拳銃であるといふ點および內地語が上手で、あるといふ點、最後がいはゆる說教まがひであるといふ點の、この五點から置屋荒し犯人と全く符合してゐる處がある、たゞ、一つちがつてゐるのは兇器が先のは短刀であり、安養のは、ピストルであるといふ事であるいづれにしても置屋荒し事件が迷宮に入らんとしてゐる折柄この說教まがひの第二怪盜事件は何かの

關係 がなからうかと早くも取沙汰されこゝに益々府民の耳目をそばだてしむるに至つた

指紋も駄目 手懸り全くなし
刑事連は徹宵搜査 裏山を完全に包圍

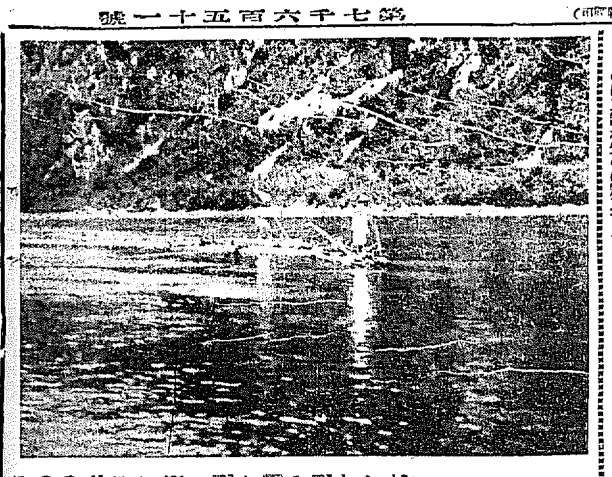
右につき永登浦署では語る 現場に急報を受けた署では刑事の一隊をつれて現場に急行したが犯人が裏山へ逃亡して居たゝめその人相なども皆目わからず、殊に證據品、遺留品に指紋等も殘さず犯行を仕遂げたので、犯人が內地人か、朝鮮人か、前科者かさつぱり見當がつかない、犯人が逃げのびた裏山を直に包圍し刑事連は徹夜現場から搜索搜査をつゞけて居る

李刑事課長語る

右につき李京畿道刑事課長は語る 置屋の强盜事件について再び永登浦署管內でこんな事件が起り驚いてゐる次第である、犯行の手口から見て未だ南山町のものと同犯人なるや否やのことも又內地人か朝鮮人かも判明せぬしかし現場にしてピストル用の兇器を所持し裏門から悠々と押入つた圖々しい手口等は或は南山町のと同犯人でないかとも見られる

被害者の宅は一軒家

强盜に襲はれた安江正三(四一)方の附近には人家としてはなく全くの一軒家で同家の裏は直に山續きになつてをり、强盜は犯行後この山に逃げこんだものである。



手權一本に命を托し 國境に稼ぐ筏夫の群れ
一葦三百里に春が來て 晚夏へかけての忙しさ

大分あたゝかくなつて來た、春である、漢江、大同江の結氷は早くもあとかたなく流れてしまつた。鴨綠江も解氷期が迫つてゐるさうで氷はゆるみ、流氷は豪落溺死を衰々と報じてゐる、南から訪れてくる雁、鴨の群がモウ北に遡り鴨綠江にまで進んでゐる。

×

新羅半島にも春が來たのである。この春の訪れと共に朝鮮を訪ふ者がある、春五月和歌山、岐阜、奈良の各縣から募集されて來る六百の筏夫は十月の末まで小手棹一本に命を託して森林の斷層を貫く鴨綠、圖們の兩江に活躍し、そうしてその六月に稼ぎ貯めた金をたんまりふところにして妻子ある郷里に歸つて行く。その時朝鮮には秋が訪れ大陸から吹いて來る風は肌にも寒氣を覺える頃である雁や鴨の群は暖かい南國を求めて南へ〳〵と向つてゐる頃である 筏夫さんは雁と共に來り、雁と共に去る夏の朝鮮を賑はす動物である。

×

山林部に今年の筏夫募集狀況をきくと內地人が、鴨綠江五百二十三名(內七十一名在鮮者)圖們江四十二名、計五百六十五名、朝鮮人は鴨綠江七百九十六人、圖們江四百二十名計一千二百十名である、內地から募集する筏夫の六百余名は主として和歌山、奈良、德島、岐阜、愛知の諸縣長谷川や日高川、熊野川、十津川等の流を渡りきた腕に覺えた一騎當千の腕達者なものばかりである

×

彼等の活躍は鮮底鴨綠の朝鮮人筏夫などがおよぶ所でなく腕と腕の鼓節に立派に技術で行くことが出來るのである

×

筏夫の賃金は出來高拂ひ一尺毎につき幾何となつてゐる、朝鮮人と內地人とを區別するが如きことは全然なく、官吏などのやうに內地人だからといつて六割の加俸もなければ舍宅料もない、しかし內地人筏夫は朝鮮人筏夫より三割方腕前が强いといふ

×

筏夫さん一ケ年の稼高は最高千三百圓普通七百圓內外である、夏の六ヶ月に千圓近い金になるのだから、この不景氣には決して惡くないわれもわれもと應募して來るゆゑんである

×

この筏夫さんが東鮮を舞臺に活躍するやうになると冬の寂寥を破つて國境三百里は活躍の夏となるのである、白粉の白い女が增加し、宿屋が出來、料理店が新に開業するそうして國境に金がおとされ國境の賃金時代が現出するのだ、その賃金時代がもう目前に迫つてゐる春が來た、そうして夏が來る(寫眞は鴨綠江の筏流し)

急行列車が顚覆 死傷者多數の見込
けさ山陽線の椿事

【東京至急報鐵道省着電】十六日午後十時十分下關發二等急行列車が午後零時二十五分頃山陽線富海戶田間を通過の際突然大音響と共に機關車脫線ついで客車五輛脫線顚覆した死傷者多數の見込

北コーカサスに大洪水

【ロストウ十五日發】北コーカサス地方は最近の大暴雪につゞき大洪水あり、多くの村落の住民は目下避難しつゝある。

强盜騷ぎで一狂言 橫領店員拘留さる

【釜山特電】五人組强盜が逮捕されず市民をとがらしてゐる際十五日夜十時頃顔色をかへた內地人青年が釜山署に出頭し、龍頭山公園の松林中にて四名の追剝に襲はれ持してゐた現金三百圓を强奪の末逃れた旨屆出たので、すはと署員を總動員して龍頭山一帶は勿論大搜査を行ひ美座警察部長出動して現場の實地臨檢をなしたが、その形跡がないので嚴重取調べたところ、佐賀縣多良村高時釜山府寶水町二丁目古物商川崎柳治(二七)と稱し古物商組合の會計であるを奇貨として三百圓を橫領して娼婦にみつがんとして一狂言したことが判明し留置所へほりこまれた

饗宴場拜觀を延期

【東京電報】御大禮後の紫宸殿大嘗宮饗宴場の一般拜觀は更に四月三十日まで公開延期されることゝなつた

御大禮記念牌を配布

總督府では御大典に際し地方賜饌の外一般御大典事務に盡瘁した官吏に對し勞務の意味で御大禮記念牌を授與することゝなり、豫て廣島の斯界者に製作依賴中であつたが、數日前製品が到着したのでそれ〴〵目下配布中である

大人氣の兩君 上棟式の珍趣向

眼く全戰の凍職を集めて絢爛なる鎭山を前に建設される日本海々戰記念塔の上棟式は軍部官民二百余を集めて十五日同所に盛大に擧行されたが、その會場で鎭海要港部司令官の夫人や令孃の手になる珍趣向が行はれ、滿場の人氣を呼んだ。これは司令官々舍の愛犬ジョン、ピスの兩君の背中に軍艦の模型を結びつけ『この穴から御寄附を願ひます』といふ札をつけて參會の人々の醵を記念塔に寄附する意を誇つてあるいたもので、この思ひつきの企ては非常な喝采を博し、またゝく間にジョン君は五圓五十四錢、ピス君は四圓二錢計九圓五十六錢をかせいで大成功をおさめた(寫眞は夫人と令孃に引かれる兩君)

ヒス女が投身自殺 夫のため救助さる

【釜山發】十五日朝釜山入港の關釜連絡船德壽丸が第一棧橋へ橫付して乘客の下船を開始してゐる際突然右舷後部板から身を投げ自殺を企てた廿五歲前後の婦人があり、驚いて同行の男が救助のため飛び込み大騷ぎとなつたが、さいわひ救助に向つた艀に助けられ別條なきを得た、男は水原郡日新面軍里二〇八番地自動車運轉手相沐俊(三〇)と同人妻(二五)にて八歲と六歲の姉弟をつれ、夫と共に東京より歸鄕の途中持病のヒステリーが發作に起こつたものゝ如くで釜山病院で手當をうけ、同夜鄕里へ向つた

今夜(十六日)七時から
城大卒業記念講演會
—來聽歡迎— —入場無料—
來青閣

日本畫壇の中堅を網羅
審査員どころも加はり 第一回展を開催

近來內地より朝鮮へ畫家の流入するもの甚だしかつたり、或は畫家の行商的旅行者非常に增加して、各自日本畫家の鑑賞的態度に出で、殆ど何れを信じてよいやも知れず、一家的な相場といふものも決定されない有樣となつてゐるといふので來る二十三日四、五の三日間本町において朝鮮畫壇の中堅作家を以て現代日本畫壇の中堅的作家の第一回展を開催することゝなつた。募集作品は後六十點余りでその出品畫家は福田惠一、山華楊、小川泰郎、部木保之助、大河內俊江、築本一洋、岡本光、登內微笑、源守明、上村松園、矢野橋村、池田遙邨等各氏の作を中心として、審査の先輩小室翠雲、入見少華、前田青邨、宇田荻邨、中村大三郎等に橋本關雪氏の作品も加へられて京城における近來の畫壇を見るまじめな展覽會として期待されてゐる

日曜日は好天氣 氣溫は少し降ろう

眼もあけられぬ黃塵まぢりの烈風をうけて、日曜日を明日にひかへ京城は十二日午前七時頃には氷點下〇、五度まで低下した寒さの後をうけて、十六日の正午には攝氏一〇、五度にまで上昇して昨年よりは六度高、平年にくらべて八度高といふ。近來まれにみる好天氣、朝頭から街は非常の賑を呈した京城測候所に聞けば目下高氣壓は支那北方にあつてゆるやかに東進し、一方本邦南西部洋上にも高氣壓が現れて、氣壓配置は至つて簡單になつてゐますが、十七日頃から氣溫は少々下りませう、しかし日曜日は京城近郊は非常な好天氣にめぐまれるでしやう

損害は四萬圓 ゆふべの龍山の火事

既報十五日の府內漢江通三五番地和洋雜貨商和氣貞利(三五)方から起つた火事は消防隊の活動よろしきを得たが同所は家が建て込んでゐることとてまたゝくうち日本建二階建木造住宅二戶、日本建トタン葺平家四棟十戶、日本建平家瓦葺一戶、日本建木造トタン葺倉庫二棟百五十四坪を全燒、損害約四萬圓に達し龍山署では近來にない大火であつた原因は取調べ中

勞農葬はお流れ 當局の不許可

【大阪電報】既報大阪における故山本代議士の勞農葬は十五日執行の豫定であつたが當局は許可せず警察では嚴重に警戒して葬儀をとざし、私服の警官隊は人垣をつくつて蟻の這ひ込む隙もなき警戒で會場に押かけた勞農黨員を急に縱擊され

佐藤係長を表彰 渡邊、小熊兩氏から

京城驛構內出火の際、消防組の組頭宗太郎氏の壯烈な死は府民の同情のまとゝなつたが、その際、消火に當たり功勞多かりし同組第二部係長佐藤誠雄氏も渡邊知事小熊消防組頭より表彰を受けた

入學生徒帽子!
京中・龍中 3.30 3.00 2.50
京商・道商 3.30 3.00 2.50
本町 キタムラ

北條時敬氏 容態險惡 今朝にかけて愈よ惡化

【東京電報】赤十字病院にて療養中の北條時敬氏は昏睡狀態惡化し十五日夜は衰弱のため一睡もせず十六日朝に至るも依然として容態險惡である

龍中 合格者 (五十音順)

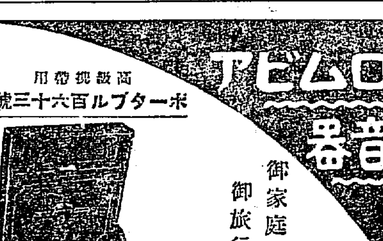
▲阿久津彦夫▲阿部龍一▲阿部果▲青山靜一▲赤峰平則▲秋葉市郎▲淺野茂▲有留隆雄▲栗屋小二男▲井澤邦彥▲井川弘行▲池田徹一▲石崎磯▲石田一夫▲石津久男▲石堂勝▲石原安彥▲今村要▲岩瀨武雄▲岩崎正巳▲岩淵守正▲岩室隆一▲上原徹夫▲上床良夫▲牛島留男▲內俊則▲內田幸一▲馬場原正良▲江口宏義▲小川潤▲小川良一▲尾崎文雄▲大岩龍一▲大賀錦夫▲大川禮三▲大坂弘▲大島徹郎▲大原隆▲大塚節夫▲大橋淸▲大村雄▲岡大作▲岡田弘▲岡本辰美▲岡本洋一▲奧田▲奧山龍二▲鬼塚俊▲加藤捻國▲柏原學一▲金井正則▲金古一郞▲川上弘平▲川口文男▲河野通直▲河野雄吉▲成瀨熙▲木村辰一▲木村照夫▲木村晋▲木村泰彥▲菊田孝治▲北弘▲淸勝久▲久保田善雄▲小坂橋幸夫▲小西俊雄▲小林嘉一男▲小林謙▲小林六八▲小林隆▲小勝吉▲小崎恒▲小宮隆▲古賀市▲古賀志男▲近藤一彌▲近藤昭▲金野久▲佐久間圭次郎▲佐々八郎▲佐々木龍馬▲佐藤辰之助▲佐藤秀田穗▲佐藤宗男▲佐藤守備▲齋藤克彥▲酒井龍太郎▲堺淳之郞▲櫻井勉▲櫻庭武▲猿渡秀人▲澤築樹▲執行知明▲澁谷剛▲藤一▲島竹清夫▲神宮保夫▲杉貝弘▲杉原吉人▲鈴木行雄▲瀨戶勝次▲宗辰太郎▲田島涉▲伊逸賀三▲田村尙次郎▲高木孜▲高崎嘉明▲高橋一郞▲武田作平▲玉田正則▲千治松彌太郎▲千葉和夫▲趙成淳▲塚本朗▲戶津清▲鳥栖研一▲土井乙巳▲德永幸司▲德弘貞吉▲富田學▲富永一惠▲中島辰巳▲中谷正彥▲中谷巳代治▲中野隆正▲中野幸▲中村米七▲中村千里▲中村勉▲中村誠(受驗番號一〇七)▲永元要▲永吉久光▲長澤孝雄▲長沼靖▲相樹▲新田小一▲西田彼太郎▲西村四二▲野口辰巳▲野田拓▲野々村鐵三▲波多江泰正▲蓮沼義一▲林正巳▲原一雄▲原田修▲平井淸一▲閔庚俊▲福島磯▲藤原良太▲古川澄男▲邊昌煥▲星川高雄▲朴熙贊▲牧嶺▲松尾正男▲松田有博▲松村正二▲松山義直▲三宅忠久▲三宅義夫▲水谷博▲光宗淸▲滿田鎭定▲宮崎俊郞▲宮田嘉雄▲宮西弘▲武藤武夫▲向野志津雄▲村上旺▲茂木正雄▲森喬昭▲森秀喬▲森非勝▲諸岡純男▲山內利二▲山內敏行▲山內久男▲山川莞一▲山崎榮一▲山下俊雄▲山下文男▲山田正五▲田俊六郎▲山田政次郎▲山本滋夫▲山本貞二▲山本昇▲山本博▲湯淺貞利▲吉川太三郎▲吉田長生▲吉松丘▲李起戰▲李忠儀▲李文豹▲和田守▲渡邊貞夫▲渡邊茂▲渡邊男義▲渡邊義章(以上二百三名)

十日藥
りん病
朝鮮總督府認可 大阪府認可
責任請合
從來の生地惡性の淋病セウカチにて年を經たるものでも如何にキヤメあるかを一非常に試みられよ
五淋白濁 一瓶斷根
價表 急性用 五日分 特製十日分 慢性用 慢性大症用 金參圓 金五圓五拾錢 金拾圓
本舖 大阪市東區內淡路町二丁目 隈田春日堂大藥房 振替大阪四一七三〇番 電話長堀三三六四番

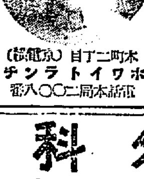
頭痛にノーシン

ぢんそう 膀胱炎 難病に苦み御療法効なき方切手壹錢中込あれ良藥人助に報ず 本舖 和歌山市 年販藥劑師 自療堂

コロムビア蓄音器
高級携帶用 ポータブル百六十三號
御家庭に!! 御旅行に!!
正價金百九十圓也



大學、專門學校制服
不變色紺及び黑セル
三十五圓均一提供
京中、龍中、各中等學校制服出來!
丁子屋 南大門通



和洋一品料理及定食
宴會は四十人位は樂です
本町二丁目 ホワイトランチ (京龍館) 電話本局二〇〇八番

外科 植村病院
院長醫學博士植村俊二
京城永樂町二丁目 電話本局二七九〇番

大蒜は胃腸を強く 病を防ぎ 營養價に富み 能力と精力を增す
大蒜製 アルリー
京城本町 新井藥房
京城本町 藤屋
釜山 藥店
木浦 藥店
馬山 藥店
鎭海 藥店

優秀 大印 三ッ穴煉炭 發賣
卸 小賣
京城府西界洞四七
製造元 昭和煉炭商工社 電話龍山一〇四〇

初生雛
吾が北海鷄は白痢根絕優良强健なる多產種の
アトキンソン系 タンクレット系
自家飼育鷄の種卵のみを孵化致し强健なるヒヨコを特價提供す
白レグ專養 鷄卵販賣
金華園養鷄部
園主 渡邊權次郎
釜山府寶水町二ノ八四

弊社京城支店長渡邊舜象儀滿洲旅行中罹病大連滿鐵病院ニ於テ參月拾貳日死去致候間此段御通知ニ代ヘ謹告候也

追而來ル參月拾八日午後五時ヨリ若草町西本願寺ニ於テ別式執行可仕候

昭和四年參月拾六日

合資會社 清水組

防貧、救貧のために

醫藥の國營

日本は診療費も藥價も高過ぎる

鈴木梅四郎氏談

日本には醫師會といふものがあつて診察費藥價等をきめて各その規約を守つてゐるが、それは相當に高價である。それで一ケ月七、八十圓位の收入の者は醫者にかゝる事も出來ない。まして入院すれば一ケ月三百圓位はかかる。でかうした醫藥關係によるものは一體の

◇……金持階級 で多數の者は近づく事さへ出來ない。施療といふものがあるが、これは貧民の行く處であつて、それなら實際に多くすべての貧民は行く事が出來ない。今日の施療機關は四分の一の人が利用出來るのみで殘りの四分の三は貧民として施療を受けるか、さもなくば借錢をし現は貧困へかよはなければならぬそれでも醫かず天命を全ふする事が出來ないものが多い、現在地方の醫療には六萬乃至十萬以上を要し、自費をもつて迎へなければならないこれでは貧民がみて貰へないのは當然である、たまくみて貰つても貧民と金持とは醫者の待遇が違ふといふ有様である。

◇……人命の尊 さが偉人も馬夫も富豪も貧民も同じであるといふに異論はない。然るに實際は四分の一の權力者の命を大切にし四分の三の貧民の命を粗末にしてもよいといふ事になつて居る。これは誰が責むべきか、醫者のみの責任ではない。醫者は個人の經營であるからなるべく收入を多くしやうとすればさうするより仕方がないといふ醫者側の申分もあらうそこで私はこの問題について久しく研究し、先年世界各國をめぐつてその制度も調べて見たがつまり醫療は國營でなければならないといふ事を知る事が出來た。世界中でドイツは最も醫療の進歩した國であるが、その進歩は健康保險の制度でさへ矢張りいゝ醫者は富者にして居るので、金持ちはいゝ醫者にかゝれるといふ事になつてゐる醫療はどうしても

◇……國營とし て國家の擔任すべき性質のものである。そしてもつと進歩した完全な制度によつて貧富平等にその恩惠に浴する事が出來るやうにしたいと思ふ。たとへば具體的にこの方を考へて見るのに政府がその任にあたつて三府四十三縣の中央に大病院をたてる事そして五萬の醫師を全國に配置し病めば何人も直ちにこれにかゝれるそれにはかなりの資金が必要と思はれるがそんなものでもない。今から十八年前明治四十四年明治大帝は救貧防貧の目的を以て詔をお下しになり、時の桂內閣は大臣にお答へ奉つて濟生會をはじめたが、これは救貧だけに止まつてゐる。どうしても防貧救貧の兩方面が必要である。防貧兩者は缺を

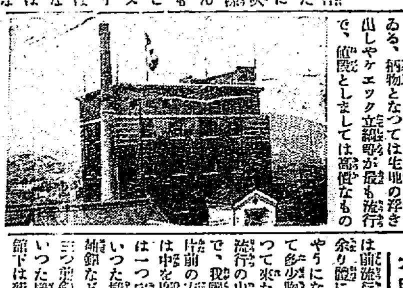
◇……輕い間に なをす事である。貧民の七割は疾病から起こつてゐるといつてもよい。ゆゑに防貧にはたやすく醫療を受けうる事が大切である、このやうな現狀であるから醫療國營の問題は是非とも多くの人の賛成を得て實行に移らなければならない、醫療國營

今年の

流行色

三中井吳服店の調べ

子供服 いちじるしく都會の風潮から潑剌たる小供の姿を消したならあまりにも寂しいことであらう、角帽を吹くピーターパンの純眞、千態の陽な潑剌さ無邪氣さ愛くるしさみんな子供の服裝の流行基調となるものである。本年の流行はすべてこゝから出發して考案され、そのスタイルは一般流行の變遷をうけ樣まはりの淺いものがよろこばれ、スカートもスリーブも輕快な短いものがはやつてゐる、色合は總じて暖色のものが多く近代的な感覺を醇化し、國民の健康を世界一として優秀なる國民を作ることを目標してやまない次第である



明朗は派手好みの色彩がよろこばれ、三中井吳服部では一意新しいスタイルの新案に苦心し、本年もまた流行界の代表をもつて任じてゐる、織物となつては生地の浮き出しやケエック立縞等が最も流行で、値段としましては高價なものよりも實用を主とした値頃品の方が最も一般から歡迎されもしてゐる。

大服人 今春流行の代表的背廣服のスタイルは前流行期に行はれたもの丶如く余り變に奇抜さぬやうに調整するやうになつた、腰下にフセを取つて多少胸部の輪郭を現すやうになつて來た。目下歐米では腰部が流行の中心勢力を占めてゐるやうで、我國においては體格の關係が背前の方をよろこばれてゐる。鈕は中背を離く丈の長いのが好まれ、鈕は一つ穴の二つ鈕二つ穴三つ鈕といつた樣なのが多く流行してゐる、補鈕など前鈕が二つなれば補には三つ、前鈕が三つなれば補は四つといつた樣だ（寫眞上は三中井の新館下は新館より見たる京城市街）

古典味豐かな

清元の夕

明十七日本社で

名流をすぐつて

本社後援、清元同好會主催の第一回「清元の夕」はいよいよ

十七日 午後四時から本社來青閣で開催するが、この會が一たび發表されるや、斯界から非常な期待を受けてゐるが當夜は在城清元の大家、延久榮、家內君師匠の熱演を中心にして、家內君師は自らその一齣を承めて立つといふだけにその清元の粹を披瀝することはもとよりのことである

聲では 朝鮮一といはれてゐる大經の老妓お多美を初め千代、秀治、三助等を初め在城の美聲老くが覇を爭ひ三味線に非凡の手腕をみせるといはれてゐる芳奴秀千代、福千代、勢助以下京城の花街から一流をえりすぐつてをり、かてゝ加へて久榮門下は久榮師匠最近東京からもたらした清元の新味を出すことに腐心して

練習を つゞけてゐるので十七日夜は古典味ゆたかな日本情緒が開かれやうといふものである。入場料は一圓でプレイガイドでは切符の前賣をやつてゐる

矢ッ張りキング

ヤッパリ『キング』は雜誌の王者だ。面白い！安い！と四月號到る處ヤッ張り凪で大賣行！

清元の夕に出演の人々

上段（右）延久榮（中）家內君（左）千駒（右上より）多喜菊、君男、芳三助、松長ヱ、千代、秀治（左上より）多喜菊、多美治、秀千代、求郎、福千代、多美代

清元の夕

時　三月十七日（日曜日）午後四時

所　京城日報社來青閣

在城の名流總出演

主催　清元同好會

後援　京城日報社

會員券一圓（プレイガイドで前賣）

高畠素之君と澤田正二郎君（下）

東京　山田司海

◇…澤田君の出世 澤田君の舞臺を、私が初めて見たのは、大正二三年のころ、淺草の劇場で松井須磨子のサロメを見に行つた時である。新劇協會で、須磨子がサロメをやり、澤田がヨカナアンをやつた。非常に熱狂な態度で力のこもつた學者のやうな顏を出したので、私は『これは立派な俳優だな』と感じた。

須磨子の豐艶な肉體美にも、破眼したが、澤田君の熱心な演技にも、ある眩しさを感じた。

その後十年あまりも過ぎて、彼の國定忠治や忠臣藏の定九郎を見た。

非常にキビくした演出ぶりで時代の人の心を確に、とらへてるなと思つた。

然し殺陣では、新味はあるが、技巧を缺くうらみがあつたやうに私には考へられた。

技巧を缺くといふ事は、問題は選ぶが、新國劇の壞跡にも、さういふうらみが多少あるやうに思はれる。

然し新しき演出法を試むる者にりにも、やむを得ない、一つの道程であらう。

然し、彼の舞臺における態度についての批判は、ここに避けたいたゞ彼が、意地ッ張りの強き一面において涙もろく、かつ情誼に厚し、得意の酒その他、劇壇關係者等には、非常に當たりがよく、好評であつた點を思ふと、彼の處世上の用意の深さがしのばれる。

一座を率ゆる親分肌の、俠氣の念のこつかんであつた事も察せられるのである。新國劇の山の手劇場で赤穗義士をやつてる時、田中首相もコッソリ見物に行つた。彼はあらゆる階級にファンをもつてゐた。母校早大のために進んで寄附的の芝居をやつたり、震災後の東京市民のために、面白い芝居を見せたり、彼には社會奉仕の念も相當強かつた。

× ×

兎に角、高畠君も、澤田君も時代の生んだ最も特長ある人物で、その開拓的精神の所有者であつた事は、多くの人々に惜まれる點であらう。（終）

日本海々戰記念塔建設寄附

▲四十七圓卅八錢、潮川郡鱗拔▲四十圓六十錢、發山同▲二十七圓清道同▲十七圓三十五錢淮陽同▲二十二圓三十六錢、仁川尋常小學校▲一圓五十錢、和歌山縣山野、同▲五圓、慶北米國同▲三十圓、大分縣蘇生同▲三十圓、咸興高等同▲一圓五十錢、慶南熊川同▲一圓八十五錢、慶南多大浦同▲十圓、苑、蔚選新竹高女校、三重縣立桑名同▲十六圓十錢、臺灣新竹州苑里公學校▲五圓、苑、臺灣臺南永康同、京城府議、施富社、富山縣高岡商業校、淮陽警察署▲十三圓、大田高女校▲一圓五十錢、慶尙縣市村農學校▲十一圓、吉州警務署▲二圓、佐賀縣相知實科高女校▲三圓四十六錢、馬山憲兵分遣所▲六圓二十一錢、慶南密陽農蠶校▲三圓、大田在鄉分會▲一圓八十六錢、江界憲兵分隊▲三圓四十七錢、慶北、南普通校▲三圓五十五錢、忠南珠山▲二圓八十九錢、平北雲時同▲四圓、平北滿浦同▲六圓六十八錢、咸北雄基同▲一圓二十三錢、全南金日▲二圓五十錢、江原府谷同▲五圓、忠南熊川同▲二圓、全南山二同▲二圓九十二錢、平北鳳山同▲三圓六錢、咸北舟山同▲六圓、黃海沙里院同▲六圓六十錢、京畿水原同▲四圓三十七錢、咸南鐵平同▲一圓、平南陽德同▲四圓二十八錢、平南甑山同▲五圓二十一錢、平南沙川同▲一圓、慶北醴泉同▲五圓七十錢、慶北義谷同▲延白同▲四十錢、[illegible]

JODK プログラム

三月十七日（日曜日）

午後〇、三〇　氣象概況、各地天氣概況

同〇、四〇　オーソフオニックレコード、シンフオニーオーケストラ、ベートーヴエン第九シンフオニー指揮アルバーツコーツ

同二、〇〇　ニュース

同六、〇〇　映畫物語　朴聽晃

同六、三〇　ショウ、ダウン　伴奏 朝鮮管絃團　ハーモニカ獨奏　鶴田鴻

一、ブーランゼル將軍　二、インアリツトルスパニッシュタウン　三、ナポリタランテラ　四、安南王の行列

同七、〇〇　講談『小村壽太郎』　神田龍誠

同七、四五　ニュース

同八、〇〇　內地演藝中繼放送

▲ピアノ三重奏（大阪中繼）『イ短調作品五十番』チャイコフスキー作曲　ピアノ ブラウン　ヴアイオリン ウエックスラー　チエロ 一柳信二

▲哥澤（八時三十五分より東京中繼）『花雲命拾劍』　唄 哥澤芝勢以　同 同 芝榮　同 同 芝加美津

▲浪花節（九時より東京中繼）『向島三圍の由來』　東家樂雁　三味線

同九、三〇　氣象概況、翌日プログラム發表、時報

同九、四〇　御伽琴散調と並唱　李栗香

漫談『鐵花瓶』　尹白南

同一〇、五〇　ニュース

常盤會追善素謠會

常盤會では羽山獻德師逝いて早一週年となるので來る廿一日午後一時から府內南米倉町京城俱樂部において追善素謠會を開催する由、會費五十錢

觀世貫謠會

京城市鳥社員同好者の貫謠會にては十七日午前十一時より、黃金町清和園に於て春季素謠會を催す。因に當日の番組は左の如し。

巴、東北、賀茂、鞍馬天狗、鶴龜、安達原、八島、嵐山、菖蒲、洗小町、熊野、藤戸

大正館（十六日から）阪田蝶子、關田靜枝主演 喜劇 愛風呂三卷、柳咲子主演 さらば故鄕よ八卷、林長二郎、泉春子主演 市城街道八卷

將棋新手合（四）

香川交▲六段 平野信助　角落△三段 佐藤和孝（東京）　於東京市日本橋區蠣殼町一ノ四 讀賣新聞社

（圖は前號指了の局面）

持駒 △平野氏 歩歩　▲佐藤氏 歩

△二二銀▲三五歩△同歩▲四五歩△同桂▲同桂△同歩△三五角△三三四歩▲一七角△六五歩▲一四歩△同歩▲二四歩△同歩▲三六桂△三五桂▲二四桂（以下次號）

謝近火御見舞　井筒正宗總發賣元　平井商店酒類部　京城府岡崎町七〇　電話龍山一六七番

謝近火御見舞　京城府岡崎町八七　須川材木店　電話龍山四三四番

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地　食料雜貨　中崎支店　電話龍山三七二番

謝近火御見舞　銘酒不二正宗釀造元　淺川酒造場　京城府岡崎町　電話龍山九九一番

謝近火御見舞　南滿鐵道株式會社朝鮮總代理店　防腐劑コーラン朝鮮總代理店　建築塗料　東洋塗料株式會社　京城府岡崎町六九番地　電話龍山八三二番

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地　清水堂漆工場　電話龍山七五四番

謝近火御見舞　耐火建築材料商　京城府練兵町　三浦志郎　電話龍山三八五番

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地　廣瀨齒科醫院　電話龍山九九六番

謝近火御見舞　株式會社　宮川組　京城府岡崎町七〇　電話龍山一三三番

謝近火御見舞　三木寛　京城府漢江通三番地

皮膚科　淋疾　黴毒　生殖器障害　塩井医院　京城明治町二丁目（浪花館東）　電本三〇九〇

謝近火御見舞　京城府練兵町　秋田藤太郎　鳥栖忠安　淺谷謙一　小澤隆三

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地　大野久作

謝近火御見舞　京城府漢江通三ノ五一　小田克明　小田美髪所

謝近火御見舞　京城府漢江通三ノ五　大賀美隆利

謝近火御見舞　キングタクシー自動車部　京城府漢江通三番地ノ十二　電話龍山六〇六番　松本廣一

謝近火御見舞　大正コンクリート工業所　所主　坪川寅次郎　京城府岡崎町十四番地　電話龍山四八〇番

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地（兵營前）　兵用品事務用品　朝鮮出張店　小林又七　電話龍山五三〇番

謝近火御見舞　日鮮興業證券株式會社洋服部　京城府岡崎町九二（電車停留場前）　山口嚴造　電話龍山八七〇番　振替京城五九四番

謝近火御見舞　米穀雜貨燃料類　和泉屋商店　龍山練兵町市場　電話龍山二七〇番

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地　御料理　濱津美　電話龍山五一三番

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地　橋本理髪館　橋本房雄

謝類燒御見舞　京城府漢江通三番地　柳屋旅館　電話龍山三二四番

謝類燒御見舞　京城府漢江通三番地　谷口藥房　電話龍山三三〇番

謝類燒御見舞　京城漢江通（岡崎町停留所前）　前田材木店　電話龍山六六四番

謝類燒御見舞　菓子商　工藤富平　製造所 岡崎町五十三番地　京城府漢江通三番地　川添政吉方

謝類燒御見舞　龍山浦尾旅館　浦尾三四郎　京城府漢江通三　電話龍山三三二

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地五三　藤屋　電話龍山一〇四二番

謝近火御見舞　京城府岡崎町九〇　秋田商會木材株式會社　京城支店　電話龍山一〇一八番

謝近火御見舞　京城府練兵町六五　長谷川內科醫院　電話龍山六七四番

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地　鹿住榮八　電話龍山九一番

謝近火御見舞　京城府岡崎町六九番地　醬油製造元　味噌製造　中田商店　電話龍山八六一番

謝近火御見舞　朝鮮京城府岡崎町七番地　三幸洋行　電話長龍山二八〇番　振替口座京城三二九五番　電略（ミ）又ハ（ヤ）

謝近火御見舞　京城府岡崎町六十三番地　米島恒一　株式會社宮川組

謝近火御見舞　御下宿　松　京城府漢江通三番地

謝近火御見舞　岡崎町電車停留所前　八幡商店　主 八幡吉次郎　電話龍山五四六番

謝近火御見舞　京城府漢江通り三ノ五七　山家旅館　電話龍山六二三番

謝近火御見舞　食料雜貨　京城府漢江通三番地　金山商行　金山廣吉　電話龍山六〇三番

謝類燒御見舞　京城府漢江通三番地　石川洋服店　出張所 岡崎町六十九番地 中田尙吉方

謝近火御見舞　土木建築請負業　京城府漢江通三番地　榊谷組出張所

謝近火御見舞　京城府岡崎町六九　大一商會　電話龍山一五六番・二九〇番

謝近火御見舞　京城府岡崎町六九　早川組出張所　電話龍山一一九一番

謝近火御見舞　京城府漢江通三番地　永田善太郎（電話龍山一九一番）　京城府漢江通三番地　大木忠司（電話龍山八二六番）

謝近火御見舞　練兵町廉賣所組合員一同

謝近火御見舞　合名會社朝鮮電氣工所代理店　宮本商會　宮本末彦　京城府岡崎町十六番地

謝近火御見舞　京城府岡崎町十四　朝日石鹼株式會社　電話龍山三六四番

謝近火御見舞　京城府練兵町　龍山公設市場一同　電話龍山一八六番

謝近火御見舞　朝鮮自動車研究所　朝鮮自動車株式會社　運轉士養成部　京城府岡崎町（電話龍山五三五番）

マルツオエキス

育兒の寶

肥らぬお兒樣や通じの惡いお兒樣の唯一無二の營養劑

▲詳細說明書は御申越次第御郵送す
▲全國有名藥店食料品店にて販賣す
▲近頃にせものあり和光堂製を御指名御買求めを乞ふ

本店 東京神田區紫治町九　支店 大阪東區南久太郎町　株式會社 和光堂

桃が咲いたよ
白桃緋桃
桃の花より
奇麗になれる
牛乳石鹼
買いました

ホーサン入
牛乳石鹼

N.S.85

星印ソース

一滴！ 二滴！ 三滴！ 四滴位の星印ソースをたらすそれで 見苦しくも又不經濟に平凡ソースを波々注いだよりも數等上の複雜なる香味が 申分なく得られます。

★156

一線の人達から

紐育の生活 (八)

殖銀調査課長 守屋德夫氏

喜劇悲劇は依然として繼續するものもあれば何時までも一人の相手をとらへて交渉されつゝとめて居る熱心家もある、場上の時計が十二時を指すと例の支配人らしい男が大きな手に鈴を握つて力の限りガラン／＼と振出す、立會の中止を命ずるのである。鐘が振り上げ振下してゐたがやがて背後のドアを開けて姿は消えたが消えやらぬは喧騒の餘韻まらぬ仲買人同志であつた引け後とでもいはうかなほあきたらぬ面持ちにて取引を進めてゐる二、三人の人々もあつた。」まるで嵐の跡である、何といふおびたゞしい紙片であらう、書いては棄て、すてゝは書くメモの幾萬枚かがあだかも戰死した死骸の樣に床板にコビりついて動かなかつたこれが今日世界を賑はしてゐるニューヨーク市場の半日の光景である、この出來高が平均一日百二十萬株から百五十萬株、多い時には三百萬株にもおよぶといふ、公債類にしても一日に百萬ドルを下らないといふ。

◇

取引所なしに「ニューヨーク取引所」と題する小册子を買つた、ニューヨーク取引所の梗概を述べたパンフレットで、その歴史と題する一篇を讀んで見ると色々の意味で興味の津々たるものがある

◇

これによるとニューヨーク取引所の起因は矢張り新興米國の財政上の必要に基づくもので、革命前までは實際に證券と稱すべきものが米國にはなかつた、

逆移入で問題化した 朝鮮の砂糖供給 日糖明治互に讓らず

【東京電話】最近朝鮮より砂糖が内地へ逆移入されたる問題に關聯され、この際速かに朝鮮における砂糖の供給數量を内地同樣協定なる協定を結び、將來紛議をかもし易き朝鮮との問題を根本的に解決する必要ありとの議がこの程盛んに各社間に唱へらるに至つたので新高製糖社長石川昌次氏はこれが解決に努力することゝなり、十五日明治、日糖兩社を訪問し互讓的誠意を以て供給過剩の點を考慮されたき旨を述べる所あつたが、いひ方し日糖側は朝鮮においても内地同樣協定は工場能力に應じて數量を決定せねばならぬと稱しており、右の意見によれば朝鮮の供給數量は昨年の實績に從へば三千萬ピクルで、これは日糖の平壤工場のみで供給出來るから、もしこの點を無視するにおいては明治が特殊利益を享有して不合理であるとて極めて強硬であるが一方明治側では之に對し朝鮮地方は何れかといへば明治の地盤であるといふ事實を無視する譯には行くまいとあるから、雙方に妥協の曙光は認め得ないが石川氏が案を作製して日糖の態度に反感の意を表明して兩社の妥協をはかることになつたから、大體供給數量を三十萬ピクルとして明治にも、相當の供給をなさしむるやうに斡旋することになる模樣である

朝鮮の砂糖 逆移出中止 協定嚴守で

内地において砂糖の共同販賣が實施された當時、第一回の賣値が二十一圓七十五錢であり鮮内が二十圓前後であつたため、鮮内より逆移入を慫慂されてゐたが日糖では關門との開きが一圓十錢以上でなくては逆移入は到底に行はれないといつてゐた。然るにその後、鮮内は幾分値上がりを見たけれど内地との開きが相當あつたため、關門、市場および北海道方面へ砂糖約千五百俵即ち二百余俵の逆移入を見るに至つた。これが爲内地の砂糖業者は大脅威を感じはじめ、逆移入防止につき何等かの對策を講ずるやう供給組合に向つて要求する處があつた。供給組合では差あたり數日前から大口の現金取引でも二十一圓五十錢以下は絶對に賣らぬことに申合せなほ内地の賣値改訂に從つてその都度變更することゝなつてゐる。これがため、昨今は全く逆移入を見なくなつたが、一時的現象にしろ、逆移入を見たことは内地の糖業に大脅威となつてゐるから、早晩朝鮮にも恒久的の取きめをなすに至る模樣である

二月末 國債現在高 五十八億三千九百九十萬圓

【東京電報】大藏省發表＝二月末に於ける國債現在高は内國債四十三億八千六百九十萬圓、外國債十四億五千三百萬圓、計五十八億三千九百九十萬圓にて一月末より三千二百八十萬圓の增加である

日銀券は 發行餘力減少

十五日の日銀券發行高は、十一億六千二百五十九萬四千圓と前日より百九十三萬六千圓の增發で、十三日の十一億五千九百萬圓を最低として增發に轉んじた。このため五日以來發行餘力を出現してゐたのが十五日は餘力二千十四萬圓と前日より更に百九十三萬六千圓を減じた。

鰯の不足懸念さる 當局の諒解ない工場には 鰯供給の保證は困難

本府農務課の調査によると朝鮮における搾油機械の數は左記の如く五千七十一臺で、更に增加計畫の分を入れると五千三百五十一臺となる

道	工場數	臺數	將來計畫	計
京畿	二	一、三六八	…	一、三六八
忠北	六	六三二	…	六三二
全北	三	四三〇	…	四三〇
全南	四	四一九	一〇〇	五一九
慶北	七	一、六六六	…	一、六六六
平南	一	三四〇	…	三四〇
咸南	一	三九六	…	三九六
その他	…	…	一八〇	一八〇
計	二四	五、〇七一	二八〇	五、三五一

朝鮮における繭總額は昨年の增殖で、三十八萬六千石であるが、右搾械機械製絲工場に要する繭額は二十五萬石内外である、この剩餘繭は主として共同販賣を左右し共同販賣額はこれ又二十五萬石内外で各の所、兩者相匹適してゐる、比較以外の十三萬六千石は中部に出るのは約三萬石で殘り十萬石内外は各農家で製絲され直に地方的絹織物に使用されてゐる、かゝる現狀から見ると今後釜數が徒らに增加することは製絲家に原料不足をかこたしむる結果を生ぜんとも限らぬので、當局は諒解なく工場を設置する場合、原料繭供給の保證を與へず、現に工場設置中止方を勸告した道もある位である

鮮銀券益縮少

十五日の鮮銀券發行高は一億二百五十三萬六千圓、正貨準備五千二百六十八萬九千圓と前日に比較して發行高四十萬九千圓、正貨準備九十七萬五千圓の減少を示し、十二日の一億四百萬圓臺から連日減少をみるに至つた。かく鮮銀券の回收をみるに至つたのは滿洲特產物の出廻りがいよ／＼少なくなつたのと、鮮内關係では、米資金その他資金の需要が依然として閑散のためで、鮮銀當局はこの足取で行けば、近く一億圓臺を割るであらうと觀測してゐる

全鮮郵貯減少

全鮮を通じて二月中の郵便貯金は預入五百三十一萬七千三百六十六圓拂出五百四十三萬四千三百七圓差引十一萬六千九百四十一圓の拂出超過となり、月末現在高は二千九百八十九萬八千八百十五圓に減じた、二月は一年を通じて最も貯金の活動しない月で受拂共減少するのが例である、月末現在狀況左の如し

内地人五八七、三一四八二五、六三九、九五〇圓▲朝鮮人一、四九七、七七〇八四、二五八、八一三五四▲計二、〇八五、〇八四、二九、八九八、〇八五圓

朝鮮向けの 人絹機業半減 輸出の旺盛で

近年我國のレイヨン工業の發達は頗る目ざましく、數年前三百萬ポンドと稱されてゐたのが、昭和三年においては二千四百萬ポンドに躍進したと稱せられてゐる。しかしてこの內地國內の消費も年々激增しつゝあるが、殊に支那、印度方面への人絹織物輸出は非常な勢ひを以て增加しつゝあり、今や歐洲品並にアメリカ品と猛烈な競爭を惹起し、しかも我國產品は低廉な價錢を總緊的の武器として、他の競爭品を驅逐しかけて來た、この支那および印度方面へのレイヨン織物輸出激增は朝鮮向織物の機業者を半減せしむるに至つた

船舶保險料 引上は困難 海運界不況で

船舶保險協同會では、歐洲保險料に對する滿足額割が多いので、現行率では採算不引合のため保險料を引上げんと目論むに至つた。卽ち協同會調査による昭和二年度の成績は一千二百五十七件この內全損三十四件六萬二千トンに達し保險料の支拂額は七十三萬九千圓に達し、これに共同海損分救助費、修繕費、碇泊損害等を加へると保險料の七割五分の支拂となつてゐる。かくて現在のまゝで推移せば協同會は遂に解散の外ないといふのである。現行率は昭和二年一月から二割方引上げ、今日に至つてゐるが海運界不況の今日保險料引上げは相當難色あるものと觀測されてゐる

本年の移出米 五百五十萬石 最近移出は不振

一時好轉を期待された米價は政府の米價上げ資金增額の効果に對する失望等が手傳つて、またく軟調に陷り、一時仁川沖乘二十七圓七十錢まで値上がりを見たのに移出鮮米は昨今二十一圓四十錢では引合はないといふ狀態になつた、從つて一時活況を呈しかけた移出米も再び沈滯を餘儀なくさるゝに至つたが、この鮮米市場は全く本年一月頃と同樣であるから、その當時懸念したものはこの際手放すとすれば三ヶ月間の金利倉敷等の諸かゝり約一圓が全く損失となる譯である、しかし、目先立直りの期待が出來かねるところから、高値をまちきれず、賣氣なげも出て來る模樣で、採算を無視した投げものが現れるものと見らるゝに至つた しかして、多少活躍したといへ三月上旬の移出米は前年同期に比して約三萬石の減少であり十一月以來の累計は九十萬石の減少を示してゐるから、この大勢より推算すれば本年の移出米は五百五十萬石見當に止るのではないかと見られてゐる

仁川の 穀米業者困窮 能力が多過ぎる

鮮米の移出が採算不引合で全く不振狀態を持續してゐるため、鮮內の精米業者は非常な窮境に陷り、仁川では本年一月以來全く營業を休止してゐるむきが多く從業員の給料も支拂に窮してゐる工場が相當にあると稱せられてゐる。元來仁川の精米工場は百萬石の移出に對して約五百萬石の能力を有するものと稱されてゐたのでこの不況は過剩生產能力の整理を促す動機になるかも知れないと見られてゐる

朝鮮博に 鮮產品を充用 商議から希望

十五日の京城商業會議所の役員會には左の如く二つの要望事項が上程議された

一、朝博の期間中、國有鐵道の往復運賃割引に大阪商船の大阪別府間航路との聯絡も加へられるやう要望の件(鄕棄氏提出)

二、朝博の用度品はなるべく鮮產品を採用せられんことを主催者並びに京城協贊會に要望方の件(須藤評議員提出)

右のうち第一項は實際問題として可能なるや否やを研究の上に解決の方法を講ずるため交通部會を以てする委員會附託となり、第二項は滿場一致可決直ちに實行委員が關係當局を訪問商議の希望を開陳することゝなつた

殖銀異動遲れる

殖銀行員の異動發表時期は本月中旬の豫定であつたが、新課設置で暇取つたので、この分で本月中に職制改正案成り新課設置と共に四月一日異動發表を見る筈である

漢銀人事異動

漢城銀行は十六日附左の如く支配人の異動を行つた南大門支店支配人林憲圭を本店營業課支配人に命じ本店營業課支配人張友湘を南大門支配人を命ず

古河鑛山張所長轉任 古河鑛業鎭南浦出張所長主任水谷九二吉氏は、今回尼崎伸銅會社支配人に榮轉、近く出發することになつたが後任は古河門司販賣店から今泉武夫氏に決定したが着任す

鮮銀帳尻 (十三日)

	單位千圓	比前日增減
發行高	一〇三、五三六	減 四〇九
正貨準備	五二、六八九	減 九七五
保證準備	四九、八四七	增 五六六

日銀帳尻 (十五日)

發行高	一、一六二、五九四	增 一、九三六
正貨準備	一、〇八三、七三五	
發行餘力	二〇、一四〇	減 一、九三六
貸出高	三三三、〇五九	減 二、一三〇

東京コール (十六日)

翌日拂	七厘乃至	一錢一厘
無條件	七厘五毛乃至	一錢一厘
月越	七厘五毛乃至	一錢一厘

對外爲替 (十六日)

倫敦	一志一〇片一六分一五
紐育	四四弗八分三
上海	七〇兩四分三

海外經濟電報

倫敦銀塊	二六片丁度
紐育銀塊	五六仙八分三
英米爲替	四弗八五仙一六分三
對米爲替	四弗八一六分九
米棉	二十錢高
印棉	不變
スチール株	一八七弗八分五
アナコンダ株	一五九弗八分七

落穗

片倉製絲頭を擡げ、山十の牙城に迫る▲山十双方共に讓らず、この商戰の攻防戰がみものだ▲といふのは何だか戰爭のやうだが、競爭業界の現狀がそうだ▲政界が合同派に、提攜を希望するといふのは、同派の幹部、谷野誠勝氏の說だ▲それを一派の大村某は事實無根だと、いつたとか▲はやくも仲間割れか▲さもなくば又々期する所あつての宣傳か▲新設派と稱しても▲內をおさめることが出來ないのに▲策動なんてお話にならぬではないか、といはれてゐる▲シンジケートでボテ／＼してゐた京南鐵道▲社債募集の新方針に變更▲秋本社長、六分五厘、パーは大成功だといふ▲然しシンジケートの話になると口をかんしてゐる

株式 (十六日)

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	一四・三	…	一四・三	一四・二
	後	…	一四・六	一四・六	一四・四
鐘新	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
大新	前	八七・九	八七・七	八七・九	八七・七
	後	八八・〇	八九・〇	八九・〇	八八・〇
日產	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
東新	前	一五七・七	一五七・四	一五七・七	一五七・四
	後	一五七・七	一六〇・三	一六〇・三	一五七・七

算定と日歩

	京取	仁取	同新	大新	安取	鐘新	東新	朝紡	電鐵	殖新	日商
算定	一四〇	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
日步	四	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	九	…	…	…	…
代引	一七〇枚	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

東株短期市場・安東株式

	前寄	大引	前引	安値
東新 前	一五六・四	一五六・七	一五六・五	一五六・二
東新 後	一五六・二	一五七・〇	一五六・二	一五六・二
安東株式 當	七三・〇〇	七三・〇〇	七三・〇〇	七三・〇〇
安東株式 先	七三・〇〇	七三・〇〇	七三・〇〇	七三・〇〇

大株長期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	八八・二	八八・一	八八・三	八八・〇
	後	八八・二	八九・一	八九・二	八八・二
鐘新	前	一四〇・七	一四〇・四	一四〇・七	一四〇・四
	後	一四〇・五	一四一・〇	一四一・一	一四〇・五
日產	前	五九・八	五九・七	五九・八	五八・七
	後	五九・七	五九・二	五九・四	五八・七
中新	前	一五八・二	一五七・九	一五八・四	一五七・九
	後	一五八・〇	一六〇・二	一六〇・二	一五八・〇
日石	前	三九・四	三九・三	三九・四	三九・三
	後	三九・三	三九・四	三九・四	三九・三

大株短期

銘柄	前寄	前引	後寄	大引
大株	九八・九	九九・七	九八・九	九九・二
同新	八八・八	八八・八	八九・〇	八九・二
日產	五九・二	五九・五	五九・五	五九・〇
同新	…	…	三六・九	三六・九
郵船	…	六七・八	…	六七・九
同新	三一・二	…	三一・四	…
鐘紡	一五〇・一	一五六・七	一五九・八	一五〇・〇
同新	一四一・四	一四一・八	一四一・七	一四一・九
日糖	七二・〇	…	七二・九	…

短期建玉表

	賣方	買方	建玉
京取	九	七	二、四四〇
大新	九	七	一、一五〇
鐘新	三	四	九〇
東新	七	九	二、七七〇
仁新	…	…	…
安取	…	…	…

出來高		累計	
短期	二五六〇枚	累計	一四六、七八〇枚
長期	枚	累計	枚
當日	枚	累計	枚

東京現株

銘柄	値
滿鐵	一二七・〇
同新	一三六・三
東拓	二〇・九
同新	一二・五
富士紡	五四・七
日石	三三・四
滿毛	四〇・九
東株	一三六・四
同新	一〇一・五
鮮銀	三三・〇
同新	三五・三
殖銀	三六・七
同新	三三・一
通取	…

期米 (十六日)

▲仁川

	當限	中限	先限
前場 (一)	二六・七四	…	二六・七二
(二)	・八六	…	・六九
(三)	…	…	・六八
(四)	…	…	・六九
(五)	…	二六・七〇	・六九
(六)	…	…	・六九
(七)	…	…	・六八
(八)	…	・七一	・六八
(九)	…	…	・七三
(十)	…	…	・七七
後場 (一)	…	…	二六・七三
(二)	…	二六・七三	・七三
(三)	…	…	・七五
(四)	…	・七〇	・八〇
(五)	…	・七三	・八五
(六)	二六・九五	・七六	・八九
(七)	二六・七〇	・七六	・八六
帳入値段	二六・八〇	二六・七四	二六・七四
取組高(石)	七、五〇〇	三、五〇〇	一〇、四〇〇
出來高	二、六〇〇	累計	二五〇、三九〇

◇東京

	前場	後場
當 寄	二九・四八	二九・四九
止め	・四九	・三三
中 寄	二九・六九	二九・六六
止め	・六五	・八〇
(一)	三〇・二〇	三〇・二三
(二)	・二三	・二九
(三)	・二二	・二九
(四)	・一四	・二六
(五)	・一九	・二二
(六)	・二〇	・三五
(七)	・二四	・四〇
(八)	・二六	

◇大阪

	前場	後場
當 寄	二九・一〇	二九・〇六
止め	・〇六	・〇二
中 寄	二九・四九	二九・四三
止め	・四三	・三四
(一)	三〇・二〇	三〇・〇三
(二)	・〇九	・〇三
(三)	・〇八	・〇三
(四)	・一三	・〇八
(五)	・二四	・〇九
(六)	・二三	・一三
(七)	・二三	
(八)	・二三	
(九)	・二三	
(十)	・二三	

引アト 十二錢

	前場	後場
◇兵庫 先限寄付	三〇・一〇	三〇・〇六
止め	・〇六	・一六
◇下關 先限寄付	二九・二四	二九・二四
止め	・一三	…
◇桑名 先限寄付	二六・六五	二六・六〇
止め	・六三	・六三

鮮內延べ (十六日前場)

		寄付	大引	高値	安値
◇釜山	三末	二六・〇四	二六・〇四	二六・〇四	二六・〇四
	四中	二六・一三	二六・一三	二六・一三	二六・一二
	四末	二六・四四	二六・〇五	二六・四四	二六・〇五
	五中	二六・三六	二六・三九	二六・三六	二六・三七
◇大邱	三末	二六・〇六	二六・〇六	二六・〇六	二六・〇六
	四中	…	二六・〇六	二六・〇六	二六・〇六
	四末	二六・三六	二六・三〇	二六・三六	二六・三六
	五中	二六・四六	二六・三三	二六・三三	二六・四六
◇群山	三末	…	二六・〇六	…	…
	四中	…	二六・〇六	二六・四四	二六・〇六
	四末	二六・〇〇	二六・〇〇	二六・〇〇	二六・〇三
	五中	二六・〇〇	二六・〇七	二六・〇四	二六・〇六

現物 角ケ穀良 二六・六〇 丸ケ穀良 二六・七〇 出來高 二、三〇〇石(釜山)

現物 穀良 二六・〇〇 神力 二五・九〇 出來高 二〇、〇〇〇石(大邱)

現物 丸七三等 二六・四〇 同四等 二五・九〇 出來高 三、〇〇〇石(群山)

大阪其米喰合

	買方	賣方	取組高
當限	二五	二三	七〇、二〇〇石
中限	二〇	二四	七七、八〇〇石
先限	二四	二九	一〇八、八〇〇石

◇大阪棉花

	寄付	止め
前場 當限	九六・五	九六・四
前場 先限	九七・〇〇	九七・〇〇
後場 當限	九六・九〇	九六・六〇
後場 先限	九六・九五	九六・九五

◇大阪綿絲

	前場寄付	同引	後場寄付	同引
三月限	二四〇・〇	二四一・〇	…	…
四月限	…	…	…	…
五月限	…	…	…	…
六月限	…	…	…	…
七月限	…	…	…	…
八月限	…	…	…	…
九月限	…	…	…	…

◇二十五センチメートル

◇橫濱生絲

	寄付	止め
前場 當限	一、四三五	一、四三〇
前場 先限	一、四一七	一、四二〇
後場 當限	…	…
後場 先限	…	…

◇現物最高一四〇〇圓

◇鐵平鋼

	後寄	大引
當限	一・四三	一・四三
先限	一・四三	一・四三

大阪砂糖前後場

	寄付	大引
當限 前	一一・〇	…
當限 後	…	…
先限 前	一一・四	…
先限 後	…	…

大阪砂糖現物 日糖(S・T)一千斤一圓八十五錢 買中値

市中標準値

丸キ四等新米	二五圓四〇
白米卸値(百斤)	二〇圓〇〇
仁川一等白米	二七圓五〇

京城手形交換高 十六日

枚數	[illegible]
金額	[illegible]

株式

双方傍觀し 鈍調を續く

前場 昨十五日後場鈍調の觀先、今朝も阪地の甦りなき氣狀と休日控へで仕手は全く乘らず依然凡調の場面に終つた、かくて昨後場に比し大新三十錢安東新二十錢安であつた

好感濃厚で 爆發す

後場 前市鈍調の觀先、後場は阪地の甦ら寄を入れて味なく寄付きたるも政局緊じの噂らぎや限月問題の好感で阪地が一躍品騰したので遂に爆發を演じたかくて昨後場止に比し大新一圓高東新二圓六十錢高であつた

活躍期迫る

政界が依然混沌としてゐるので確然たる樂觀も出來ず從つて仕手も全く氣迷ひ場面も消え切らぬ有樣である、併し一般の人氣は氣迷ひのうちにも幾らか樂觀の色も見え週日來漸次硬化に向つてゐる、かくの如くなので双方共新規の出動はまだ手控へられ議會の成行重視のうちに動機待の狀態である、そのうち政界も安定し經濟事情も好轉すれば現在の睡眠相場も一躍活氣を呈するであらうと觀測された

四圍の好轉で 弗々買出動か

割合に小堅く保合つてゐるのに拘らず、今一段の人氣が出ず、小刻みの動搖をのみ續けてゐるのが現在の相場である。而して今期も當然一波瀾を豫想されて居た辨頭が、而も無比に世故を通過したとの報があつたにも拘らず人氣は概して見送り勝で相場にピンと來なかつた。これは政界の雲行に對する懸念去らないため氣迷ひ狀態から依然脫し得ず從つて場面も凡調を續けるより外ない、併し四圍の狀勢は漸次好轉しつゝあるから此邊から弗々買向ふ可きではあるまいかと觀測されてゐた

無活氣の中に 場面は手堅い

鮮米の觀測が交々入り混り各仕手は全く氣迷ひ此邊腰入れた商內は手控へられ全くの不振に落入つてゐる、併し相場自體から見れば四圍の好轉によつて漸次引締り手堅い商狀を呈してゐるから活氣に乏しい相場でも決して油斷はなるまいと見られた

轉換は何時か

四圍の環境は幾らか好轉して來たとは言へ政局の前途か回避案、小選擧區案等相當重大な問題の續たはりによつてまだ不安の點もあるので此邊兼て待受けて買進む向は見えない。併し今議會も閉會まで既に僅かで波瀾はあるであらうが又一方過日來取引所案も懸念されてゐた如解釋も現在の鳥獸反落等から見て到底不可能なことである、かくの如くなので今後議會の終了と金融の緩漫に依つて好轉するであらうと觀測された

氣迷ひて 商內全く寂る

總選擧案が貴族院を樂々通過したので多少の期待はピンと來るかとも思はれたがまだ目先に重要案が山積されてゐるので人氣硬化する迄に氣迷ひ續き東新に對する成行寄り京取株に對する松山寄りが目立つた位のものであつた、かくて昨後場の出來高一〇枚に比し今朝は京取一〇〇大新一〇東一〇〇合計三二〇枚であつてうち三〇枚が上の手口左の如し

今日の手口

京取 賣方松山一〇〇▲買方成清五〇松山三〇 東新 賣方成清一二〇松山五〇▲買方大林七〇田中道五〇正崎四〇

本玉

十六日前場までに於ける百枚以上の建玉左の如し

京取 賣方田中友三〇京鍛二九〇新田二八〇樂三〇〇玄山一五〇成清一二〇古川一〇〇大林一〇〇▲買方金秀一〇〇古川一一〇山六四〇洪辰三〇〇六〇松新田一〇〇 大新 賣方正崎二七〇日樂二一〇大林二〇〇▲買方松山五一〇田道二四〇 東新 賣方正崎七四〇新田六一〇

つよきよわき

株式 政局の前途も覺束、小選擧區案等相當重大な問題があるので仕手は全く氣迷つてゐる▲かくの如くなので相場は當分附けず每日小往來の商狀を續返してゐる▲四圍の事情から考察してもこの相場は中々騰値にならぬ、矢張り活躍期は議會終了後であらう▲京取にしても仁取にしても昨今の如き氣迷ひでは一本立は困難だらう一日も早く合併せんことを祈る

期米 ポカ／＼暖くなつて相場は六圓六十錢臺の膠着それも每日十錢以下の鞘を出ないと來ては手數料だけ損といふわけでさすがの日計商ひも手が出せない▲當中に出來不申がついたり出來高驚くなかれ一萬二千石ではホンマに天下の仁取も生きるみちとして仁取開設の合併でも目論むより仕方あるまい▲強弱交錯あり仕手も猫もあくびして居るのどかなとはどうだ▲成る場は正米より割安にある相場が容易に直らない矢張りそれだけ未だ悲い事情が潛んで居るからで安物買ひの暴落しといふ事があるからネートタバコで鼻唄を吹いてゐた

期米

人氣強きも 依然保合ふ

前場 當所は人氣の強張りで地上げ寄成とれる折柄、今朝は阪地の手堅き商狀を受け一入人氣を強め寄付二十二圓九十錢中限出來す先物二十二圓七十錢と前日の上値より六錢高に寄付きしも戻り待ちに買方側の利食手仕舞が出て二節は六十九錢と押しⓑ等の賣物に三節は更に六十六と押し物カネシメの買物にアトは六十九錢から六十七錢所に保合つて前場を終つた

人氣硬化し 遂に昂騰

後場 前場保合の觀先後場も先限二十六圓七十錢と前止より三錢高に始まりたるも、アト阪地の良好に二節七十三錢から四節八十錢五節八十五錢と昇騰を續け活況を呈してゐた

此邊から弗々 買玉を仕込か

地場の米穀有力者へ此の相場は何うですかと意見を叩いて見ると明けても暮れても保合相場でツク／＼嫌になつて了ふが併し賽相場の不振は今に始まつた事でなく過去の統計に見ても三月は一年中最も高下の少い月でいつも櫻の花が散り初める頃からソロ／＼動き出すのが例となつて居るから恐らく今は陰の値幅にあるものとして將來に踊發して居るも前提して且く相場の如合が人氣の強張る割に手堅い所を見ると大體下値は殆平大した事は無いと思ふて居る、賣氣側では久しき正米の賣行きの不良や在米の多い事を氣にして居るも本年の如く內地に鮮米の在庫が少なくて鮮內に多い年は品痛みの憂が少ない上に古米さへ一掃すれば鮮米に需要を喚起して來る事になるのでそれを悲觀するのは間違つてゐると思ふ現に最近は漸しく鮮米に買氣を催し相場を問合せて來る向の多くなつた事は古米の減少に伴ひ內地の商人が鮮米に買氣を釣換して來つゝある事が窺はれると同時に半年以上も古米の壓迫を享けた相場として此邊から弗々買玉を仕込み手掴さへすれば骨値而と時しく利は古くなつて買へるものと思ふて居ると云々

仁川府海岸町三丁目 仁川米豆取引所取引員 ○桑野健治商店 電話長三九番六三九番

月末接近で 興味は增す

相場は依然材料渉に無味閑散であるが然し當面の問題としては仕手關係から起る策動である、即ち阪地の人氣は買持ひを得へ當所は反對に人氣が賣持ひとなつて居る此の相以目の現象が如何なる作用を起すかが注目に値ひする所で從來の成行きから見ると當所は阪地の高下に支配され易い丈け如何に人氣が賣溜つても阪地が買過ぎで反動安を誘ずるとそれに脅されるものと見るの外ないが、斯の如き人氣が相反した場合は阪地と當所の鞘を縮める事があるので一概には論じられない、何れにしても月末が接近するに伴ひ興味ある變動は免れない朔勞であつた

人氣益賣募ふ

先物の取組は一萬石內外を往來して居るも是れを各取引店の賣で相殺になつて居る玉を加算すると小口筋が限り待ちに益々賣溜つて來る譯め意外の大取組となつて居る關係がある、當所が收地安に比し下遊る丈は人氣の賣溜ひに對し地場が上發成となつて居る結果で此の勝負に就ては相當興味を惹いて居る狀態である

大阪期米手振

賣方は荒町、阪神、磯崎等にして買方は上柄、磯貝、三木等であつた

大豆

全部出來不申

正米

京城 正米は休日控へにも拘らず依然商內は薄く相場も小弱く保合つてゐた◎三等廿五圓七十錢四等廿五圓四十錢地場玄米上廿四圓五十錢中廿三圓九十錢下廿三圓丁度一等精白二十圓丁度時白米上廿六圓丁度釐上七錢七厘中七錢五厘下七錢二厘

大豆 龍山十七圓四十錢長湍十七圓五十錢金汗十七圓卅錢鐵原十七圓五十錢東豆川十七圓四十錢

仁川 ⓑ田三等二十五圓七十錢四等二十五圓五十錢石拔三等廿五圓九十錢鐵尾石拔三等二十六圓三十錢◎四等二十四圓四等二十三圓七十錢物上物七錢六厘五毛在來釐七錢四厘五毛一等白米ⓑ印二十七圓ⓒ十錢精米組合一等白二十七圓八十錢なるも閑散のため內地から入注なく取引も閑散であつた

大豆 龍山鐵長湍茲山十七圓五十錢白川十七圓水原島山十六圓四十錢天安平澤海州十六圓の唱へだが內地不賣に移出商は見送つた

群山 大阪の依然たる保合に加へて週末多盤に人氣ダレ、休日控にも拘らず買人少なくマバラの取引に過ぎず、氣配も引立ず前日同樣保合ひにて丸七三等二十五圓九十錢四等二十五圓三十錢處を唱へてゐた

釜山 大阪の保合に人氣一向引立ず休日控へにも拘らず活氣無く必需筋の小口買ひでお茶を濁すに過ぎず相場も慶南穀良二十五圓九十錢神力二十五圓六十錢處と不變を唱へ二千五百俵の出廻内

大邱 今朝大阪の小往來に人氣依然引立たず貯米筋も吹値待ちに見送り移出筋も當分望み少なしと見て傍觀し、市場閑散にて相場も穀良二十五圓七十錢神力二十五圓丁度と保合ひであつた

株 京取市場仲買 京城明治町二ノ八七 京城證券株式會社 社長 南源兵衛 式 現株公債債券

妖鬼流血錄 (191)

長谷川伸 作 木村哲二 伊藤幾久造 畫

悲戀煩惱 (六)

松平、酒井兩家の手勢に町方の捕手を加へた物々しい大人數は、蟻も洩らさぬばかりに、一味屋を十重二十重に包圍して、一齊に打つてかゝらうといふ陣立、後から後から捕手は續々と詰かけて來るその、もの／＼しい氣配を他所事のやうに、一味屋の內部では落ちついたものだ。

『われ／＼は斬死はもとより覺悟だが、身體の利かぬ松吉だけは無事に逃してやりたい……』志津摩がしみ／＼いふ。

『兵衞、貴公は斬れるだけ斬つて拙者のために道を開いてくれ、拙者は松吉を背負つて何處か安全の場所まで逃れて松吉を置いてくる其上で、拙者は再び戻つて來る……』いひながら、權八郎、早くも背負ふ氣で、松吉を起こしかける。

『私ゃアもう生きてゐたくねえ……』松吉元氣なくいふ。

『足腰の立たねえ私だ、お二人にそれほどまでにお世話になつてまで生きてゐやうとは思はねえ、だが、死ぬ前にもう一度お里に逢ひてえ……』松吉の閉眼に、戀戀の涙が滲んだ。

志津摩も權八郎も膝を存んだ、殊に志津摩、松吉と小里とが戀の姊妹であるといふ祕密を握つてゐるだけに、松吉の此悲戀の叫びはとさらに腸を斷かれるのだ。

松吉は吐切れ、吐切れに續ける

『私ゃアほんとうにお里が戀しい……私ゃアお里と二人でかうして暮してゐたものの、心の中に堅い鍵を御して、恐して手は出さなかつた……私だつて男だもの、若いおまけにあんな奇麗な女といつしよに暮してゐりやア、變な氣も起こりもするが、お里は未だに兵衞さんの事を思ひ切れずにゐるのが私にはよく判つてゐたから、私は我慢して、妹、かなンかの氣でゐたンです、お里も私を兄のやうに思つてくれてゐやした……だが、私ゃアもう我慢が出來ねえ、この怪我でもなほつて、五體が自由になるやうになつたら、私ゃア改めてお里と夫婦にならうと思つてゐやしたンです……。ああお里に逢ひてえ……一目で好いから會つて死にてえ……』

松吉は狂人のやうに叫びもがいた。

『松吉、ではほんとうにお里と關係はなかつたのか……』

『私は嘘はいはねえ……』松吉の言は正に風獄とうなつかれる。

『そんならいふがの……』

志津摩は、三島の宿の乞食小唄久兵衞が、松吉の父であること、その久兵衞から聞いて來た動かし難い證據で、松吉とお里が兄妹に違ひないなど一切を物語つた。

『……』

松吉は事の意外に、口もきけない。一同は暫時默した。

と、戸外で、捕手の鯨波が騷がしく擧げた。

捕手の先登は、表の入口を破壞して頭散に飛び込んで來た。

『さア來い……』

筋金入りかと思はれる志津摩の逞しい腕の先きに、堅刀が血に餓えたかの如く、無氣味に光る。權八郎は、松吉を抱き起こした。

『放つといておくんなせえ……後生だ……』松吉は頑固に振拂つた今は權八郎も松吉に拘つてはゐられなくなつた。志津摩もろとも殺到して來る捕手を、斬つて、斬つて、斬りまくつた。

裏口を破つた捕手の一隊は、前に敵を受けてゐる志津摩、權八郎兩人の背後から殺到し、兩人の者は、五體の利かぬ松吉に刃をかけようとした。

『ふざけるねえ……』松吉たつた一語、いつたかと見ると、ランと仰け反つた。今はこれまでと觀念して、舌嚙み切つて死んだのだ。

それと見た志津摩、權八郎、兩に殺氣だつた。

『松吉の弔ひ合戰だ』から叫んでいよ／＼はげしく斬りたて突きたてた。ひるむを見て二人は活路を見出だした。

志津摩の胸のうちには、おせんに對する愛が燃えてゐる、權八郎の底には戀を思ふ念でいつぱいだ

『生きよう……』

二人は期せずして心にさう誓つて何れへか逃げ失せた。

京城日報
朝刊
本紙朝夕共十二頁

木下尚江集(2)
四六判 五五〇頁 函入本綴
定價壹圓五拾錢 送料十二錢 見本進呈

改版 良人の自白 上巻

驚くべき日本文學の一大傑作！トルストイの到著せると同じ心境から、藝術を捨てた作者の生活と共に世に埋るゝ事二十年、今や苦難の彼岸に燦として復活す!!

（九日發賣）

木下尚江氏の『良人の自白』は埋もれた金剛石だ。偉大な尚江氏の藝術の最高頂だ。名は『良人の自白』といふが事實は人間罪惡の告白史であり贖罪史である。描かれた世界は春遲い信濃の町を中心とする。そこには地主と農民の爭ひがあり、有識階級の懐疑があり、金權官權による不法があり、監獄生活の曝露があり、博愛平等の理想があり、人間愛慾の苦悶があり、現代世相の不安のすべてがある。社會と運命を相手の苦闘に敗れて人間愛慾の試煉に蘇生る俊三、人妻の身が處女の樣な戀の情炎に身も心も焼き盡しては落花の樣に果敢なく散るお登喜、肉身は賣笑婦女囚の烙印を捺されながら心は天使より淨いお玉、世に拗ね人を憤り、不義と不正を蛇蝎の如く惡む快漢與三公、その他お高、翠、源兵衛、お浪などを載せて走馬燈のやうに動く此の小説の世界は取りも直さず人生の縮圖なのだ。煩悶懊惱、苦闘、迷悟、愛慾、自責、その混沌たる煉獄の火による靈魂の淨化。それが此の小説の描く人生だ。

吾等は敢ていふ。現代の大衆はとても偉大な忘れ物をしてゐると。それは木下尚江の名だ。尚江氏は日本のトルストイだ。彼はトルストイと同じく藝術に慊らず、求道の人となつた。だが彼の殘した藝術は正に彼の血と魂の住家であり、不朽に傳はる價値がある。これは人生に對する眞摯な凝視と人間愛慾の試煉を、社會に對する正義の要求を盛つた貴い「心の記錄」である形こそ小説といふが古の聖者が聖經を書く心で書かれたものだ。何といふ偉大さか。あゝ埋もれた金剛石は遂に見出された！ 良人も讀め、妻も讀め、青年も讀め、處女も讀め!! 作者の燃ゆるが如き情熱と火の如き信念とは讀者の全人格を震撼せずんば止まぬであらう

春秋文庫

一冊五拾錢
三五判クロース 送料各八錢
（第一期に限り豫約定價）

以下續々刊行
(1) 永井潜著 科學的生命觀
(2) 出井盛之著 經濟學說史
(3) 久保良英著 晩近の心理學（豫價）
(4) 河本誠一著 日本經濟學史
(5) 宮島新三郎著 文藝批評史
(6) 阿部重孝著 教育學
(7) 入澤宗壽著 教育史
(8) 高野辰之著 民謠童謠論

人生讀本〔全二冊〕

トルストイ著 八住利雄譯
定價各貳圓・送料各十四錢

東西古今にわたる聖賢文豪達の業蹟の中から、トルストイが最も感動した言葉を、一月一日から十二月卅一日迄日記體に分ち彼自身の言葉も交へ、『人生の眞の生活、眞の幸福は奈邊に在るか?』の解答のためにかゝれたもの。版を重ねる事十數度我讀書界は本書讃美の聲に漲る!!

古田大次郎著 死の懺悔
菊半五百頁 價一、二〇 送料一三

東京麹町區内山下町 振替東京二四八六一 電話銀座五六五二・五六五三
春秋社

高峰博士の世界的發見藥
目藥 アドラー しみずによく効く
アドリナリン主劑 ハヤリメ、ノボセメ、トラホーム其他の眼疾に卓效あり
定價 二十錢 三十錢 五十錢

便秘は長寿の敵
チーカ
一粒で効く安全下劑
便通なき姙婦小兒にも使用安全
定價 三十錢、五十錢 一圓、二圓

美味胃腸藥 ゴルフ
強力タカヂアスターゼ主藥 胃加答兒、消化不良、胃痛、に奏效を奏す。
定價 三十錢、五十錢 一圓、二圓、五圓

東京日本橋室町 泰昌製藥株式會社

機械工具
商報進呈
新六商店
東京市京橋區金六町
電話京橋(56)3608・3609・7692・振替東京39743

寫眞界の革命
財團法人理化學研究所發明 特許第七六八六五號
理研 陽画感光紙
發賣元 東京本郷駒込 理化學興業株式會社
代理店 神戸市下山手通二丁目 鈴木商店

外交時報

三月中旬號 定價五十錢 送料二錢
米新大統領就任 …… 名 [illegible]
迎アヴノール氏 …… 半澤玉城
發見地と國際法 …… 立作太郎
最近の支那鳥瞰 …… 岡部三郎
ロシアの機械化 …… 今井時郎
公使館區回收論 …… 武內文彬
米國建艦と軍縮 …… 柳澤愼之助
國際勞働會議 …… 米窪滿亮
アルバニア憲政 …… 大西邦敏
支那民心と外交 …… 後藤朝太郎
米國製艦と英國 …… 坂本俊篤
フウバアと南米 …… サイモンヅ
弔シエパード翁 …… 大山卯次郎
米新内閣と滿支 …… 上田恭輔
歐米・支那時報 …… 本社編輯局

稲原勝治著 外交讀本 金四圓 五十錢
藤岡啓著 滿蒙新觀 金二圓 五十錢
東京芝西久保明舟町 外交時報社 振替東京一八六八五番

新着案内
新約聖書 小形海布表紙 一、二〇
新約聖書 四六版總布天金 一、五〇
新約聖書 四六版總皮赤ド金縁 四、〇〇
新約詩篇附 小形布表紙 一、〇〇
同 最小形ポケット用皮 一、三〇
同 小形總皮金縁 一、八〇
同 小形上折皮赤ド金縁 二、二〇
同 同インデアンペーパ 三、三〇
同 四六版總皮金縁 四、〇〇
舊新約聖書 中形布表紙 三、二〇
同 總皮金縁 三、七〇
同 上皮赤ド金縁函入 四、五〇
同 上折皮一枚皮赤ド金縁函入 六、〇〇
同 最上製インデアンペーパ 七、五〇
英和對照新約聖書 厚布表紙 一、八〇
讃美歌譜附 小形布表紙 第一篇 一、〇〇
同 特製皮表紙 三、〇〇
同 譜付中形 布表紙 一、一〇
同 特製皮表紙 三、〇〇
京城明治町 森書店 振替京城九九二三 電本局三四二

種鷄 種卵 初生雛 種豚仔
分譲 豫約ニ應ズ
京城黄金町六丁目 高陽郡畜産同業組合内
京城養豚鷄組合（電本一三八六番）

資本金57,500,000圓
積立金62,800,000圓
京城府南大門通二丁目
第一銀行京城支店

東京便箋 とスラスラ 書きよき
（美しい封緘シール添付してあります）
東京淺草區柳橋際 電話淺草〇七四・〇四八
TOKYO 元賣發 山根東光堂

クラブ美身クリームの懸賞當選發表

美を助け 美を養ふ
クラブ白粉

アレ日ヤケ止めに一番良くきく最上の美身料クラブ美身クリームの大懸賞は空前の好評を博し續々こして熱心なる御應募を賜り遂に締切延長の止むなきに至りましたが正解者多數につき各新聞社通信社及び所轄警察署御立會抽籤の結果左の如く當選者總數二萬七千三百名を決定致しました。かくの如く大多數の御懸募を賜りました事に對し諸賢の熱心なる御愛顧ご販賣店各位の一方ならざる御盡力こに對し謹んで感謝を捧ぐる次第であります。

甲壹等 御即位大禮記念章（金製）造幣局謹製 壹個宛 貳拾名
群馬縣群馬郡總社町植野 關口里吉子殿
北海道日高國幌泉郡幌泉村 吉田スノ子殿
新潟縣岩船郡保門村坂町 高橋田長太郎殿
長岡市東坂ノ上町二丁目 田中竹乃殿
長野縣北佐久郡岩村田町 紳津りん子殿
福井市佐佳枝上町五三 内藤口長雄殿
朝鮮忠南大田本町二丁目 野口マサ殿
長野縣上高井郡須坂小學校 御保ッ子殿
東京市外坂橋町六四八 志保ツ子殿
名古屋市南區稲永新田 都塚フク江殿
桐生市巴町 長谷川君子殿
大阪市此花區平松町十六 中本ヒデ子殿
島根縣八束郡宍道町 若林兵治殿
兵庫縣多紀郡今田村 古家久榮殿
島根縣北會津郡門田村 馬野倉吉殿
福岡縣直方町東町一丁目 石橋登美子殿
長岡市本町一 寺山榮四郎殿
盛岡市材木町六二 石島正殿
大阪府三島郡吹田町旭町 寺内常吉殿
愛媛縣温泉郡淺海村字院與 山内常吉殿

乙壹等 金拾圓也（勸業債券）壹枚宛 參拾名
[illegible]

貳等 プラトン萬年筆 壹本宛 百五拾名
[illegible]

參等 御即位大禮記念寶鏡 クラブ化粧品詰合函 壹個宛 參百名
[illegible]

四等 クラブ歯刷子八一號 壹本宛 八百名
五等 カテイフード 壹瓶宛 壹千名
六等 クラブ石鹸 壹個宛 壹萬名
七等 クラブ煉齒磨 チューブ入中型 壹個宛 壹萬五千名
（右は紙面の都合上勝手ながら當選者御通知を以て發表に代へます）
販賣店及び御店員優待景品抽籤結果は業界各機關新聞紙上及び本舗營業月報紙上に發表いたします

アレ日ヤケ止めに一番よい
クラブ美身クリーム

何等の波瀾もなく 議案審議一瀉千里
牧山氏の山陽線椿事緊急質問
衆議院本會議【十六日】

【東京電報】十六日の衆議院本會議は午後一時二十分開議、川原議長着席して直に日程に入り
一、救護法案提案
望月內相 提案理由說明し
松田竹千代氏（民）斯かる緊急法案を會期迫らんとする今日に至り提出せるは何故か
望月內相 提出の遲れたるは政府が成案を得るため十分調査したためである
長岡社會局長官 一、救護年齡は六十歲を適當と信ず 一、賠償は規定がある 一、委員は方面委員を以てする
內ヶ崎作三郎氏（民）本案には贊成であるが實施費は幾らであるか、政實協定當時は八百萬圓と豫定されたが政府に果してこの財源ありや、また初年度は四百萬圓で濟むが後年度費用の增加につき準備ありや、本案は防貧施設と並行すべきであるが政府の方法如何
大口次官 地方自治體をして救護事務を起させ國庫より補助して英國の如き弊害を避けたい財源については來年度計畫の際計上する
望月內相 質疑に答へた後質疑を打切り委員附託となる
一、競馬法中改正法律案（政府提出貴族院回附）を議題として
川原議長 本案は貴族院にて修正を受けたが御異議はありませぬかとはかり、異議なく貴族院の修正に同意して可決確定
一、國寶保存法案 貴族院の修正に同意して、可決確定
一、大禮記念帝國博物館復興翼贊會寄附の補助に關する法律案（政府提出）（可決確定）
一、日本興業銀行法中改正法律案（政府提出）
三土藏相 より提案理由の說明あつて小山谷藏氏（民）日銀令改正問題その他につき質し
藏相 日銀條令の株券證券擔保に關して貸出し得ずとあるが財界の關係從來から止むを得ぬが監督は怠つてゐない と答へて委員附託
一、國際汽船株式會社の整理に關する法律案（政府）
三土藏相 の說明ありて提案 [illegible]氏（民）三土藏相に國際汽船債務の整理につき質問答ありて委員附託
一、造幣局特別會計法中改正法律案（委員附託）
一、大正十四年法律第五十一號中改正法律案（委員附託）
一、關東州の生產品輸入稅免除（委員附託）
一、地方鐵道法中改正法律案
一、軌道法中改正案
一、非訟事件手續法中改正法律案 以上三案を一括議題とし委員長報告の後
牧山耕藏氏（民）本日山陽線糸崎、戶田間にて起つた列車椿事の眞相と理由は如何
小川鐵相 下關發上り六號二、三等列車が同所を進行中機關車脫線し機關手一名重傷、乘客六名は負傷したと報告があつた、原因は調査中であるが鐵道の改良に就ては十分努力してゐる
と答へ討論に入り
工藤鐵男氏（民）の附帶決議あつて三案とも原案通り可決確定、次いで鐵道省民提出の對支那米外交に關する緊急動議は上程されるも田中外相出席せず保留となり
一、衆議院議員選擧法中改正法律案（二見甚郷氏提出）を上程し二見氏の說明ありて直に委員附託となる、この時諸議題を了り午後六時二十分散會を宣す

陸軍大異動
十六日發表【續き】

【東京電報】十六日發表の陸軍大異動中、夕刊掲載以外の分、左の如し

飛行第六聯隊附 航空少佐 和田昌雄
補飛行第六聯隊中隊長 朝鮮憲兵司令部附 憲兵少佐 川島鐵太郎
補久留米憲兵分隊長 東京憲兵分隊長 憲兵少佐 田中清喜
補大邱憲兵分隊長 朝鮮憲兵隊副官 憲兵少佐 新見英夫
補仙臺憲兵分隊長 京都憲兵分隊長 憲兵少佐 菊地武雄
補朝鮮憲兵隊副官 咸興憲兵分隊 憲兵少佐 藤田四郎
補京都憲兵分隊長 朝鮮憲兵隊司令部附 憲兵少佐 前田良次
補廣島憲兵分隊長 憲兵少佐 谷本邦夫
補朝鮮憲兵隊司令部附 參謀本部附 三等主計正 芝光太郎
補第二十師團經理部員 三等軍醫正 鈴木 …
補步兵第七十三聯隊附 軍馬補充部鎭城支部員 三等獸醫正 橋本健治
補野砲兵第二十五聯隊附 步兵隊附 二等主計正 崎谷常一
補第十九師團經理部員 陸軍造兵廠附 二等主計正 長谷川武
補朝鮮軍倉庫附 陸軍々醫學校教官

補飛行第六聯隊附 步兵第七十六聯隊大隊副官 步兵大尉 佐藤七郎
侍命被仰付 鳥取衛戍病院長 二等軍醫正 濱田要三
補第十九師團經理部員 三等主計正 井原清一
補兵器工廠員 第十九師團軍醫部員 三等軍醫正 石井發
補善通寺衛戍病院附 步兵第七十三聯隊附 二等軍醫正 木村虎次郎
補山口衛戍病院長 第二十師團經理部員 二等主計正 近藤正鈺
補第七師團經理部員 野砲第二十六聯隊附 三等軍醫正 伊佐信雄
補飛行第四聯隊附 第二十師團軍醫部員 三等軍醫正 井原愛雄
補富山衛戍病院附 朝鮮陸軍倉庫附 三等主計正 眞鍋實
補第四師團經理部員 朝鮮軍々醫部員 三等軍醫正 武內文治
補野砲兵第六聯隊附 對馬要塞司令官 陸軍少將 福原三郎
侍命被仰付 留守兵器本廠 服部英男
侍命被仰付

朝鮮關係異動
軍司令部發表

なほ右の外に朝鮮軍關係異動は左の通りである

轉出
朝鮮軍獸醫部々員 二獸 安田純夫
補野砲校附 朝鮮陸軍倉庫附 一主 伊東正次
補近步一附 步七六附 一醫 細田俊吉
補朝軍々醫部々員 軍補充部白河支部附 二獸 栗山武男
補朝鮮軍經理部々員 十師經理部々員 一主 山口啓助

進級
十九師團
任騎中佐 騎少佐 岩佐治
任步中佐 步中尉 中木屋經一
同 中村助六
同 川崎貞武
任工大尉 工中尉 小川市藏
任一主 二主 山中築夫
任二醫正 三醫正 木村虎次郎
任一醫 二醫 羽田野發夫
任一獸 一獸 橋本健治
任三醫正

轉出
補電二附 十九師兵器部々員 工大尉 小川市藏
補火工廠々員 十九師經理部々員 三主正 井原清一
補野校附 步七三大隊長 步少佐 上野文五
補兵器廠本附（帝大派遣）步七三附 步大尉 中木屋經一
補兵器本廠附 十九師経理部々員 二醫正 木村虎次郎
補山口病院長 步七四附 步大尉（參本動務）武田 …

補參謀本部々員 步七五附 一主計 迫田米吉
補一四師經理部々員 步七六附 步大尉 稻村豐三郎
補步兵學校教官 步七六附 二主 比良君市
補輜六附 野砲二五聯隊長 砲大佐 萩原勝千代
補要塞司令官 野砲二五中隊長 砲大尉 川口精一

補野砲二五聯隊長 近砲附 砲大佐 秋田米吉
野砲十大副 砲中佐 妹尾義彥
補野砲二五附 軍補廠支部附 三獸正 六反田壯吉
補騎一五附 二獸 橋本健次
補工一九附 野砲六附 二主 大石勝郎
補成興病院長 二醫正 南川義一
命課 替 步七四大副 步大尉 調所寬輔

補騎一附 砲大尉 …
補步兵學校教導隊附 步七九中隊長 步大尉 天本良造
補騎一五中隊長 騎大尉 早坂一郎
補騎二七附 近衛騎兵聯隊附 砲大佐 秋田米吉
補野砲二五聯隊長 近砲附 砲中佐 妹尾義彥

補步一八附 步八〇附 步中尉 中根傘次
補野砲二六中隊長 砲二六中隊長 砲大尉 一柳恒市
補野砲一中隊長 砲大尉 森本眞一郎
補騎二六附 野砲二六附 一獸 池田理兵衛
補騎九附 飛六中隊長 航大尉 近藤三郎
補所澤飛行學校教官 航大尉 中井若松
補下志津飛行學校教官

補步八〇附 熊本教導學校學生附 步大尉 宮崎剛
補步七八附 步大尉（學校服務）大久保利夫
補步七八附 小倉兵器製造所 一醫 栗本文平
補步七九大副 土官學校豫科生徒隊附 步大尉 河島榮太
補騎二三附 步五〇附（學校服務）步 十尉 坂本吉太郎
補步七九附 騎 大尉 實木武士
補騎二八附 士校本科學生隊長

補野砲二二附 工一九附 一主 山仲祭夫
補步十附 會寧病院附 一醫 羽田野發夫
補工二附
轉入
鐵道二附 工中尉 入江俊音
補一九師兵器部々員 東京兵器支廠員 一主 宮崎錦吾
補一九師經理部々員 洪兵廠附 三主正 崎谷常一
補一九師經理部々員 鳥取病院長 一醫正 濱田要三
補一九師軍醫部々員 野砲校附 三醫正 鈴木雅
補步七三附 十二師經理部々員 一主 渡邊正雄
補步七五附 步一五大副 步大尉 川村俊吉
補步七六中隊長 近步一附 步大尉 川崎貞武
補步七六大副 野砲一附 三主 下川定次
補步七六附 騎八附 騎少佐 後藤外馬
補騎二七附

補步七四中隊長 步七四附 步大尉 中村助六
補步七五中隊長 步七五大副 步大尉 若林邦雄
補步七五附（大臣官房勤務）步大尉 河村圓次郎
補步七五大副（大臣官房勤務如故）
補野砲二五附 野砲二五附 砂大尉 照山鎭助
補野砲二五中隊長
進級（二十師團）
任步少佐 步々尉 稲本熊次郎 的野德三郎 村井矢之助
同
同
任步大尉 步中尉 中村政夫
同 立石方亮
任三醫正 一醫 井原愛雄
轉出
補經理學校教官 二十師經理部々員 一主 矢野誠一
補富山病院附 二十師軍醫部々員 二醫正 井原愛雄
補仙臺教導學校學生隊附 步七七附 步中尉 高橋鶴夫
補騎二〇附 步七七附 一主 山根操
補騎二〇附 步七八附 一醫 青木久男

補飛六附 步四附 二主 山岸數樹
補十頭病院附 步二八附 三醫 渡邊純一
補平壤病院附
命課替
步七七大副官 步大尉 行本功
補步七七中隊長 步七七附 步大尉 中村啟夫
補步七七大副 步七八附 步大尉 片山敬吉
補步七八機關銃隊長 步七九大副 步大尉 熊村光雄
補步七九中隊長 步八〇附 步大尉 立石方亮
補步八〇大副 步八〇大副 步大尉 南宇策
補步八砲中隊長 野砲二六大副 砲大尉 藤崎建見
補野砲二六中隊長 野砲二六附 砲中尉 增田發夫
補野砲二六大副

補步三六附 一醫 津川辰三
轉入
補二十師軍醫部々員 步三附 一主 永野博夫
補步二八附 平壤病院附 一醫 菊池省吾
補步四附 平壤病院附 二主 鳳棚法雄
補飛一附 飛一附 新中尉 橋本伊太郎
補飛六附

補野砲二六附 軍醫學校教官 砲大尉 森田利武
補野砲二六附 下志津飛校教官 三醫正 島海保一
補飛六附飛二附 航大尉 二田原鐵太郎
補飛六附飛一附 航大尉 松田幸吉
補飛六附 七師軍醫部々員 航中尉 田中榮吉
三醫正 菊地幸平

總豫算の成立を 首相委曲奏上

【東京電報】田中首相は十六日午後一時半宮中に參內し政府の豫算案が貴衆兩院を通過し、こゝに昭和四年度豫算の成立せることにつき委曲奏上して退下した

高松宮殿下 長春まで御成り
つぶさに民情御視察

【東京電報】第三艦隊旗艦磐手乘組の高松宮殿下には、目下三田尻沖にて艦隊射撃の演習に御參加になつておられるが四月は北支那、關東州および朝鮮地方の近海航路につかせられることになつてゐるが、聯合艦隊の大連入港は四月七日の豫定で殿下は同艦御入港と共に御出港の同月十七日までを特に南滿の民情並に產業狀態を親く御視察の思召しがあり、殿下はその期間に奉天撫順をはじめ遠く吉林哈爾濱長春に至る滿鐵沿線各主要な驛にまで御成りあり普さに御視察遊ばされると漏れはる

府協議會の 主要なる議案
前例を破る輻輳ぶり

四年度總豫算を附議すべき京城府協議會は廿日から通日開催されるが議案は廿八件の多數に上り、かゝる事は全く前例のない大會議で府協議員の緊張なる新議をのぞまれてゐるが、主なる議案は左の如きものである

公益質屋費 明年度豫算 四萬三百廿八圓

京城府特別會計公益質屋費の昭和四年度歲入出豫算は左の如くである

歲入
一、四千五百八十三圓（經常部）
一、三萬五千七百四十五圓（臨時部）
歲出
一、八千四百八十一圓（經常部）
一、三萬千八百四十七圓（臨時部）
▲計四萬三百廿八圓

歲入經常部
▲質業收入一、一三一內譯、貸付金利子九四三預金利子一八八
雜入二
歲入臨時部
▲雜收入一三、四五二 ▲內譯流質物賣却代三、四五〇
▲一般會計より繰入金三、六六四 ▲國庫補助金七、〇八一 ▲府債二五、〇〇〇
歲出經常部
▲事業費三、九九九 ▲內譯給料一、八〇〇 雜給七五三 需用費九九六 修繕費一〇〇 雜費三〇〇 ▲缺損補塡金二〇〇 ▲雜支出三、四五〇 ▲內譯流質元金充當金三、〇〇〇 經過利子充當費一八〇 流質物處分諸費一五〇 質置主交附金一二〇
▲豫備費八三二
歲出臨時部
▲事務所倉庫其他建築諸費一〇、八九七 ▲貸付資金二〇、〇〇〇 ▲府債費九五〇

乘合自動車費 四年度豫算 三十萬五千餘圓

京城府特別會計乘合自動車費昭和四年度豫算左の如し

歲入
一、廿四萬九千八百五十八圓（經常部）
一、五萬五千六百九十九圓（臨時部）
歲出
一、十八萬九千八百八十三圓（經常部）
一、十一萬五千六百七十四圓（臨時部）
計卅萬五千五百五十七圓

歲入經常部
▲使用料（乘車料）二四三、七五七（三三、七五七增）雜收入六一〇一（二、九〇〇增）內譯不用品賣拂代一〇〇（增減なし）廣告料六〇〇〇（二九〇〇增）雜入一（增減なし）
歲入臨時部
▲繰越金一、〇〇〇（全額增）▲積立金收入六九九（全額增）府債五四、〇〇〇（七四、〇〇〇減）
歲出經常部
▲乘合自動車費一八四、九四二（一九、二九八增）內譯給料四、〇三二（同）需用費一、九八二（一一〇增）事業費一七一、四二七（一五、四五六增）財產管理費四、〇六二（全額增）一時借入金三四五（三〇減）雜費一、〇〇〇（同）▲豫備費四、九四一（四八一減）
歲出臨時部
▲乘合自動車費五四、三三〇（七三、九九三減）▲積立金五〇、二九三（一二、八五一增）內譯車輛減價償却積立金四九、四五一（一二〇〇九增）府債償還基金積立金八四二（全額增）▲一般會計繰入金二、七四六（全額增）▲府債費六、五〇五（一七五減）

特別所得稅 條例廢止

所得稅附加稅の課稅率を改正し新に地方稅特別所得稅附加稅の課率を定められた結果現行所得稅附加稅および府特別所得稅に比し約半額を減じたので、府歲入の缺陷を補ふため左の如く制限賦課をなすこととなり府協議會に提案した府特別所得稅條例は昭和二年度限りこれを廢止す
附則
本條例設布前に終了したる法人各事業年度分の所得に付ては仍從前の例に依る

國稅及地方稅の 賦課條例の改正

市街地稅令の廢止所得稅の課率改正並に地方稅特別所得稅附加稅新設の結果府現行の條例中左の如く改正の要あり府協議會に提案された
▲國稅及地方稅附加稅賦課徵收條例中左の通改正す
第一條中『市街地稅附加稅』を『稅附加稅』に『所得稅附加稅本稅一圓に付金十四錢』を『所得稅附加稅本稅一圓に付金七錢』に改め『地方稅特別所得稅附加稅本稅一圓に付金一圓』の次に『地方稅特別所得稅附加稅、本稅十七錢に付金七錢』を加ふ第一條の二第一項中『府の內外に涉り』の上に『所得稅の賦課を受け』を加へ第二項の次に左の一項を加ふ
地方稅特別所得稅の賦課を受け府內外に涉り所得ある法人は毎年營業年度の地方稅現別所得額、府の內外に區分したる所得金額及其の所得金額の割合に依り算出したる地方稅特別所得稅の賦課を受けたる後一月以內に府尹に申告すべし
第二條中『但し』の下に『所得稅の賦課を受け』を『營業稅附加稅』の下に『及地方稅特別所得稅の賦課を受け府の內外に涉り所得ある法人に對する地方稅特別所得稅附加稅』を加ふ第三條の中『主たる營業場を有せざる場合』の下に『又は地方稅特別所得稅附加稅』を『又は營業稅附加稅』の下に『又は地方稅特別附加稅』を加ふ
▲附則
本條例は昭和四年度分より之を適用す

府稅制限外 賦課條例

府稅特別所得稅は地方稅特別所得の新設により廢止の運命となり、廢止に關する左記案は府協議會に提案された
▲府稅制限外、賦課條例
左に掲ぐる府稅は當分の內國稅及地方稅附加稅賦課徵收條例に定むる制限を超過し左の課率に依り之を賦課す
所得稅附加稅 本稅一圓に付金十四錢
地方稅特別所得稅附加稅 本稅十七錢に付金十四錢
附則
本條例は昭和四年度分より之を施行す

受益者負擔 徵收理由書

京城府は都市計畫の財源として受益稅を四年度より徵收する事となるが、條例は府において審議中であるが、條例設定の理由書は左の如くである
理由
道路又は廣場の新設改築、路面改良、側溝並下水道の工事にして特別財源を必要とする場合少からざるを以て是等の財源に充當の爲工事の施行に依り著しく利益を受くる者に對し受益稅を賦課徵收せむとする關係上條例設定の必要あるに由る

徳富蘇峰氏 愈よ大每入り
後藤、清浦兩伯立會ひて 廿日本山社長と會見

【東京電報】徳富蘇峰氏の國民新聞退社後は大每、東日に招聘さるゝことに話まとまり四月三日より執筆することに決定したが、これに關し二十日上京する本山社長と會見し清浦、後藤兩伯立會の上で一切の取極めが出來るはずである同社における氏の待遇は特別客員といふ位置で責任も義務もないといふ自由の立場に置かれるものであるとなほ徳富氏と本山社長との間には五年位執筆するとの默契が出來てゐる

府の新火葬場
使用料其他の要綱

京城府は二年間懸案の新火葬場問題解決の爲公營式なる新火葬場を新設し火葬場、墓地も新設したが、竣工しいよいよ新年度よりこの使用を許可となつたが、この使用料については左の條項を設けて十日開催の府協議會に提案した
一、墓地及火葬場使用條例中左の通改正す

等級	十五歲以上	十五歲未滿	改葬遺骨
特等	二〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇
一等	一〇、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
二等	五、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
三等	三、〇〇	一、五〇	一、五〇

前項に於て改葬遺骨と稱するは埋葬後滿一年以上を經過したるものをいふ
附則
本條例は設布の日より之を施行す
第七條 火葬場使用料は左の區別に依り使用許可の際之を徵收す
十五歲以上 金五圓
十五歲未滿 金三圓
改葬遺骨 金三圓

第三次全國大會は 總て日本を對照
賀耀祖氏提案の要旨

【上海十六日發聯合】濟南事件に關して國民黨の賀耀祖氏は、第三次全國代表大會開催に際して國民政府の外交方針は日本を對照として對立政策を决定すべきであるとの提案をなすべく目下起草中だと

大亂鬪を演じた 南京市黨部大會
第三次大會を前にして 御膝許は此の騷ぎ

【南京十六日發電】國民政府の現在部は鳴物入りで第三次全國代表者選擧の正式代表會選擧進行に努めてゐるが南京特別市黨部は猛烈に代表大會に反對し十五日市黨部代表者會議を開き出席者百八十名がすべて中央が勝手に代表を指名したるに反對する議案を提出したるに中央政府派は激袂退席し殘りたる九十餘名にて中央の代表指名反對決議をなし同時に南京市黨部より第三次全國代表大會に出席せしめたる代表はこれを撤退せしむるとの決議をなしたがこの時さきに退席したもの再び入場してこれに反對を唱へて打つ蹴るなぐるの大亂鬪を演じ會場の門、ドアはもとより總理の寫眞まで滅茶々々に破壞し南京市黨部では今日更に大會を開き一層猛烈に中央の代表指名に反對すると手はずをとゝのへてをりこれに對する政府側は峻嚴なる取締りをするはずで或は流血の慘を引起こすかも知れぬと見らる

沙市勞働組合 東洋人を拒否

【シャトル發聯合】シャトル勞働組合中央評議委員會は能率增進及び防止の手段として東洋からの入國者に對し憲法制限を強調する決議案を可決した右は市および州の保險部を動かしヒリッピン人、ハワイ人および一般東洋人は將來建築業の就業を行はずしてシャトルに上陸し得ざる制度をまうけ樣とするものである

大阪本場所 三日目勝負

（大阪電報）
勝 負
時の海（つりだし）常陸島
白岩（したてなげ）龍の花
武藏山（うはてなげ）太刀山
若宮陸（すくひなげ）東關
岩本山（ひきおとし）荒熊
和歌島（うはてなげ）池田川
朝響（ひきおとし）鏡岩
留の峰（うつちやり）古賀の浦
信夫山（こてなげ）劍岳
朝光（不戰一勝）外ケ濱
鳳嶋（おしだし）新海
若葉山（つきて）大蛇山
常陸岩（おしだし）清瀨川
男女川（おしたほし）山錦
錦洋（わたしこみ）天龍
玉錦（おくりだし）寶川
豐國（きめだし）玉碇
常陸岩（よりたふし）吉野山
大の里（おしきり）幡瀨川
宮城山（よりきり）出羽嶽

茶話

▲選擧法案は貴族院委員會でのらりくらりと審議を重ねてゐる▲蛇の半殺しみたいにじたばたさせて徒らに政府當局の氣を腐らすばかりだ▲下院を通過した惡稅案で▲貴院が握り潰した重大案では第五十三議會において[illegible]內閣が▲郡制廢止案を提出したときである。貴院の反對で政友會案は美事に否決せられた▲總督府後方にそゝり立つ北嶽は四十五度の急角度の禿げ山である▲いまでも風雨の荒れる折は岩石の落下せぬとも保證されない▲むかしはしばしば落下したそうで、王樣はこれを不德と▲御心配になり[illegible]三日におよんだといふ傳說がある

人

◇朴相駿（黃海道知事）十六日午前八時四十分入城旭町屋旅館へ
◇園田平安北道警察部長 十七日午前七時入城同上
◇平井羅北郵便局長 十六日朝入城不知火旅館へ
◇山副良次（大阪住友合資會社營業部長）十六日朝入城山本旅館へ十七日午前十時發滿洲へ向ふ
◇藏重久（奈良縣警察部長）十七日朝入城朝鮮ホテルへ
◇笠神志都延氏（本社主筆）十六日中離城

會

太田海軍大佐招宴 十六日國際親和會有志は英京ロンドンに開かるべき國際海事會議に出席せんとする海軍大佐太田質平を朝鮮ホテルに招待して午餐會を開いた

經濟

肥料取締申合 取締官會議で

先般本府に於て開催した各道肥料取締官打合に於て問題となつたのは從來肥料檢査を實行する事と肥料廣告の取締等であつたが、肥料の檢査は從會等で共同購入をする場合肥料取締官立會の上檢査を施行して後初めて代金を支拂ふ方法を執り關西斤量に達せず、又は品質劣惡なものはそれだけ値引さすこととになつた廣告取締の件は各肥料共効能を誇大に記入してゐる向があるのでこれ等は全部禁止せしめ正當なものとなし、又今後は必ずこの正當な標準示したものを添付し農民をして誤らせぬことになつた

內鮮人別 評議員制問題

朝鮮商議聯合會各商議所では內鮮人別評議員選擧の可否に關し、各地會議所の意見を徵したが十一會議所中存續を可とするもの八ケ所、制度撤廢二ケ所であつた卽ち左の通し
▲存續を可とするもの
京城、新義州、大邱、鎭南浦、木浦、仁川、釜山、群山
▲制度撤廢
清津、元山

博覽會に 割引を要望 商議で決定

京城商業會議所は十六日午後一時から朝鮮交通部會を開き博覽會中內地朝鮮間の汽車と別府大阪間汽船との聯絡切符發賣要望の件に付協議の結果
一、博覽會中內地朝鮮間國有鐵道貨銀各等三割引
二、博覽會中內地朝鮮各線汽車汽船（各船會社）の聯絡切符發賣
三、日鮮滿鐵道に對し博覽會中並に三割引
各要望することとし、其要項は博覽會協贊會に一任することに決定した

上半月不渡減少

京城手形交換所調査、三月一日より同十五日に至る京城不渡手形は二十一枚四千四百五十八圓八十四錢で、前月上半月に比し十八枚六千百三十七十九錢の減少である

大株短期引跡

大 新 百四十一圓二（不變）
鐘 新 五十九圓四（廿錢高）
東 新 百六十一圓一（十錢安）
日 產 八十九圓一

株式

期米

期米高の原因

十六日後場期米が爆發したのは政府の米買上げ氣配へに地場强氣筋が買進んでゐた折柄、右の運用資金七千萬圓增額の件が貴族院を通過した爲め東京を中心に一齊暴騰した結果による譯である、何分逝日米古米先れに圖分騰進まれてゐただけその反動も激しく今後も相當の活況を呈するであらうと

大阪期米市況（後場）

田中東商米、上浦限り底潮補充岩〇九錢と伸ひ止節更に十三錢と吹き上げ十三錢と騰りに大引せり

各地期米後止

▲下關二九、三一▲桑名十一番二六、七四▲同十二番二六、七四▲名古屋二九、四三▲金澤二七、五八▲熊本二八、七〇

大阪最終氣配十三錢二錢高

大阪市中在米

在高は二百二十二萬一千六百四十三俵と前日の在米高に比較して二千二百十五俵の增加である

東京深川在米高

十六日現在高は九十九萬四千三百七十七俵と前日の在米高に比較して三千七百四十八俵の增加である

群山廻米報

船便 玄米 三、〇四五叺 籾 二〇三俵
汽車便 玄米 二、一二〇叺 籾 五〇七俵
牛車便 玄米 一四〇叺 籾 ナシ
合計 玄米 二八、三九二叺 籾 三五二俵

仁川穀物出入（十六日）

移入
（船）
（貨）（四）一 六三六五
同 米（俵） 三一一六
ゝ 米（叺） 三九一一
日 豆（叺） 七五〇
大 （叺） 一三一四
● 移出
日 米（叺） —
同 二斗入（袋） —
玄 米（叺） —
大 豆（叺） —

仁川期米各店仕合（單位百石）

當限賣方 ㊀五五六、一〇一、三
當限買方 ㊀三七五六㊁三〇㊂五
中限賣方 ㊀一〇七二〇九九五
中限買方 ㊁七〇六㊂二二、㊀一
カネメ二、九
先限賣方 ㊀七五二、五〇一、九
ゝ 一九㊅一六㊁一八
先限買方 ㊀四四カネメ一

仁川大豆本玉表（單位百石）

當限賣方 五二
當限買方 ナシ
中限賣方 ナシ
同 買方 ナシ
先限賣方 ナシ
同 買方 ナシ
▲帳入値 當限中限申不先限
▲取組高 當限二〇〇石中限先限不申
▲出來高 合計不申案計三八五〇石

市況

橫濱生糸後場引

當限 一三三五圓
先限 一三六九圓

◇大阪市中外相場へ
ストリクトミドリング 三月 一前日比較
ブローチ 同
ベンゴール 同 不變

綿花は保合 十六日の京城錦糸布市況は、米相二十錢高、印綿不變等の材料に、綿絲は五十錢方品薄、目先は堅調と目されてゐた、京城市況絲糸布現物は相變らず商內少く、相場は鈍狀の保合つた

◇海外砂糖市况
キューバ粗糖 二月 四月限 二弗丁度
ジヤワ糖 同 一二志二片四分一 未着
倫敦糖 同

◇鮮魚盆々軟調 京城水產市場十六日の水揚高は四千四圓二十錢にして賣數は二千二百八十六貫と休日を控えただけ何れも激增であつた。其中でも鯛は極度の品かすれに一躍二百圓と弄騰したし、其他の雜魚も賣行好調に一圓万餘りの品騰であつた（單位四十貫建）
▲ベニタイ五〇▲チヌダイ六〇▲サワラ一五▲ヒラス五〇▲サバ一七▲アヂ一八▲コノシロ二▲メ三五▲タコ二〇▲ヒラ〇▲アワビ七〇▲カレイ一五▲コチ二〇▲上ザツ三〇▲イカ五〇▲イ二〇▲並ザツ七▲カマボコ一五▲タイ二〇▲イイダコ二〇▲ボラ二〇▲エビ四五▲カニ二五

◇棉安は宜行好誂 棉安は一時伸悩みの商狀を續けて居たが、賣行の好調と共に漸次堅實な道に引返し、相場は現在日室三月物五圓廿三錢四月物五圓廿錢ドイツ物四圓八十五錢英國物四圓八十五錢霜化五圓五錢を唱へて居り目先は尙一段高い氣配である

如何に彼等を教育する

今期帝國議會において國民に大きな衝動を與へた一つの事件といふのは無產黨代議士山本宣治氏の暗殺事件であつた。かつてわが議會史中に、星亨氏が兇刃にたふれて以來、久しく、かうした血腥ひ不祥事を聞かなかつただけに、山本氏の遭難は、痛く國民の心を打つものがあつた。しかもそれが議會開會中のことではあり、遭難者が、無產左翼黨を孤守する唯一の代議であり闘士であることが、一種の時代色を帯びた重大事件としてわれ等を考へさせたものである

◇

事件突發と共に、輿論は、氏の慘死を憫むと共に、兇漢の暴擧を憤んだ。法治國下に、かうした暴力が盛行することは、國家の恥辱でもあり、社會正義や人道の上からいつても、許しがたい罪惡だからである。けれども、犯人の犯罪動機を檢討して見れば、それが犯人の私憤、私怨から行はれたものでないことは明かで、たとひその行爲が、不法であり不正であつたとしても、或は又多少賣名的な私心が含まれてゐたとしても、一種の公憤から發起した犯罪であることは否まれない。そして、われ等は思ふ、この犯人の心理は、社會人心に、二様の刺戟を與へたであらうことを。

◇

その一は、左傾思想、もしくは左傾的思想を有する人々の反抗心を挑發し、暴に報ゆるに暴を以てするの傾向を促進するであらうとおもはれるのである。そして、それはすでに兇變の當時、左翼代議者の宣言にも、その閃影をうかゞふことが出來るのである。他の一は右翼陣をまもる人々、國家主義を信奉する人々が、思想陣から行動の陣營へと踏出したのであり、矢はすでに弦を放れたりとして、第二、第三段の陣營へと移るの餘儀なきに立ち至るのではないかとおもはれるのである。もし、かうした機運が釀成され促進されるとすれば、今後は益々暴力の盛行が激しくなるであらうと懸念されるのである。

◇

暴力行爲そのものは、警察當局の力を以て、抑壓し、防止することが出來るであらうが、われ等がおそれるのは、暴力、直接行動よりは、かうした不穩な空氣、思想が、釀釀、醗酵して行くことである。思想國難などといふ言葉は、もうすでに古くなつたが、さて國民の思想を、いかにすれば善導することが出來るかといふ實行の段取になると、一向名案もないやうである。曰く學生訓練、曰く青年團、曰く女子青年團、曰く修養團、曰く報徳會、曰く、曰くと國家思想を鼓吹し、質實剛健を謳ゆる團體は、幾十、幾百あらうけれど、國民の生活や思想に、ぴつたりと合つた指導の方法は、まだなか〳〵見つからないやうである。

◇

近い例では、山本代議士の屍體解剖の際に、東大の學生が、萬歳を唱へて、不穩の擧に出でたといふ。わが官憲の監督下において、かうした事實が發生したことは、世人をして、すくなからず奧歎せしめたであらうと共に、わが教育界に、有形、無形の波動を與へるであらうといふことも想像に難くない。のみならず、つい最近には、學徒そのものゝごとく信じられてゐた一高內に、左傾團體が潛んでゐたことが發覺された。かくて、先年いはゆる京大事件に端を發した學生の左傾運動は、今日では、全國的に波及し、わが國民の教育が、次第に蝕ばまれつゝあることは論をまたない。

◇

といつて、われ等は徒らに杞憂の影を誇大に見やうとするのではない。水鳥の羽音に驚くといふわけではないが、左傾學徒の運動が漸く、初期の研究時代を脫し次第に實行運動に移りつゝあることは疑ひを容れない。で、われ等が考へねばならないことは、左傾運動なるものゝ過大視し恐怖する必要はないまでも、決して輕視してはならないことである。われ等はそれを正視することが必要であると共に、この反動的な國民運動ばかりに依頼せず新思想に立脚する國民的な一大運動を促進すると共に、教育方針における一大轉換の時期ではないかと思ふのである。

朝鮮の林政計畫
草間局長の說明
關稅定率法中改正法律案
衆議院委員會速記錄より【一】

前田委員 朝鮮總督府の方に朝鮮のことを御聞きして見たいと思ひます。先づ根本論として朝鮮の森林政策に付て御伺ひ致したいと思ひます。私共朝鮮の森林政策を考へまするのにまだ內地以上に幼稚であつて、政策が確定して居らぬと思ふのでありまするが、それに對する一つ政府の意見を伺つて見たいと思ひます

草間政府委員 朝鮮に於ける先づ森林の概況を申上げまして、其上で朝鮮に於ける現在の林政に關する大體のことを申上げたら宜からうと思ふのであります。**朝鮮における森林の總積は大體千六百萬町步であります、**其中で國有林は約九百萬町步、民有林が約七百萬町步であります、而して此國有林の中で所謂要存林野に屬するものが約五百萬町步、不要存林野に屬するものが約四百萬町步であります。更に之を林相の上から申しますると云ふと、要存國有林野約五百萬町步の中で成林に屬するものが約三百六十萬町步、其他の百五十萬町步と云ふものが極めて稚樹若くは無立木地になつて居るのであります、それから不要存林野並民有林を併せたものが大體約千百萬町步、其中で成林地に屬するものが極めて僅かでありまして、**成林地が約二百萬町步、稚樹並無立木地が約八百萬町步、**極く『ラウンドナンバー』なことを申上げましたから其數字を合計しても或は合はぬかも知れませぬが、さう云ふ狀況になつて居ります。要するに**成林……林相を成してゐるものは大體國有林であります、國有林が主てあります、民有林で林相を成してゐるものは極少い譯であります、**而も國有林の如き狀態でありまして、而も國有林、所謂林相を成して居る現狀に於て相當の林相を成して居る所は、所謂鴨綠江、豆滿江の上流の地域でありまして、それ以外の地域に於ける國有林と云ふものは、比較的少いのであります、殊に朝鮮の中部から南部に掛けては、林相を成し居る所は比較的少ないのであります殊に其地方に於ける民有林と云ふものは殆ど荒廢に歸して居る是は要するに舊韓國時代におきまして、所謂苛斂誅求其他暴政の結果森林を保護すると云ふやうなことは頓となく、又人民も所謂濫伐と云ふことになつて、燃料其他の關係もありますけれども、濫伐と云ふものを考へて居らぬ樣な狀態である、之が爲に國土の保安或は水源の涵養と云ふ點に於て非常に缺けて居るのでありまして、朝鮮に於る產業政策を實行するに付ても、亦河川の改修をして水源を涵養すると云ふ樣な點から考へても、朝鮮の山を治める、**治山と云ふことが最も根本政策に屬すると云ふは朝鮮に於ける多年の輿論でございまして、**政府の方針も左樣であります。然るに未だ併合以來二十年にもなりますが、此方面に對する施設と云ふものは遲々として進まぬのであります。大正十四年五十一議會に於きまして、所謂朝鮮の產米增殖計畫を樹立することになりまして、朝鮮に於ける產米政策の根本は樹てられたものであります、が、それと同時に此林政に付ても根本政策を確立する必要があるといふので、此產米增殖計畫と同時に致しまして、朝鮮に於ける林政を確立することの計畫を樹てまして、同時に治山に關する計畫も樹てたのでありますが、其中治山に關する分は所謂公債政策の爲めに之が實現が出來なかつたのでありますが此林政計畫だけは兩院の協贊を經まして、**茲に朝鮮における林政計畫の根本方針が確立せられたのであります**

林政計畫一般
統一と經營

今其林政計畫の大體のことを申上げますと いふと、第一には**林政計畫の統一、**であります、從來朝鮮に於きまして此林政は勿論總督府に此主管の課がありましたけれども、是は唯殖產局の一分課に過ぎませぬので、一課でありました、而して之が實行の機關としては、總督府の出張所があり、更に營林廠があり、又道に於て林務の出張所があり、仕事をして居ると云ふことで、所謂三ツの機關が互に分立して居つたのでありまして、此間に自ら事務の連絡と云ふことも缺けたやうな狀態でありました、それで統一するは、先づ以て林政計畫を立てる時に於ける林政機關の統一する必要があるといふので、先づ總督府に山林部を置きまして、從來の營林廠を營業に屬する機關と、それから林務行政機關といふことの二ツに分けまして、林務行政機關に從來道でやつた分と、本府の出張所でやつた仕事と、營林廠のやつた仕事を統一したのであります、次には其國有林野の**經營に關する改善**であります、之に付きましては第一國有林野の中の詰り要存林野と、不要存林野の調査を致しまして、之が區分を明確に致すと云ふことであります、先に申しましたやうに、大體要存林野は五百三十萬町步でありましたが、其中で詰り農耕適地として民間に開放するを得策とするものが相當にありますので、それ等が大體百三十萬町步ありまして、それを引きました約四百萬町步と云ふものを將來に於ける要存林野と確定致しまして、それに對して周到なる管理を施すことに致しまして、同時に是等の地域に對しまして、施業案の編成を檢討致すことに致しました、尙國有林として存置すべき所の山林に付きまして森林計畫を立てたのであります、之に付きましては、將來十ケ年間に之を分けまして、之が森林の計畫を致すことに致したのであります、次に此國有林野の產物の處分でありますが、先程申しましたやうに、現在の林相を成しまして、之を伐採し得るものは大體に於て鴨綠江、豆滿江沿岸の所謂處女林に屬するものでありますが、是等の大體の鴨綠江、豆滿江に於ける蓄積に付きまして大體五億五六千萬尺〆の蓄積があるのであります、是は此林政計畫を立てますときに、內地の方面の有力なる專門家を委囑致しまして、其他特別の委員を任命して、特に是の實地に付て調査を致しました結果、是等の蓄積があることを確めたのであります、從來は是等の森林に付きましては、大體百箇年位掛つて之れを伐出すといふやうな計畫を立つて居つたのでありますけれども、是の森林は多くは老齡過熟でありまして、さういふ風に百年も長く掛つて伐出すといふことになりますと、大部分は枯死してしまふといふ關係があるので、寧ろ早く是等のものを伐出した方が、最も是等の林產物の利用上適當であるといふことで、更に年限を短縮して、之を多く伐出すといふことに致したのであります、而して是等の林產物を伐出すことに依りまして、其收入によつて、一面に於ては國有林の經營を進めると同時に、一面に於ては民有林の保護施設を致すと云ふことに致したのであります」

保護政策
火田整理と虫害の驅除

尙其國有林の保護施設に付きましては、國有林の保護の爲に或は保護區を置くとか、或は之に關する森林警務を勵行するとか云ふやうな、諸般の施設がありますが特に朝鮮の林野に付て申上げなければならぬ事は**所謂火田の整理**であります、朝鮮には火田民といふものがありまして、是が非常に山林を荒すのであります、朝鮮に於ける山林の荒廢致しますのは一つは所謂燃料其他の關係上濫伐致すと云ふことが原因でありますけれども、是等の火田民が山林を開耕致すと云ふ爲に、著しく山林の荒廢を來すのでありまして、是等の火田民を整理して、所謂火田をなくすると云ふことが、國に於ける森林の根本策であると考へて居るのでありますが、然るに其火田民の數が數十萬に達して居りまして、而も此火田を禁止すると云ふことは彼等の生活に非常な脅威を與へるのでありまして、之が爲に數十萬の者が生活の途を失ふと云ふのでありますから、一面に於ては社會問題としても之に考究しなければならぬのであります、仍て火田を整理するには火田民に對する相當の處置を講じなければならぬと云ふことが前提となるのであります、之に付きましては火田の整理委員と云ふものを特に置きまして、社會政策の見地からも何等か之に對する對策を攻究すると同時に、火田民の整理と共に此森林の保護を實行すると云ふ方針を立つて現に實行して居るのであります、次に民有林の保護施設でありますが、其第一は造林に關する補助であります、民有林の中で將來人工植栽を要するものが大體百三十萬町步であります、是等は大正十五年から將來三十年間の間に造林を致すべく補助を致すのであります、之に付ては其苗の一部を補助致しますと同時に、一面に於ては地方團體に郡等に造林に關する技術者を置きまして、造林の指導に當らせるといふことを實行致して居ります、次には朝鮮に於ける林相を荒します一ツの原因は**所謂虫害が多い**のであります、火田の整理をすると同時に一面に於ては虫害を無くすること、所謂苗虫の驅除と云ふことが非常に必要でありますから、之に對しても相當の方法を講じまして地方費の補助と併せて害虫の驅除を致すことに致します

森林組合、試驗場

次には森林組合の補助であります、是は此の機關に依て森林の取締をする——保護をすると云ふことも必要でありますが、中々是では手が足りぬのでありますから、所謂森林の業に當る者は自ら自己の力に依つて保護施設をすると云ふことも最も必要なることと認めまして、森林組合を設立せしめまして、之に對して相當の補助を與へる、さうして技術者を置き一面に於ては造林の保護をすると云ふことを習はして居ります、それから次には林業試驗場の整備であります、朝鮮に於ける砂防工事に關する研究或は其他の適樹の試驗といふやうなことに付きましては、之を學理的に研究することが非常に必要であると認めまして、既に林業試驗場の設立してあるのでありますから、其試驗場を更に整備しまして、一面に於ては其の學理を研究すると共に、又實行上に付ても相當の研究を致しまして、林業者の指導に當らせるといふことに致しました、尙森林の保護並指導の爲に、地方廳に相當の專門家を配置するといふことの爲に、地方に對して相當の補助を致して居ります、尙最後に此治山事業の必要であるといふことを申しましたが、此計畫は大正十五年に於て實現すべく計畫を致したのでありますけれども、財源の關係上之が實現を見るに至らなかつたのでありまして、爾來引續いて砂防事業の實現の爲に努力を致して居りましたが、未だ其時機を得なかつたのでありますが、昭和四年度の豫算編成の際に政府と交渉致しまして、特に是等の爲に借入金を致すことに致しました、從て從來は僅に七十萬圓の程度に過ぎなかつたのでありますが、昭和四年度よりは二百三十萬圓宛年々砂防事業に支出することに致しましたのでありまして、之が爲に朝鮮の砂防事業は著しく進捗を見ることであらうと認めて居ります、大體斯の如き方針に依て計畫を立てまして大正十五年より實行致して居ります、丁度既に三年になるのであります、此間に於ても相當に效果を現じて居ります、近來朝鮮に來られた人々は特に朝鮮に於ける森林の相當に青くなつたと云ふことに付て非常に好感を持つて居るやうでありますが、私共が地方に行きましても、朝鮮の人々が所謂林野を愛すると云ふやうな氣風が段々出て來たと云ふことは、一面に於ては是等の計畫の實現といふことも其效果があることであつたと考へて居ります

博覽會王物語
故栫引弓人氏を偲ぶ【十】
原口透

總領事は困り切つた面持ちで部屋を出た、それから約一時間もしてから總領事が又這入つて來て、萬國博に今まで幾ら資本を投じたかときいた。

『いふをやめられよ、閣下溝にほりこまれるやうな資金の勘定をしたつてつまりませんや』

如何な外交官生活の多事もこの老獪な皮肉にむくゆる言葉を知らなかつたか、チエッと舌打ちして出て行つた、三十分間もしてから又這入つて來ていふには大使が會ふから二階へこいとの吉報だ、彼はゆつたりと坐込んで椅子を起つかと思つたら、それに返答もくれない、總領事は又行つてしまつた、暫時すると大使自ら下りて來て、何と思つたかかれの肩をたゝいて『案じるな、顔色が惡いがどうかしたのか』彼はイエスとも否ともいはない、私はこれで失禮しますと大使へ手を差出した、大使は堅く握手して再び案じるなと繰返した。

彼はそのまゝ鐵道の旅館へ歸り翌日は休息するとて東京へは出て來なかつた、その日總領事の事務所に外務省の一員から、米大使館で差支ないといふからスグ館へ皆を迎ひに往つたら上からうと電話だ。

こゝに難題は解決したのだ、如何な大使館員も美事彼の[illegible]にかゝつてしまつたのであつた。

アメリカ時代には彼を私設大使と呼んで同胞は調法がつたのも偶然ではない、兎も角彼が外人相手の交渉は他の追隨を許さないものが往々あつた。

こゝに彼が多年の博覽會經驗を略記して一先づ稿をとぢることゝする。

博覽會は一ツの人寄せだ、工業の陳列のあれだけ盛んな米國でも時の博覽會の設備がよくなければいはゆる人寄せに失敗する、設備とは出品物のことではない、勿論出品物も新文化を誇り向上の經路を照した物、新路を指示し、好奇心を興へ、興味となり好記錄となるものが多くを占めなければならないが出品關係者のみに觀覽せしめたつて博覽會の目的は達せられぬ、なすに博覽會は農工商の現在を標識する記念塔といつてしまへばそれまでだが、社會各般の人々に觀覽せしめて出品物の鑑賞と直接一般の利を興ふることが博覽會の使命だゆゑに多くの觀覽者を蒐集せなければならない。この爲にあらゆる人寄せの手段を講じて博覽會場へ大衆を引張り込むのだ、その方法が特別館設置だ、學術講演も可、文藝山俗演藝、工業製作實演、スポーツなんでもござれで飯と酒とを問はず人足をひく萬人向きのものを會場內でやることだ、と、この博覽會でもこれ等特別館の設備なる設備であつたこと異人斷觀の滅戰を見るのが例であつた。日本でもこの形式である大正博和博の如き如何に人寄せに手段をほどこされたかは縣民、驚さがしその他諸種の余興、なかんづくガラス張の水槽で海女を泳がしたりきわどい踊りをやらした、これ等は全部博覽會事務局の直營であつたではないか。

面白いのは入場者の多くは陳列館の中核館かは見逃すが、余興館演出の永い時間のプログラムを中途でよす人は稀れである、享樂の娛地に水の低きに流れるやう人氣が向くのはやむを得ないことであらう(完)

鄕土片々

◇あつい面皮 下關市の自動車々掌谷富康(二二)は見ず識らずの家に上り込みそこの妻君を口說いてつかまる。

◇惡辣な亭主 北海道[illegible](三〇)は所持金十圓を女房がチヤバつたものと誤解し棍棒でなぐり殺す。

◇只では教へぬ 元山府廳の紛失した大砲のありかを教へるから報酬を與へてくれと申出でた者があつた

◇よわい強盜 大阪府中河內郡矢田村吉本正秋方へ押入つた強盜、あべこべに吉本夫婦に取押へられ「改心するから勘辨」と悲鳴。

◇巡査の名代 [illegible]巡査[illegible]は年齡未滿の息兄の名で五年間巡査を勤め發覺免職

◇母子共壯健 大阪印刷會社員寺宗千代子(二七)さんは男子を三人生む。

文部省社會局
六月から實施
三課に分つ
成人課、青年課、庶務課

【東京】社會教育は近來急激の進展をなしこれに關する事業は頻々その質と深さを增して來たので文部省これが指導監督の任にある文部省社會教育課では從來の世帶では十分な仕事が出來ぬ事となり、局へ昇格の必要に迫られ昨年來その豫算をなしつゝあつたがすでにその豫算も通過したのでいよ〳〵來たる六月を以て社會教育局に昇格することに決定した、尙局の內容組織は成人教育、青年教育、庶務の三課に分ち

成人教育課 では教化事業勞働者教育、圖書博物館事業教育映畫事業等を

青年教育課 では實業補習教育青年訓練所男女青少年團等

に關する事務を取扱ひ、この外に社會教育指導者が設置される、又現在各府縣において社會教育課の獨立してゐるものは僅かに七つであるが、社會教育局獨立の後には府縣社會教育課の獨立をみるものが多くなるわけである

社會教育に映畫を利用せよ

【東京】最近大阪において開催された全日本映畫教育研究會主催の全國活映教育大會は全國會員二百余名に上り盛大を極めたが、文部省の諮問になる學校教育並に社會教育における映畫利用の適當なる方策如何に對して同會では左のごとく答申をなすに決定した要點は(一)フイルム配給の普遍(二)文部省と映畫業者との聯絡統一の努力(三)文部省の教材映畫製作へ(四)映寫用フイルム等の價格引下げ(五)教育映畫觀覽施設手續の簡易化(六)學校教化團體に映畫設備の獎勵(七)市町村等の團體に映畫機を購入し學校の利用に供す(八)映畫の技術練習會の開催及び關係者の指導

學士院論文

【東京】去る十二日總會を開いた帝國學士院定例總會の論文左の如し

一、關東大地震の一因子として岩槻地壘帶 小藤文次郎
一、日本の古生層石炭の研究 德永重康
一、朝鮮石灰洞中に發見せる獸類化石 同
一、太陽の長期黑點の固有運動 早乙女清房
一、炭酸瓦斯入密閉並密閉にて四ケ年貯藏したる玄米の發芽力、營養分及ビタミンB 近藤萬太郎 松島修 岡村保藏
一、日本產新湖沼產ヒドロイド 內田亨
一、本年一月十三日の千島地震に就いて 今村明恒
一、土壤中にある腹毛綱七種の二新種 雜谷正健
一、マグネシヤ鳳の日本產、第二種 丘淺次郎
一、スパークに由る瓦斯の點火 寺田寅彥 湯本清比古
一、日本酒食用菌の一新種なめこ 伊藤篤太郎
一、硫黃鹽地細菌の三新種 江本一郎

日英米佛特許
治淋最新藥
ウラルゴール

ウラルゴールは從來行はれたる淋疾の局所療法卽ち注入、洗滌等を更に簡單に便利に同時に更に有効ならしめたる化學的療法で淋菌を根本的に撲滅せしめんとする主旨により作られたるものである。凡そ二週間で淋疾は全癒すべしと聲明せられた療法である。

從來の局所療法卽ち洗滌、注入等の療法は藥劑を水藥又は乳劑として使用し或は坐藥として挿入する樣に出來てゐる、然し此等は皆各々缺點がある、注入法にては藥劑の効力は唯注入の間のみ短時間作用するに過ぎない、從て確實なる効果を得んとせば毎回約十分以上にわたる注入を一日五回乃至十回反覆せねばならない是れ實際上云ふべくして行はれない事である。

又坐藥はこれ等に比して大なる持續作用をもつてゐるが脂肪質を含み尙有効成分が割に少量で其の効力も脂肪質に遮られて直接尿道粘膜に作用するを得ざる缺點がある。

是に反してウラルゴールは脂肪を含まないもので尿道に挿入すれば、間もなく溶解して強力なる殺菌性を有する內容粉末は平等に尿道粘膜に付着し、長時間最も有効に作用するから其の効果の大なる事は到底從來の各種局所療法の企圖し得ざるところである。

用法は極めて簡單で藥物の刺戟もないから隨所隨時に使用することが出來旅行用として之を患者に携帶せしむるに最も安全である。

男子尿道淋には初め中管を使用し後長管を用ふ、婦人尿道淋には長管子宮頸管淋並に男子淋疾豫防には短管を使用す。

各地著名藥店に販賣してゐますが若しなきときは直接御注文にも應じます、長管十本入金貳圓。中管十本入金壹圓八十錢。短管貳拾本入金壹圓五拾錢送料は何れも五個迄內地拾貳錢海外四拾五錢。實驗報告集は御申越次第發賣元より進呈致します。

發賣元 東京市日本橋區本町 友田合資會社 振替東京一九三八番 電話日本橋(24)[illegible]

列車時刻表
昭和二年十一月一日改正

下り

列車番號	11	1	3	5	21	7
接續		釜山ヨリ急7.58 安州ヨリ混8.24	平壤ヨリ混10.00 10.36	奉天ヨリ急12.22	安東ヨリ混2.34 新義州ヨリ混3.46	釜山ヨリ急5.44
新安州發		前8.30	前11.15	後12.50	後3.50	後6.15
安州着		8.49	11.34	1.09	4.09	6.34
安州發		8.51	11.35	1.11	4.12	6.35
北松里發		9.08	11.51	1.27	4.29	6.51
龍興里發		9.31	後12.12	1.48	4.50	7.12
雙興里發		9.50	12.30	2.07	5.03	7.30
价川着		10.17	12.57	2.34	5.35	7.57
价川發	前8.05	11.00	1.15	4.30		
栗興里發	8.15	11.10	1.25	4.40		
泉洞着	8.29	11.24	1.39	4.50		

上り

列車番號		4		20	6	8
泉洞發		前8.39	前11.39		後1.51	後5.09
栗興里發		8.54	11.54		2.09	5.24
价川着		9.03	後12.03		2.18	5.33
价川發	前8.00	9.20		後1.00	3.20	6.25
雙興里發	8.28	9.49		1.28	3.50	6.53
龍興里發	8.51	10.12		1.51	4.12	7.16
北松里發	9.09	10.29		2.03	4.30	7.33
安州着	9.24	10.44		2.23	4.45	7.48
安州發	9.25	10.46		2.25	4.47	7.49
新安州着	9.44	11.05		2.44	5.06	8.08
接續	安東行混10.46 11.08	釜山行急12.25		平壤行混2.55 定州行混3.50	奉天行急5.47 平壤行混6.47	定州行混9.20 釜山行急10.17

价川鐵道株式會社

●ノーシン●

法人登記公告
[illegible]
順川出張所

商業登記公告
[illegible]
鎭南浦支廳

商業登記公告
[illegible]
鎭南浦支廳

全羅北道

全北道評議會【第五日】

全北道評議會第五日目は十三日午前十時半開會歳出經常部第四款教育費二十九萬六千四百七十圓臨時部第四款教育費二萬三千九百三十圓等の第一讀會に入る前に教育費豫算の內容について瀬戸番外の說明元村番外と歳出經常部第六款衛生費に就いて課長より說明があり

▲久永議員　本府の教育方針新計畫は地方廳に於ても勿論同感であると思ふがこれに反する樣なことが屢々見受けられると教育の缺陷を縷々述べて

一、學年延長に就いて當局は如何樣に考慮を拂ひつゝあるか

二、月謝の半減又は全廢を希望するが當局の御意見如何

三、師範なる學校の教育に〔手數料〕を徵收せしめることは廢止して貰ひたいと初等教育に就ては右の如く徹底的に希望意見を述べ次いで中等教育に就ては昨年の道議會に於て全州公立補習學校を甲種工業學校に昇格せしめて戴き度いとお願ひしたが豫算面で見ると當局は何等考慮が拂はれて居らない樣に思はれるが特別の御詮議が拂はれたい

▲大島內務　總督府の普通教育方針についての缺陷につき御意見を拜聽したが道當局としても尚多分に考慮を拂はなければならない餘地があると思ふ普通教育は既定計畫で出來るだけ學校の增設を計つて多くの生徒を教育したいと思ふ學校の增設についても貧弱な豫算では如何とも出來ないので出來るだけ國庫の補助を受けて昭和六年迄には二面一校に對して一校の計畫で來たが今回更に本府の方針に從つて昭和十一年までに一面一校計畫を完成せしめる計畫を樹てて居る又授業料については他道に比して高率でない授業料を徵收しないと云ふことになると教育費に一頓挫を來す恐れがある全州工業補習學校の昇格に就ては充分今後考慮する

▲山本悅藏氏　十八番議員（久永氏）と同樣教育方針の問題は精神的であらねばならない斯の如き見地からして任實普校某訓導に關する傳聞記は遺憾である

▲大島內務　任實普校某訓導に關する傳聞は調査の結果事實無根である

▲平井道氏（[illegible]）普通教育の學年延長に當局は時機尚早などいはれるが此の樣なことを云はれず內地では普通教育八年延長說を聞く折柄時勢に適應されて學年延長に就いて考慮を拂はれ度いとモルヒネ中毒患者收容施設の意見を質す議長自ら立ちて此れに關答中食の爲議長休會を宣す時に一時五分午後二時再開

▲元村番外　午前中山本道議の質問せる群山道立病院內容に就いて簡單な說明をなす

▲鄭炳鍵氏（錦山）十八番議員の教育方針に就ては本議員も同感である。教育の監督を充分ならしめる爲め視學の增員を希望する山間部に（實業補習學校）の設備が施されてないのは遺憾である何時山間部に中等教育の施設が行はれるか

▲瀬戸番外　視學機關に就いては現在三名の視學を配置してあるが出來得るだけ學校の監督にはあたつて居る、尚又處に依ると本府に於ては昭和四年度に視學機關の充實を計る爲め各道に一名宛增員する計畫である由、次に實業補習學校の設立は未定であるが臨時部に補習學校補助費として二千四百圓を計上し相當此の方面に就いては留意してゐる

▲姜甲秀氏（井邑）官立師範學校を全北道に設置される樣道當局の盡力を要望し全州公立高等普通學校に於て教員が學生を監禁し又は毆打した由なるが事實なるか、本府の一面一校計畫に就いて道當局の施設方針如何

▲瀬戸番外　師範學校の件に就いては充分御意見に添ひ度い全州高普の教員が生徒を監禁したと云ふ樣なことは絕對にない教員が生徒を毆打した件に就いては事實を認め今後に就いては充分注意を拂ふ旨を述べる本府の一面一校計畫に對する道當局の方針については數字的に昭和四年度以降の增設校數を擧げて詳細に說明する

▲郭鍾氏（金堤）全州女子高等普通學校の寄宿舍新設を要望次いで十番議員と同じく全州高普校問題に及んで校內の賣店に於て內鮮人學生の差別に端を發し教員が生徒を毆打した事件を思想問題に結び付けて教育の根本方針につき當局の猛省を促す

▲瀬戸番外　女子高等普通學校寄宿舍に就いては正式ではないが守備隊跡を地方費で借り受けて寄宿舍に充當しておるのは寄宿舍も監督も充分監督しておる學生の影響を受けた爲めで授業料の完納を整理して出來る丈け早く新設したいと考へて居る、全州高普昭和三年度卒業生の減少は同盟休校を企てた生徒を退校せしめた爲である其の他同校の不詳事件に就いては實否を詳細に調べて不行屆の點に就いては充分考慮する旨を答へる

▲郭鍾氏　引續き緊急設備を要する女子高普校の寄宿舍が豫算面に表はれて居らない旨を質し今後全州高普に於て不詳事の起らない樣當局は充分の取締をされたいと重ねて當局に要望大島內務部長に質問する

▲武延年氏（扶餘）當局の教育費豫算編成を難じ教育費豫算の捻出不可能は絕對的のものでないと[illegible]豫算、農業倉庫設立費の捻出を例にとり本道教育充實の爲め教育費の增加を希望し當局の一面一校計畫より學年延長の方が有益なるは一般に希望し其の方が効果がある點に思ふと述べ國庫の補助の直下、鄉校財産を學校費に振り向ける件又普通學校敷地の擴充不備の點を擧げて說明を要求

▲大島番外　學年延長は各位より熱烈な希望の聲を聞きますが現在としては一人でも多く教育すると云ふ方針が急務の樣に思ふと答へ以下叮嚀に說明する

▲柳澤根氏（全州）小學校と普通學校の校數並びに內鮮兒童の共學は一視同仁と云ふ見地から結構なことではないと思ふが當局の御意見如何

▲瀬戸番外　小普通學校數並びに兒童數を列述し內鮮兒童の共學は教育令に於て認めて居らないから止むを得ない旨を答へる

▲蘇鎭文氏（益山）全州高普校の紛爭に就いては何か深い理由があることゝ思ふから當局は紛爭の根本に就いて探究する必要がありはしないかと力論し一面一校計畫より學年延長計畫の可なる事を說く

▲大島內務　全州高普校の教員身分上のことは公開の席上で申上るべき性質のものでないと思ふが道當局として今後充分考慮を拂ふ考へである一面一校計畫は國庫の補助に依るものであるからそれを變更して學年延長と云ふことは出來ない

▲梁載奭氏（南原）書堂學校に對し國庫の補助を得られないものが普通學校の學年延長に就ては本議員は多年要望して來たが道當局の御意見如何、補助費中三萬四千十九圓計上しておるが何處の學校に補助するのか朝鮮人は目下の處教育の充實と云ふことが急務であるが道當局と我々議員との間には屢々教育方針に就いて意見の相違點を見出すのは遺憾である教育費に就いては打切りの意を表し衛生費に就ては山間部にはよき公醫又は地員の御考慮なきや

▲瀬戸番外　實業補習學校に對しては補助はない、第二の全州農學校學年延長に就いては延長より內容の充實と云ふことに重きを置き學年延長の必要を認めない道當局と各位との間に教育方針の相違點あることは遺憾であると答へ今後の方針計畫の一端を披瀝し元村番外より簡單に答辯する旨を答ふ

▲林議長　先程からの御質問中朝鮮人子弟の教育に就いて道當局が非常に冷淡であるかの如き論說を拜聽したが此の問題は重大なことで決して我々當局者は內鮮人兒童に對して差別的な教育方針は執らないから此の點に就いては特に御諒承を願ひたい

▲赤松繁夫氏（群山）群山中學校に對する當局の補助の公平を缺いでおる旨を述べ出來る丈け他校同樣の補助を仰ぎたいと希望すれば瀬戸番外の答辯を引受けて林議長より今後共努力する旨を答ふ

▲片桐和三氏（益山）農學校教育の過まれる點を指摘し道當局の方針を質す

▲瀬戸番外　本道內に於ける各農學校の卒業者を擧げ數字的に就職者の狀況を述べて答辯し道當局としても實際的教育を施す方針であることを述べる

▲久永氏　全州高等普通學校紛擾事件が本議場で問題になつた事は深く同校の名譽の上から遺憾に堪へない自分はこの事件につき直接調査して見たが[illegible]

▲殷仁梦氏（任實）自分は諸德會の不可を論ずる者でないが諸德會に對する二千何百圓は打切り[illegible]

▲大島番外　[illegible]朝鮮人教化の爲めに設けられたもので[illegible]（全州）

咸鏡南道

咸南道評議會【第四日】

第四日（十五日）は勸業、教育費の質問が續出したが定刻前十時の十三名、十五分議員數十八名に達して開會

▲金萬熙氏（三水）土地改良事業の進捗が速かなるは何より歡迎の至りであるが計畫は順調に進みつゝあるか

▲庄田農務課長　大正十五年度に於いて昭和二年以降同十二年までの十一ヶ年に四萬一千町步の改良計畫を樹立し順調に進みつゝある。即ち本年度成立により總面積の四割に相當する一萬六千二百九十七町步の解決を見、小地區に於いては水害復舊の急なる爲豫定通りには進まぬが新年度に於いては回復の見込みである

▲姜周鉉氏（端川）模範林は地方費の公益事業でなく將來相當の利得を目的とするものでなければならぬ。年次計畫はあるか。又事業費二千七百四十圓に對し諸經費一萬八百餘圓は餘りに均衡を失した觀ではないか。

▲劉產業課長　地方費模範林は目下一萬五千町步で相當施業をなして居る。事業の性質上急速な利益は望まれぬが收支計算は十一年目まで一萬二千餘圓の損、廿年目まで二千八百四十圓の損、卅年目まで五千圓の利益、四十年目まで七萬五千圓の利益、以後十八萬五千圓宛の利益ある見込で斯の如き大事業には高給技術員を必要とし自然人件費の增額は已むを得ぬ

▲元炳喜氏（端川）端川郡波道、何多、利中、廣泉各面內の小地區水利事業は昨年申請したがまだ何等の施設を見ぬ

▲庄田農務課長　水害復舊事業の爲遅延したものであるが利中面のは本年中に他は新年度に解決する筈である

▲金容憲氏（甲山）新規事業田作獎勵費は模範作圃五十ケ所設置が手段と思ふが事業費と人件費の歸隔餘りに不當ではないか

▲庄田農務課長　田作即ち畑作改良は本府の計畫により技術員費五六二五圓模範作圃補助一ヶ所五十圓宛二五〇〇圓の指定補助で八千町步以上の畑作地安邊、永興、咸興、北靑、端川の五郡に各一名の技術員を配置するもので今日の場合技術員の增加即ち畑作の改良獎勵と解すべきであるとも思ふ

▲本間卯之吉氏（元山）田作改良費の說明に不明の點がある。十年後畑の三割增收とは何程を標準としてか、固より本府の方針に基くものであらうが粟稗合して十年後には道內の需要に足るか

▲庄田農務課長　粟作改良には何町步何萬石といふ計畫なく現栽培法の改良により約三割增收の標準を示したに止る。畑は收穫量少く地味惡く水の多い個所にあり將來は土地改良により米、粟、大豆、麥等有利な作物に代るべきである

▲申錫定氏（咸興）土地改良事業には贊成だが之に伴ふ米價調節法の研究があるか

▲庄田農務課長　極めて難問であり大事業である。農林省主管の米穀法を朝鮮にも適用すべしと主張する案と國立倉庫を設け秋季朝鮮米の內地流出と米價の低落を防止せんとする案とあり仄聞する處によれば新年度南鮮地方に約百坪五ケ所の試驗的倉庫設置の案もあるらしいが詳細はお答へし兼ねる。

▲申錫定氏　然らば米の生產費と償價との關係を承り度い

▲庄田農務課長　農家の立場よりつて見るが最公平な小作農家について見れば現在の一石の生產費九圓乃至十圓之を普通十二圓に賣買するから大面積を經營すれば決して不利ではない。道は農家の玄米調製獎勵の爲各地に農米改良組合を設置せしめ更に石三圓の利益を擧げしめ道內に[illegible]一層有利に導いて居る其の他金淳永（安邊）金昇秀（高原）洪性龍（洪原）趙[illegible]三氏（文川）等の諸氏勸業の細節に亘り質問あり正午休憩。午後一時再開

▲姜周鉉氏（北靑）林業試驗場林業講習に就いて質し

▲蔡容默氏（咸興）勸業諸施設完備の爲には人件費節約を顧られねばならぬ。自分で育てた値段の安い朝鮮人技術者を使用する必要があらう。朝鮮博の費用一萬五千圓では道勢紹介宣傳に不足を感ぜぬか。咸南粟北五萬石の移入と米十六萬石の移出で差引如何なる關係になつて來るか又米の消費量如何

▲泉崎內務部長　事業費と人件費の比率は施設內容に關するもので何等不足を感じて居る、比率は總豫算に比し昨年より五厘減の三割四分五厘、總豫算から教育費を除けば六厘減の二割三分強となり極力緊縮して居る、道內學校出身者や安い給料の者を採用することは常に心掛けてゐる

▲劉產業課長　各道の狀勢に鑑み千圓は本道相當の額と認める

▲庄田農務課長　粟の移入價格四百萬圓米の移出額は四百五十萬圓に達してゐる、一人當消費量は內地一石一斗、朝鮮五斗であるが本道は畑作本位なる關係上粟八十萬石、米三十二三萬石見當其他燕麥、馬鈴薯である

▲四田富士夫氏（元山）事業を縮少し乍ら人件費の增加は形の上で餘り感服がよくない、增加してゐるのは單に補半生產地區費のみで皮肉な向方は知らぬが事業の實額に鑑みて當然の減か諸經費を天引したが如く事業費も天引的に減額したものか

▲庄田農務部長　開發獎勵には道農會の補助並地方課所管の小農生產資金八萬餘圓もあり大なる苦痛を感ぜぬ

▲泉崎內務課長　災害による經常收入減三萬圓との期待を保つ上事業遂行に大なる支障を來さぬ程度で至極するより外今年は致方がない

▲申錫定氏（新興）殘酷機船手繰網につき[illegible]咸興及安邊の土地改良事業に對する一般の不平の原因を當局は何と見るか、反面の原因として安邊坪四十錢の畑が水田になつて十五錢でも取引出來ぬ樣になつた地價低落の狀態もある、是等に對し如何なる考を以て居るか

▲庄田農務課長　立場上水より有利な一部の者が不平を唱へるのは當然と言へる、安邊の實例は水田は確に利益ある一般の認めて居る以上一部の反對は已むを得ぬ成る可く早く完成して獎勵を第一に最堅實に進み度いと思ふ

▲南百裕氏　蠶種は指定販賣か競爭販賣か、指定販賣なる爲蠶家の不利益を蒙る場合が多い

▲庄田農務課長　蠶種は指定販賣が最安全な方法として全鮮指定販賣の方法を取り道農會が斡旋すると販賣元價の元から最も合理的な方法なる所以を詳述する

▲此の時鄭滿淳氏（咸興）勸業費の質問を提出し異議なく可決後直ちに次の質問に入る

▲蔡容默氏（咸興）原蠶種製造所の能力及講習所、道設置狀況につき洪性龍氏（洪原）道內蠶業の自給自足期及副業者への補助につき金昇秀氏（高原）技術員給料增額につき金萬熙氏（三水）原蠶種製造所擴張に土地につき質し教育費の第一讀會に入る

▲金基瑞氏（甲山）總豫算の三分の一を占むる教育費審議に際し討議以外に當局の大方針を伺ひ度い、近年盟休の續發增加の不祥事に對し當局は單に流行とし內容の不平を究めず威嚇主義のみで根絶を圖る觀でもあるまいか何にして不平原因の除去に努めるか

▲泉崎內務部長　御說の如く全國的なこの風潮は遺憾にたへぬ本道にも三年前に三校の盟休があり[illegible]要求は全部殆んど同一で教員排斥、自治の要求、朝鮮語時間の增加等であるが[illegible]外部からの煽動もあつた如くであり[illegible]職員の選擇採用に留意し國の作興を圖り懇切丁寧な指導によつて穩健な思想を持たせ煽動に乘ぜぬ樣注意する

▲洪性龍氏（洪原）元山中學及咸興高普の教員數の減せぬ理由[illegible]

▲泉崎內務部長　[illegible]

▲蔡容默氏（咸興）既設學校內容の完不完は別として女高普の設立を見ぬことは將來發展の爲め遺憾だ。何時完全でも設立の意志はないか、咸興高普に寄宿舍のないのは盟休の一因である。常に監督者のある寄宿舍を設ける事は德育上必要のことと思ふが如何。

▲泉崎內務部長　女高普問題は同感であるが財政が許さぬ。咸興高普寄宿舍問題も同樣で移管學校の關係もあり本府に要望したが容れられなかつた。普通學校の增設は百四十一面六十七校の現狀を八ケ年計畫で八十校を增し一面一校の標準に至らしむる計畫であるとその詳細な內容を說く

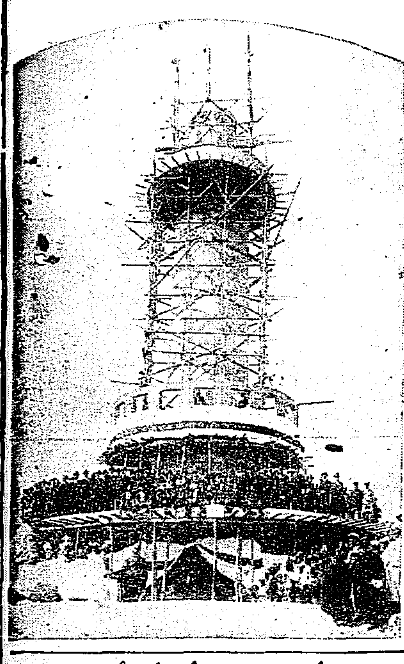
▲釜田氏（利原）同盟休校は生徒の罪でなく向上を求めてやまぬ生徒は多少素質は惡くとも訓育により醇良化すべき教化し得ぬ教員に罪がある、內地の落伍者で高給にほれて渡鮮した劣惡な教員の罪である

▲泉崎內務部長　その然らざる旨を答へ

▲馬野議長　只今の發言は多少不穩當の點がある訂正しては如何

▲松村榮三郎氏（咸興）盟休は教員の罪に非ず家庭教育の罪が多い、教員を內地の落伍者だといふ論ずるがあるが盟休の責任を感じて自殺した教員あり失火の罪を謝すべく火中に投じた女教員もあり賞讚に値する者が多い

▲洪性龍氏（洪原）前言を取消す者の罪だといふが多額の學資を出して學校に責任なしとは暴論と[illegible]午後五時質問未了のまゝ散會（咸興）



日本海戰記念塔上棟式

日本海々戰記念塔上棟式は十五日午前十時鎭海要港部司令官、[illegible]知事を始め[illegible]盛大に行はれた。定刻須藤司令官、櫻井參謀、馬山在住知名の士二百余名參列神官祝詞に次ぐに參列者玉串奉奠あつたのごとく式終て祝賀宴が開かれ[illegible]長の挨拶に對し須藤司令官答へ更に場所を變へ模擬店に興を添へ午後三時半散會に至るまで和氣藹々の觀があつた（鎭海）

道議小景

▲連日の飲み疲れか第四日の十五日は定刻午前十時に至るも議員僅に十三名しか出て居ない▲定刻議長にも空席子多く出席議員も大きな眼玉をグルグルさせながらあご先で議員の勘定だ▲傍聽席の[illegible]道路の土木費よりも道民共鄉の勸業費だけに質疑が大局高所からの質問は多いが自然豫算外の要望もあり[illegible]▲自分で育てた値段の安い品を仕入れて試驗的に使つて見る意志はないか……何の事かと思へば朝鮮人技術員の增加運動だ。咸興蔡容默議員の[illegible]

▲[illegible]だけに入試後ひにして居る▲鄭議員『內地人は早くから多額の資本を投じ朝鮮人が否かもわからず朝鮮人の振向きもせなかつた當時すでに出願[illegible]大正十二年頃明太漁場の[illegible]到つたが時すでに遅し、出願者數は漁場の荒廢を防ぎ漁族の繁殖を保護する必要上絕對に認可の見込がない』と[illegible]▲『同盟休校の原因は決して生徒がわるくない、多少素質のわるい生徒でも純良に導き得る素質の勢整な教員の罪だ。內地の資格者が高給にほれて渡鮮するからだ』と[illegible]▲馬野議長『ただ今の發言は多少問題が[illegible]點がある訂正して貰ひます』との注意にあつた[illegible]議員は……取消ますとは男らしい

慶尚南道

この夏は燒酎戰

年產二萬石を標榜して　日本酒類會社出現

近來農村は勿論都會を通じて朝鮮の中流以下の生活狀態へ深く喰ひ込み歡迎されて來たのは燒酎である。最近の需要高はザッと二十九萬石、この內一萬二千四百石が內地から移入され殘りは總て道內地で醸造される狀態で昨年の總額二十七萬七千石に比較すれば實に一萬二千五百餘石の增加となり、清酒の販路が鮮內は殆と行き詰つていてあるにかゝはらず、燒酎は味の強い點に苦んだ後が氣持がよく、惡い醉には打つてつけの特長があるので意外にも朝鮮人の飲料として歡迎され[illegible]需要は漸次增加し酒造業者も充分にあるので燒酎の醸造は有望事業に數へられ仁川、平壤、釜山、大邱その他各地に燒酎製造を計畫する向きが多くなつた。釜山でも從來清酒の[illegible]ゐた[illegible]今では六千五百石の年產醸造であるが上に近く日本酒類會社が年產二萬石計畫で大工場の設置に着手し朝鮮燒酎醸造者へ大きな脅威を與へた。[illegible]ひそかに乘出し、[illegible]ホテルが[illegible]乘出したと傳へられ、從來釜山の『旭光』『昭光』と平壤の『月魄』と仁川の『金剛』が互ひにしのぎをけづつたが本年からは新手の日本酒類會社が年產二萬石を標榜して釜山へ出現した燒酎醸造界は夏季の需要期をひかへて一激戰起こらねばやまぬ模樣で朝鮮燒酎の販路を蠶食しながら內地燒酎の移入と燒酎を驅逐するか＝酒のことだからどこまで擴がるか見當がつかず興味をあつめてゐる（釜山）

強盜に怯え　夜警團組織

釜山の五人組強盜事件は當局必死の努力もむくいられず犯人は未だ捕らず事件はいよいよ迷宮入りと想像されるに至つたが釜山鎭を中心とする北部方面では強盜の手に怯え北部方面の取締を現在以上嚴重にするやうにしない限り昨年末以來の犯罪が相ついで檢擧されぬと同時[illegible]

釜山新清酒品評會

釜山酒造組合主催第十一回釜山新清酒品評會は來る二十日から二日間[illegible]において內地より二人の鑑定技師を審査長として本府嘱託清水技師が審査に當り二十二日午後一時から褒賞授與式を擧行するはず（釜山）

朝鮮博出品

釜山[illegible]協贊會が組織されるに先立つて着々出品取纏めおよび勸誘に努力してゐるが釜山府よりの出品物は水產加工品、釀造品、工產品等を中心としてすでに四百五十點、この出品人員二百名余に達し時日の經過と同時に出品希望者も增加する見込みである、府當局では陳列する場所に制限があるため希望者は本月末までに至急申込みの手續きを執つて貰ひたいと語つてゐた（釜山）

全羅北道

群山中學合格者

群山中學校では十二三の兩日にわたり本年度入學志願者の試驗を行つたが百四十一名の志願者中その合格者は左の五十六名である（群山）

今川國香、安東希烝、小野松緑、河上睦、飼宮勇三、隈崎吾惠男、坂野辰雄、菅原信、赤松良一、秋本太二、池龍興、內村榮、加藤晉、神田精三、鎌田勉三、鎌田次雄、金鳳熙、金富郷、佐藤修、堀毅根、冨田草、淸水光夫、鈴木浩三、太田重生、太田辰生、武田雪夫、長久昇、中谷剛雄、中西一男、中村光晴、永淵忠嘉、西村毅、根岸正明、羽根田辰男、濱田良雄、平山發郎、福井二郎、福田與三、藤井勳、藤田元、堀部順平、本間知雄、前田大八、目見田米吉、望月學、本山俊治、森哲雄、矢野健兒、山崎順雄、横田三郎、吉岡襄雄、李沃珪、渡邊禮治郎

忠淸南道

太田中學入學者

太田中學校では十二、三、四の三日間昭和四年度の入學試驗を執行したが受驗者百六十二名合格者は定員九十三名であつた（大田）

坂田共、金永執、高橋一郎、川原一正、岩山範一、寺地正氣、韓永錫、益田二郎、熊谷芳雄、山澤昂一、中村旭郎、池田信義、上坊長太郎、川畑孝、星作太郎、馬場泰三、福田猛、竹原健一、寺田久男、鈴木恒雄、倉増恒雄、大野久夫、鄭遠水、小田穗正、後藤敏雄、宇都宮謙泰、酒包清、金炳良、普山忠怒、三輪正夫、野崎一夫、藤松幸一、中尾崎澤二、申泰岳、蒯興成、中尾正一、松岡亨、立石信雄、染野嘉二、青柳健二、青柳芳彥、萬倉恒夫、緒方倫一、片岡武忠、原吉信、島谷哲郎、高橋勇造、高杉晴水、竹內龍一、土居正樹、橋本正夫、富士厖、松井巖、[illegible]山正、森川顯二、片桐暹、山口竹一、中野辰雄、朝永賢二、千々岩昇、浩田榮一郎、大西大典、竹ノ儀忠、奥明根、木村信男、彥田守二、中村益雄、恒松巳、小野繁、平田正衞、米谷治、韓壯鉉、田中稔一、篠塚毅、芹川毅雄、金正雨、金昌洙、堤英夫、平田滑人、井口福久、矢野敏、李長命、鎭宏之、野々宮朗、長瀨東一郎、小林英夫、淺田正怒、三上遠夫、上原政章、竹下盛、土橋砂雄、路石秀行、宋福逢

江景商業合格者

江景商業學校では十一日から入學試驗を三日間執行したが志願者三百三十四名の內合格者は左の通りである

李致元、高講、山本圓一、南相弼、林揭俊二、鍛好寬、徐致淳、宋太恩、李三郎、李正夏、鄭永淮、丸井生二郎、金築坤、楠見三郎、李丙圭、金茂國、崔尾道夫、牛尾榮三、朴演珪、徐廷哲、泉府、李中洙、二宮忠夫、朴仲田一、南宮培孫、李途寧、朴正遠、南基勝、寺田泰士、谷口聖文、菊地弘安、睦寧豹、金子逸雄、金東珍、佐々木清一、崔乘一、史東潤、山根好彥、李貢夏、尹鴻晢、戶山雅、杉田博夫、赤木富三、島谷正綱、李禮晧、梁重渭、金潢璧、崔舜東、李性鎬、李殷潛、井內南男、金泰、鄭鉉

慶全北部線　工事入札

鐵道局大田工務事務所において測量を完了設計中の慶全北部線全州淸村間の新線工事は[illegible]組、補見組、水谷組、[illegible]合資會社に指名十六、七兩日同方面の說明をなし[illegible]日午後二時太田工務事務所にて工事請負入札を行ふはず

地方人事

▲佐久間柳次郎氏（瓦電專務）十四日夜の連絡船にて東上

▲萩原三郎氏（釜山運輸事務所長）大邱出張中十五日歸釜

▲今村（慶北知事）十七日上京二十日歸任

▲服部直熊氏（忠北槐山警察署長）十四日木浦へ

▲松尾三太郎氏（鳥致院警察署長）十四日木浦へ

▲佐藤東巳氏（遞信局託航空兵中佐）定期航空の開始に關し打合せのため十四日仁川測候所を訪問

▲大阪國々生卅七名　卅一日平壤へ

▲前田井師團經理部長　十五日平壤歸任

▲古市金剛氏（新義州警察署長）[illegible]方面視察出張中の處十五日歸任

日本海々戰記念塔上棟式に參列の記（1）

笠神生

十三日朝京城を出發し十六日京城に歸來した。三戰所を帶たのであるが三數夜間記者の最も印象を深くしたるは鎭海にありし十時間においてであつた。鎭海には十五日午前九時より午後六時四十分まで滯在したのであるがその間に記者は日本海々戰記念塔上棟式に臨み[illegible]司令官を訪ひ[illegible]ところ甚だ多かつた。司令官はまづ記者を[illegible]室に設見してつぶさに記念塔出來を語つた。そうして話は日本海海戰當時におよんだ。司令官は當時大尉參謀として旗艦三笠にあつたのださうだ。だから昂然[illegible]をおこすの概を以て戰況を語るのであつた。

× ×

[illegible]に天山[illegible]の七字[illegible]句がかけてある。[illegible]

明治乙巳出征　留植丹楓紅湖　護國赤心長映鏡　年々歲々衆民新　天山

とあるすなはちそれだ。これは稀品であるだけにこれを得るには多少の苦心なきにあらざる由であつた、[illegible]

× ×

しかしながら總督は容易に揮されなかつた。[illegible]良日佳辰を卜して天山總督の揮毫したるものすなはちこれなのだ。

× ×

詩中『丹楓』とあるは司令部前庭の楓樹を指すのであるがその由來は左の標記にて知らるゝ。

此の楓は日露戰爭當時軍艦磐手日本海々戰參加の爲鎭海灣を出港せんとするに際し記念として當防備隊に寄贈したるものにして昭和二年十月此處に移す

濕布より便利安全

使用法簡便効果確實

1日1—2回の塗布（交換）

効力　優秀

エキシカ

10瓦 150瓦 250瓦 500瓦 2100瓦

盲腸炎、腹膜炎に

説明書、文獻贈呈　各地薬店にあり

塩野義商店

痔疾に　カヴィドール

各地薬店にあり

局所の疼痛を消退し、出血を止め、肉芽の新生を促し速かに治癒せしめます。說明書・實驗報告書郵呈

6個 12個 30個 100個

發賣元　塩野義商店

K-100

慶尙北道

大邱電氣府營表面に現る

興電の意嚮を確め具體的運動を起す

大邱電氣府營問題は漸く表面に現はれ町總代會の集合となり寄り寄り電氣に關する諮問調査に着手と同時に委員を設けて大興電氣會社の意向を確め近く具體的運動を起すはずであるが一方府においても數年前より電氣調査會を設け鋭意公營電氣について調査を進めてゐたがたま〳〵十四日府協議會の豫算內示會席上においても一議員より電氣調査會の經過につき質問を發し山崎府尹の說明を求めるなど今や各方面において論議されるに至つた右について山崎大邱府尹は語る

電氣の調査は昭和四年度も引續き調査を進める考へで豫算にもその費用を計上したが今日までの經過と內容の要領だけでも發表して與れとの質問であつた、調査は大體完了して居るが最近釜山の問題もありその結果が近く判明するので之れも參考の一つに加へて發表したいと思つて居る、調査の一般を摘んで發表する意志であつたが他所に附和雷同するが如く疑惑の眼でみられることも大邱自體を傷つく虞があるので不本意ながら全部完了の上發表したい、要は料金を安くして動力の普及を計り商工業の發展に資するのが目的でいま暫く當局を信賴して今後の處置をみて居て貰ひたい（大邱）

後任會頭は加藤氏か

張會頭辭任承諾

大邱商業會議所會頭張稷相氏の辭任問題は既報の通りであるが張氏の辭意頗る堅く役員連の翻意も遂にその意を翻すに至らずやむなく十八日評議員會を開催正式に辭任を承認し後任會頭の選擧を行ふはずで後任會頭には現副會頭加藤一郎氏最も有力である（大邱）

二月中の煙草の賣上 五十一萬圓

大邱煙草元賣捌會社大邱支店の二月中煙草賣上高は五十一萬五千圓で昨年同期に比して約三萬圓の減少を示したが地方別に見ると慶州が一番多く二十二萬五千圓、大邱十八萬一千圓、慶州五萬四千圓、金泉五萬三千圓といふ順序だが例年一、二月は年末年始の贈答品の關係上賣行が活潑でないのも理由の一つである、うれ行き品種については口つきがなんといつても朝日が首位で數量より三千圓も賣高が多い順序ではメーブル、ピジョンの順であつたが近時ピジョンのうれ行き漸騰の傾向を示して來た然し概して高級品のうれ行きが思はしくないのは畢竟の影響に伴ふ農村疲弊の證左を物語るものでもある

總會一束

慶北道農會、同畜產組合、同森林組合の總會は十五日午前十時から何れも道會議室において開催した各件の議案左の如し

道農會

一、昭和四年度歲入歲出豫算の件
二、同上經費分賦收入方法の件
三、昭和三年度歲出入豫算追加の件
四、同歲入豫算會費分賦金減額の件
五、物品共同購入及共同販賣斡旋資金規程制定の件
六、昭和二年度事業報告及び歲入歲出決算承認の件
七、顧問推薦の件
八、評議員缺員につき選擧の件

畜產組合

一、昭和四年度本會一般會計歲出入豫算の件
一、昭和四年度本會畜牛、共濟特別歲出入豫算の件
一、會費賦課徵收規程中改正の件
一、役員評議員選任の件

森林組合

一、昭和四年度歲入出豫算認定の件
一、昭和二年度歲出入豫算承認の件
一、規約變更の件

併して昭和四年度豫算總額は農會二萬三百九十七圓畜產組合八千百九十三圓（特別會計四千二百四十五圓）森林組合六千七百圓で前年度に比して農會七十六圓畜產組合一千百四十五圓（特別會計一千二百四十八圓）森林組合二百圓を何れも增加してゐる（大邱）

朝鮮博出品點數

二千三百八十二點

慶尙北道では道評議會の終了と共に各課共來年度の新規事業並に繼續事業の實行準備に忙殺されて居るがなかんづく產業課では朝鮮博覽會の爲にてんてこ舞の狀態で十五日午後三時より早くも府郡事務打合せ會を開き十六日午前十時より府郡當事者において協贊會の豫算に關する評議員會を開いた出品物は十五日締切つたが總點數二千三百八十二點で部類別にすれば左の如し（大邱）

▲農業品八五九點▲食料品二六六點▲化學工業六一三點▲水產品一九九點▲染織工業及布帛加工品一四五點▲林業品一二七點▲鑛業品三一點（大邱）

山十の鎭海進出

問題は原料 小口肇氏談

山十製絲株式會社が鎭海に製絲工場建設の計畫は數年來の懸案で近く具體化する機運であるが右につき同社朝鮮支配人小口肇氏は次の如く語る

製絲工場の設置は多年の懸案でもありすでに敷地等の購入も終つて居るが工場を設置するには少く共二百釜以上の經營を行はざれば採算がとれず從つて二百釜の使用する原料は年額一萬石の乾繭を要するので現在の慶南における產繭額は各郡農業組合の販賣高五千石郡部共同販賣高が四千石計九千石に過ぎぬから全部特賣を許されてもなほ若干の原料不足を感ずるが總督府道當局がどの程度まで原料供給に援助下さるかによつて態度を決したい、なほ今年度中に着手すれば六月の新繭出廻りまでには落成するので近く總督府道當局および總督府を訪問して具體案をきめる積りである（大邱）

尙州農蠶校入學者

尙州農蠶學校では十二十三の兩日に入學試驗を行つた受驗者二百二十名で內補缺生をあはせ左記の五十八名に入學を許可した（尙州）

金八鳳、朴永明、金元植、金元燮、安泰錫、朴相根、金禮培、石康出、成京出、李錠訓、金容大、康錫然、李爾錫、金點默、李雲觀、金鴻基、鄭敬均、趙誠進、金明九、安鐵柱、李相悳、金老味、鄭弘淳、金斗壽、金鋼洙、鄭在寬、皮東濬、尹金世、金洛櫃、在元、朴亞岩子、陸城邦雄、朴道燮、柳云生伊、金申權、吳金雄、徐東鶴、朴圭鉉、安永鎬、金永均、金盛特、馬普岩、申鉉潤、朴普得、孫得龍、金乙龍、李發用、金永祥、椒瓚之田、朴圭慶、金文培、闞燦夏、金德永、宋廷錫、李麗春、金震補、李洪基、金鋼祥

京畿道

仁取合併反對

仁川府勢振興會でけふ對策を協議す

【仁川電話】京仁兩取引所合併問題の進捗に伴ひ仁川府勢振興會では十四日の役員會において合併反對運動に着手することに意見の一致を見たが本十七日午後七時半から仁川公會堂に評議員會を開き本府に陳情その他具體的對策を協議することとなつた

仁川府豫算

近く再審議

二週間にわたつて編成中であつた仁川府豫算は今明日中に終了をつげ近く再審議することになつたが本年度は新規事業としては見るべきものもなく前年來の花町埋立工費十五萬圓中本年度支出額十萬圓、新築府廳埋立約七萬圓、朝鮮仁川醫會への補助約五千圓位のもので本月末頃府協議會を開いて附議するはず（仁川）

仁川のバス

府も自働車が計畫

仁川府內には未だバスがないので一般からこれが開通を望まれてゐたが今回府內朝日自働車商會がこれが營業計畫を進めてゐるので岡本商議書記長は十六日仁川府に寺島府尹を訪ひ右について觀談する所があつたが、若し府營不能の場合には府から相當の補助を貰ひたいといふ意向である（仁川）

三人強盜

南里に現る

仁川沖四十里の富川郡大阜面南里二〇九朝鮮米作が去る九日から所用の爲仁川に出向中十日午前二時四十分留守居をしてゐた同人妻ヲヨ（三一）長女フサ（一〇）孫信子（二）の三人が就寢中三人組強盜が押し入り短刀と混棒を以て脅迫して現金十六圓余ニッケル時計一個、鐵時計一個メーブル朝日等のタバコまでを強奪して逃走した、仁川署では署員二名を派し嚴探中である

仁川雜俎

◇十四日莊町三七島田源吉方庭內に於て發見された生後一晝夜位の嬰兒の死體については十五日京城地方法院檢事局より金澤檢事が田中丸醫師を伴ひ來仁、同日午後四時より仁川署に於て解剖の結果他殺と認定されたので犯人嚴探中であるが精米所の朝鮮人女工の所爲とにらまれてゐる

◇慶州生れ住所不定無職金敬允（二四）と住所不定金洪培は共謀の上本月十日頃から仁川觀測所の裏山を巢窟として窃盜を働き現場に洋服、座蒲團其他贓品の山をなしてゐるのを發見され十五日兩名とも仁川署員に逮捕された

◇仁川觀測所では十五日より二日間中央氣象臺附屬氣象測候技術官養成所入學試驗を執行した受驗者三名

仁川府內京日讀者大福引

規定

一、福引券は京城日報社仁川支店から五月六日までに屆けます（二ケ月以上の月極讀者に限る）
二、御面倒ですが福引券に住所氏名を記入して配達人にお渡しください
三、抽籤は六月三日仁川公會堂で警察官並に府內讀者三名立會の下に公平に行ひます
四、當籤決定と同時に紙上で發表いたします景品は福引券と引替に御渡しいたします

景品

一等	上等ラクダ毛布	一本
二等	上等反物	二本
三等	上等置時計	五本
四等	本社特製浴衣地	十本
五等	上等毛斯綸風呂敷	二十本
六等	化粧品カテイフード	三十本
七等	本社特製タオル	五十本
外	レート石鹸	當籤外全部

全部からくじなし

主催 京城日報社仁川支局

歯痛と頭痛 神經痛とロイマチスに

回効散

のんで効く

本劑は神經の痛を鎭め神經を養ひ丈夫にする藥として齒痛・頭痛は勿論神經痛・ロイマチス等に服用し誠に優秀なる作用を呈す

全國有名藥店にあり
近時にせ物澤山あれば回効散の三字に御注意

東京・大阪 本舖 森田製藥所
滿鮮總發賣元 東京 津村敬天堂
支那總發賣元 上海 東亞公司

日英米佛專賣特許 池田理學博士發明

グラム制採用

味の素

特小罐新發賣

從來の中瓶を廢止し、新に中瓶よりもお徳用な特小罐を發賣致しました、中瓶御使用のお家庭にはお徳用な罐物をお薦め致します。新容器の小瓶は先般賣出の食卓容器代用となります故、罐物から小出しに御使用願ひます、從來の品は販賣店で賣切れる迄販賣致します

容量增加

味の素小瓶並に小罐、中罐、大罐、特大罐の全種類に亘り從來より容量を增加致しました

容器改正

瓶物（今後は小瓶一種）並に罐物の容器及び意匠を改正、同時に進物用化粧函の意匠も改正

宮內省御用達 味の素本舖 鈴木商店

讀書ページ

木彫藝術の推移を語る「光雲懷古談」
高村光雲氏著　赤星生

わが國木彫界の元老高村光雲氏の「光雲懷古談」が美しい装幀で萬里閣書房から出た。まづ卷を開くと氏の手になる藝術味ゆたかな彫像が三十數葉の寫眞になつて收められてゐる。これを一見しても彫刻家としての高村氏が持つ藝術的の技能と理想的の品位がうかがはれる。

本文は大別して『昔ばなし』と『想張篇』の二部に分類されてゐる。讀者は彫刻家としての高村氏の七十年の生活を、記憶をたどつて物語つたものであるが、同時にまた氏を生んだ江戸末期から今日に至るまでの、あはたゞしい明治の變遷、思想の推移、殊に木彫界の移りかはりがその時々の事件をしるすことによつて、或は又人物を物語ることによつて面白く描き出されてゐる。讀んで面白いことは勿論であるが、それよりも私の感じたことは當時佛師と呼ばれる人の努力が如何に大きなものであるかといふこと、および江戸末期には佛師と呼ばれて佛像、菩薩像を彫んでゐたものが、次ぎに木彫家として呼ばれる事に至つた最なる那邊の選に潜む時代のはげしい動きであつた。如何なる方面の藝術家でもそれが藝術家である以上は人知れぬ不斷の努力が拂はれてゐることは勿論であるが、佛師にありては徳川時代の保護政策の下に大きな努力を持つてゐた佛教が維新の廢佛毀釋によつて非常な打擊を被つた事件と運命を共にしたものであつて、實にこの受難は佛師に對して致命傷を與へたものであり精神的にも物質的にもその苦痛は到底他には見られない程の深刻なものであつたのである。

又著者は『百觀音の成行』の條において、當に名高い本所五つ目の羅漢寺の百觀音の御姿が、無知な古金屋の金箔ほしさから無慘や米俵につめ込まれて荒繩でしばりあげられ今にも燒かれやうとする話を聞いて『あゝ、私が生から眼の底に沁みついてゐる百觀音が…自分の唯一のお師匠さんだつたあの彫刻が、今にも灰にならうとしてゐる……もう今頃はあのお姿は何れかに火がついてゐるかも知れない。情け無い、杭みたいになつてゐるかも知れない。さう思ふと情ないやら、悲しいやら、またそれが如何にも無慘で、情ないやら私はたゞもうふら〳〵とその現場へ飛んで行きました』と語つてゐるが、實にかゝはりのないわれ〳〵までも今更の如くに時代の推移と佛師の心情に息づまる樣な苦しさを感ずるのである。

なほこの他にも『神佛混淆禁止』に關する鎌倉鶴ケ岡の八幡神宮寺と三社權現の關係などにも私は非常に興味を持つて讀んだ。これはもちろん他の雜物にも散見するところではあるが事件そのものが我邦の思想史上、實に重大なる意義を持つものであるからである。

次ぎに『想張篇』は著者がかつて試みた講演およびすでに紙上に發表したものを輯録したもので、名匠逸話、自作の阿彌陀佛、左甚五郎と共研究、羅漢寺の五百羅漢、徳川時代の殿堂彫刻、成田不動と共業羽目彫刻、古社寺の彩色的維新と、小栗鉞淸斷、自叙傳を背景とした美術界の輝躍、江戸末期の佛師、および江戸時代物質の話等が收められてゐてその中には藝術味の溢れる著者の感想もあれば、著者の深慮ある木彫藝術の經驗談もあり、或は江戸末期のユーモアに滿ちた風刺談もあつて興味津々たるものがある。

要するに本書は彫刻家としての高村氏が七十年の生活記録であるが、なほそれは單なる記録に止まらずして高村氏を中心とした江戸末期から今日に至るまでの木彫界および更に廣く一般社會の興味ある事件にまでもおよんでゐるのであつて私はこの方面に關心を持つ現代の人々に一讀をおすゝめすると共に後世にも殘して置くべき十分の價値を持つものである事を附言する（四六版七百二十餘頁東京市日本橋區通二丁目萬里閣書房發行三圓五十錢）

海軍軍備制限問題に關する研究
阿部信雄氏著　板垣生

一つの理念としては、如何なる時代においても戰爭は肯定されない。從つて戰爭に備へるために兵器その他の完全を期するがゆゑになされる一切の努力は決して撤廢されるものではない、にも拘らず、武力の完備は過去において、現在においても一つの誇りであり力であるとみなされてゐる。この誇りと力とをたのむことのうせない間は軍備の競爭はどこまでも續くのである。近年となへられる軍備制限、縮少の企ては、出發點において、決して戰爭そのものを否認し去るといふ理念に立つたものでないことは勿論であるが、少くともその歸結する効果においてこれに近づくものであるなら議論抜きに是として差支がない。軍備制限、縮少の提唱は、かるがゆゑに表面から反對さるべき性質のものではないし、世界を通じていづれの國民も戰爭は擾亂以外の何物でもないことを認むる思潮が瀰ひ切れない澎湃たる流れとなつてゐるので、人類文化の高度な進展はどうしても軍備そのものにも好感を持ち得ないことになる。一面においてこういふ思潮があり、しかも他面『國家』の伸張を各國が競うて念として居る現代において、理念は『アンナテーナブル、オブジェクト』として一ツの偶像に祭り込み、掲げられた偶像の陰に私かに刃をとがねばならない尤も皮肉な時代においてある。しかしわれ〳〵はこの皮肉な時代にわれ〳〵の生存を確保しなければならぬ時、國家の存立を、興隆を無視することが出來得ないのであるがゆゑに、意識的に皮肉に微苦笑を投げ與へつゝ矢張りわれ〳〵の戰略を眺めなければならない。つまり國家のもとにわれ〳〵の生存を確保するために。『海軍々備制限問題に關する研究』の著者阿部信雄氏は、その緒論第一章緒論にいつてゐる。

「今日においては、何事も國民の幸福を中心として畫策されてゐるはずだから、術數を弄して一時を糊塗し、徒に他國を陷れて自國のみの利益をはかることが少くなつた、また同時に、武力による領土の擴張や利權の獲得は過去の夢と化し、公明正大なる手段による產業の發達、これに伴つて國民的經濟を促進せしむることが、國利民福を增進せしむべき唯一の方法であると思惟されるやうになつた。そして戰爭は國力を消耗せしむる以外には決して積極的に國家の繁榮を招來するものではないと信ぜられ謂ゆる不戰條約などが締結されて『戰略的地理學』を根據とする方法を講ずるやうになり、それが列國民の頭腦を支配するやうになつた。然し列國の政府者から見れば今日の國際關係は頗る危險なものであつて、平和の叫は唯だ外交的辭令に止まり、若し軍備を制限すれば、國家は一日も安全なる存在が不可能の狀態にあるのかも知れない」

著者に從へば、このやうな予盾した國際現象は、固陋なミリタリズムと擁護を念とするキヤピタリズムとの結託かも知れないと概嘆してゐるが、とにかく、不安な現實の國際關係に適應するためには、いはゆる制限を誤解した日本の海軍力は徹頭に過ぐるとの論を得てゐる。今氏の『研究』の綱要を示せば次ぎの如くである

第一章　緒論
第二章　從來の海軍軍備制限會議
第三章　海軍々備制限の方法
第四章　艦種別及び艦型の制限問題
第五章　戰鬪的能力の制限と艦齡の延長問題
第六章　主力艦及び潛水艦の廢止問題
第七章　列國の海軍々備保有比率と保有額
第八章　財政上より見たる制限程度

この緒構の大部分は軍備と戰略とに關する論議にわたらねばならぬのであつて、門外漢たる私は不幸にしてその內容の所論に立ち入ることが出來ないのであるが、假りに後の一章は、ある程度まで何人も論議されうるものであるけれどもしかもこれとても軍備と戰略を無視しては、價値づけられる程の說を生み出づべきものではない。こうした意味においては私達は如何程の程度にまで著者の說にきくべきかはもとより疑問とせねばならぬ。がしかし、抽象的に、私は軍備に關してはこれだけのことはいひうると思ふ。すなはち、軍備は現在の國際事情の許さぬ限り必要であり、その必要の限度は、相對的に最少限において決定せらるべきものである。

著者はある個所において日本の軍備が英米に對して同等の五、五の比率をとつても英、米の紳士に脅威を與へるものでないと論じてゐるが所說は素人眼にも首肯を表せられるところであり、來るべき一九三一年、日英米は、米國の三ケ年巡洋艦十五隻建造計畫、英國の東洋海軍根據地等の諸問題とからんでいかなる協定を遂げるであらうか興味ある好題目を豫想される。それはそれとして、本書に關する限り、著者の嚴肅なる研究態度、資料の採用等はその論究を價値づけるもので、憂國の士の言はなはだ切なるものがある。一讀を識者人に推奨する四六倍版六十三頁（東京市外池袋一六〇四阿部信雄發行八十錢）

新著二題

ロダンの言葉
高村光太郎氏譯

ロダンの藝術はわれ〳〵には早くから親みのあるものであつて、ロダンその人についても、その藝術についてもいろ〳〵な機會に說かれてあり、今更こと新らしくいふまでもないのであるが、ユージエヌ、カリエールの言葉をかりてフランス近代の巨人を傳へて見やう。カリエールはいふ。『ロダンの藝術は地から出て地に還る。丁度腦動を支へる巨岩のやうに。そして英雄的なその剛大の中に、この人は自己の姿を見る。藝術による思想の傳導は、生の傳導と同じく熱情と愛の仕事である。ロダンは熱情の忠實な奴僕である。熱情こそ、彼をして表現するに役立つ法則を發見せしめたのである。彼に量と釣合との感を與へ、雄辯な凹凸の選擇を與へたのは熱情である。かくて、地はその可見の形、胸像、彫像を外面に露出して、吾人にその內面生活の意味を悟らせる。これ等地上の形こそロダンの眞の先生であつた。彼を流派の傳習から解放したのはこれ等のものである。彼が自己を發見し、又人類の願みとする人間の創造的本能を發見したのはこれ等地上の形においてゞある』ロダンには實在以上のものがなかつた。『理想的』とか『夢想』とかいふことは無意味でなければ『馬鹿』意外の何物をも意味しないのであつた。それ程實在の生命に觸れてゐたのである。

高村氏の譯に成つた『ロダンの言葉』はロダンの手記八種、クラデル、グゼル、モークレール、ロートンなどの筆錄を纏めたものであるが藝術の巨人の言葉であるとうなづかれる。從來ロダンが傳へられてあつても、本書は又われ〳〵の新らしい感激をそゝるものである。四六版三百餘頁（東京市牛込區神樂町二ノ一叢文閣發行一圓）

人生如何に生く可きか
石丸梧平氏著

人生は創造であると叫ぶ石丸梧平氏の講演の一部と、人生の岐路に立つた人から受けた質問に答へたものとを集めたもので、五篇に大別し、戀とは何ぞやの篇に二種、人間はどこから來てどこにゆくかに四種、人生如何に生くべきかに十一種、戀愛の罪と十字架の論理に三種、そして人生問答に十六種の演述を收めてある。

石丸氏の人生創造は年若い方面に實際の理解をもたれてをり、男にも女にも讀まれてをる。氏は『人生といふものは理論がさきにあるのではなく、何よりもまづ食慾と性慾といふ事實から出發してゐるので。宗教や經濟はもとより、藝術や哲學や政治や、一切の文化がこの事實の上に立つ。これは、人間が生物である以上最も切實なる問題である。その欲求や、その惱みから出發しないところのたゞの理屈が、われ〳〵人生に何の意味があらう』そして氏獨自の『血みどろな』認識、生活者の叫びを語つてゐる。四六版三百四十頁千葉縣寒川新宿一三〇六人生創造社發行◇一圓二十錢

豫約出版

◇ロシア大革命史　全七冊、各冊三圓（前金全冊十九圓）會員募集三月二十日締切（京市麴町區內幸町一の五ロシア問題研究所）

◇國際條約集　外務省條約局編纂昭和四年度分（第二十六輯）不定期十冊前後豫約申込金五圓本月末日限（東京市丸の內仲十三號館國際聯盟協會出版部）

新著推薦

史記列傳（松平康國牧野謙次郎譯述）二大漢籍國字解中の一冊であつて伯夷列傳より貨殖列傳までの無慮五十人の傳記に詳解を施したものである書中には一諾の下に身命を賭したる俠客の郭解や荊軻もあり身を匹夫より起し秦王を輔けて帝業を成さしめたる大學者の李斯もあり背水の陣を以て聞えたる大兵術家の韓信もあり大說客の酈食其もあり、顧客の司法の張釋之などもあつて各人各樣の特色が紙上に溢れてゐる。菊判五百十二頁（東京牛込早稻田大學出版部發行豫約價一冊五十錢）

朝鮮の米（朝鮮殖產銀行調査課編）朝鮮產品誌第一篇として編纂されたもので、朝鮮總督府その他の關係調査報告、統計及び當業者等について資料を蒐め、主として同行の執務上の參考資料に供する目的であるが、大正十三年第一版を上梓し、續いて二版三版を重ねたが昨秋、更に新しい統計等に準據して改訂補正第四版として發行された。內容の一班は『稻米』において在來、改良兩種を擧げて作付地と米質その他を說き『品質』の項には改良施設、產地と品質等を述べ『生產の狀況』では、生產高、精米、取引等同行としても最も重要視してゐるであらう相場の研究をも遂げ『朝鮮米の需要』を述べて本論を終つてゐる。附錄には米穀檢查、仁川米豆取引所、穀商組合市場取引等に關する規定、朝鮮產米增殖計畫要綱、內地における明治初年以降各年別平均米價米並に麥生產高及人口表を收め、一般產業文獻としても有益なものである菊版百八十九頁（朝鮮殖產銀行發行非賣品）

熊本夜話（農稲一喜著）著者は九州新聞において文名を謳はれてゐる人で本書は著者の新聞記者生活十二年間の總勘定として上梓されたもの、內容の大部分は熊本に關係あるものであるが、ほかにアメリカ旅行中の見聞、感想なども收められてある。熊本關係のものは、大逆犯人の懺悔、お茶羅の思出話、名人竹の話談義、後殉教物語、細川侯と野風呂等十七篇、外に大島遊記の戀の大島、北米旅行肥太平洋上から以下十篇の實說と傳說と隨筆とを纏めてある。特に熊本に關する部分は鄉土色豐かに、どこでもあるやうな、大官高貴の人の旅に出たり、地方官在任中に殘されたいろ〳〵な話などが土地の名妓などに絡んで語られてあるなども面白い四六版三百八十餘頁（熊本市九州新聞社出版部發行一圓十錢）

出版界

◇室伏高信氏『アメリカの經濟と文明』を先進社から

◇十一谷義三郎氏『ヘリス『日本日記』を譯了、萬里閣書房から

眼鏡印　滋養強壯　肝油　500瓦入
子を持つ親の心も
發育增進
次代の國民として、可愛い兒童を教へる學校の先生も、强く、健やかに育てゝ行き度いと願ふ心はみな同じであります。眼鏡印肝油はその質、極めて純良で、不自然な人工を加へてないために、人體に必要缺くべからざる貴重な榮養素ヴイタミンA及Dを、最も多量に含有して居りますから、學校では健康の優れない虚弱な兒童のために眼鏡印肝油を、毎日缺かさず用ひられて居ります
人體に必要缺くべからざる貴重なる榮養素が一日僅か二錢で得られます
「産めよ、殖やせ、育てよ强く」可愛い次代の國民を養育することは、單に一家の子としてゞなく、國家社會の責任と愛護の中に强く、健やかに、育てゝ行かなければなりません。
ヴイタミンA及Dの含有量第一
發賣元　伊藤千太郎商會　大阪道修町

國產の權威
世界の絕品
最上の國產保健美容料
レートクレーム
冬のアレ止メ…夏の日ヤケ止メ四季の保健美容料として第一！
本品は今や國際的優良品として世界の市場に輝いて居ります
東京 大阪　平尾賛平商店

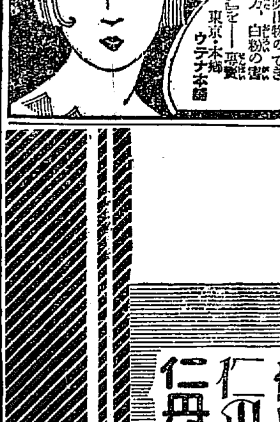
京城若草町大通り　今村病院
內科　小兒科　入院隨意　普通病室　隔離病室
電話　本局　一八三一番

中西テント商會
天幕雨覆日覆製造販賣
電話本局　振替京城二〇七六番

慢性胃腸病に

デブスー氏錠
今晩のんで明朝の容体に御注意
東京 大阪 白木屋 其他各地知名藥店にあり

東京　芳千閣ホテル
一、當館ハ大阪、釜山芳千閣ノ御品貞モ有之御地ノ御客樣ヘハ特ニ御期待ニ添フ準備致シ居リ候
一、當館ノ位置ハ神田區錦町、東京驛ヨリ自動車三分徒歩拾分
洋館三、四、五ノ間和室工賃付食堂アリ當館ハ特ニ御相談ニ應ズ可ク候（茶代廢止）

特許壽香　ウテナ
色白く眞に美しくなる
一度使つて御覧なさい―「ウテナ」の効果はすぐわかります。
色の白さも、美しさも、魅力も、青春も、世の樂しさも幸福も、『ウテナ』愛用者には思ひのまゝに得られます。肌の荒れ、あぶら顔、ニキビ吹出物のでき易い方、色の白くない方、垢ぬけしない方、小皺を除きたい方、白粉の害を除き、上手な美しいお化粧をしたい方は、急いで『ウテナ』を一度御愛用なさいませ。
專賣特許ウテナは色を白く美しくする獨特の新發見から創製された科學的高級美白料で、皮膚科の大家醫學博士赤津誠內先生が有効を證明されるもの、その効力は一度の愛用からすぐわかります。
定價一圓、二圓、三圓―各地藥店、化粧品店にあります。
東京・本郷　ウテナ本舗


受驗戰　必勝　頭　ノーシン

小粒　大粒　仁丹
醫學博士責任劑　消化素口香料
適應症　消化不良　食思減退　胃腸疼痛　心悸亢進　頭痛眩暈　惡醉宿醉　嘔吐惡心　船車ノ醉
仁丹のハミガキ
仁丹の練歯磨
仁丹型體温計
金言

一服でスグ効くねつさまし

世界的文化藥！服まねば一生の損だ

拳銃を突つけ金を受取り 悠々と煙草を吹かす

『來てはならぬ』と叱りつけた 說敎まがひの朝鮮服の怪盜

夕刊既報―府外始興郡内に現はれた拳銃所持の怪盜は、曩に旭町の眞屋辰中席を襲つた說敎まがひの怪盜と、その手口が似てゐるので所轄永登浦署は同署創設以來の怪事件として、直ちに大活動を開始したが證跡を殘さぬ賊の巧みな踏晦振りに、十六日夕刻までは何等手がゝりを得ず、容疑者の檢擧も見ないといふ有様である、事件突發と共に記者が搜索した事實は次のやうなものである

被害者安江正三氏は丁度十五日午後九時半頃、同家玄關口前の座敷でお茶をのんで居たがその時靜かに表戸をあける音がしたので安江氏は來客かと思つて立かけると頭をあけて**白の朝鮮人服をまとひ覆面をしチゲ卷をつけた曲者が『靜かに』**と鋭く安江氏を睨してそのまゝあがりこみ、隱し持つた**拳銃を正三氏の眼前につき出し『安江さんお金を戴きにまゐりました』**といふので正三氏はかねて京釜線の街道にあたる同家では時折旅費に困つた者が金をゆすりに來るので最初はその一種と感じたがあまり落ついてゐるので普通のかたりとは異つてゐるのを見て『金はあるだけ上げますが奧の座敷には子供が肺炎で寢て居ますからなるべく大聲を出さないで下さい』と答へて座敷で次女ミヨ子(九)の看病をしてゐる妻トミコに『財布を出してくれ』と呼びかけた、トミコも氣轉をきかせ、あまり金の入つてない財布を渡すと正三氏がこれみて**『これでは少くない』**と再び安江氏は自分の財布の金をあわせて十圓紙幣一枚一圓紙幣三枚を四ッ折に疊んで曲者に渡したところ、これをうけとつた者は『いや御苦勞』とのべ、なほ安江氏が**『差し出した煙草を吹がして廿分の後この家を出んとしたがその折正三氏かあとに續くと『來てはならぬ』**とやゝ語氣するどく以前の通り靜かにあけて悠々やみに姿を消し去つた、その時安江氏は約廿分後附近の高麗農場に赴き同場員と同行して安養驛前駐在所に通知したのである

暗夜の京釜街道に 物々しい自動車の往來

拳銃用意で永登浦の非常警戒

怪盜の通知に接した安養駐在所巡査は直に所轄永登浦署に通達するや同署では金司法主任が急行となり總動員して自動車三臺に分乘し各巡査にはピストルを持たせ、それぞれ警戒し闇夜中の京釜街道を疾走させ一方安養駐在所を搜査本部として曲者のにげたとおぼしき裏山を包圍する一方京釜線列車に注意を拂ひ安養署は始興、水原をはじめ附近の各署に手配し徹宵して賊の逮捕に懸命となつてゐるが十六日午後六時までには一名の容疑者も引致することが出來ず曲者は巧に非常線を突破し行方がくらまし目下のところは逮捕の見込はほとんど絶望とみられてゐる、右に就し金永登浦署司法主任は語る

『本署始まつて以來の珍らしい強盜事件です宿直の者が電話でその通知をうけとつた時は丁度午後十一時頃で早速全員の出動を命じて逮捕にむかつたのですが賊の人相は勿論、指紋、犯跡とみとめるものは一つもなく非常に困難です、賊のやり口から見て京城の事件の犯人と同一人であるといふことは私の口からなんともいはれません』

覆面、手袋で 大膽極まる態度

日本語が上手な賊 被害者安江氏語る

被害者安江正三氏は總督府後備少尉で廿八年前より安養に居住し同地の内地人中最古參者として現在では同里の耕作組合長をしており家族は同氏夫妻と三人の子供の五人暮しであり同家は安養駐在所から約三丁離れており京釜線街道から一寸それたところで一軒家であるが正三氏は語る

『次女、ミヨ子が十日程前から肺炎でこゝ四五日非常に重態でしたが十四日夕暮あたりから多少よくなつたのでやれやれと思ひ食事を終へてやすまうとしたところ表戸をあけて覆面、並に手袋をはめた朝鮮服をまとうた曲者がはいりピストルをつきつけ『さはいでは駄目だ、金をください』と流暢なる日本語で話すので最初は驚きましたが必ず大膽な強盜に違ひないと思ひ殊にむすめが病氣なものですから氣をおちつけて妻と私の財布を合せてやりました、その間における賊の態度は實に悠々たるもので、はじめて落ちつき金をうけとる煙草を一ぷくすつてしばらく表に出てはならぬと捨せりふを殘して逃げ去りました、早速駐在所に知らせようとは思ひましたがもし危害でも加へられてはと妻と相談して約卅分間ばかりたち高麗農場に赴き同所の人と共に駐在所に訴へました賊の顔にはきゝおぼへありませんが最初私の姓を呼んだ點など家の有様を充分調査して居るものでせう、殘念だつたのは賊の逃走した方向をみのがした事です』

朝博の 演藝館

協贊會が直營する

朝鮮博覽會の呼び物となる演藝館の出し物については、朝博、京城協贊會首腦者において頭を惱ましてをり、本券、新町券では演藝館の下請け經營をなす事を申出でたりしてゐるが、これについて其筋では事項の協議をなす協贊會の釘本理事長、中村、戸島、金谷理事は十五日午前十一時喜代中に、本町券の松永組合長、藤氏等と、老妓役員小三、千代、おたみなど老妓と常磐の師匠などを招き膝をまじえて、余興について協議し、眼の方法など打合せたが、演藝館は協贊會が直營する事に決定し、次いで中村理事より設計についての說明をなし、實際に出演する藝妓の意見を聽取して午後二時會を終つた

白崇禧氏

獨逸病院に入院中

【北京十五日發電】行衛不明を傳へられた白崇禧氏は探査の結果依然公民巷ドイツ病院に秘密に入院中なること判明した

怪盜に襲はれた家 (下同家主人安江氏)

この四月一日から バスの料金値下げ

一區七錢制を五錢制として 車臺も四十臺に

バスは京城府營以來頗る好成績をあげ、府民の利便に資してゐるが、現在一區七錢の乘車料は遞信において

五錢 に値下げ方を要望していたが、府でもこれについて調査中であつたが、一マイル當り七錢收入實績を見ると、一マイル當り十八錢三厘で、二人六分弱の乘客數となり、これを五錢に引下げるときは乘客數三人六分強となり一人強の增加となるが乘車料の輕減と、約錢の不便がなくなるのとで、一人強の乘客增加は不安がないので府では四月

一日 より値下げを斷行する事となつた、本年は博覽會も控へてゐるので、バスの利用は激增する見込であり、この擴張も府民の要望してゐる處であるが現在十臺のところへ、目下石川島造船所へ十臺の注文を發してゐるのでこの上更に十臺の注文をなす事となり、五萬四千圓の

起債 をして、四十臺となり同時にバスの陣容をかためる事となりふ、車庫の新築、設備の完備と自動車器具機械も購入して内容の充實をはかり、バス本來の使命を發揮することとなつてゐる

各官署でも 靑訓を援助

成績がよいので 總監の名で通牒

規律節制を重んじ眞に公民として恥かしからぬ人を作りあげるための靑年訓練は

全鮮 いたる所で歡迎され二月末現在は訓練所が二十七ケ所(總督が認定したものは二十二ケ所)に達し、生徒數は京城三十六名、龍山十九名(この外に朝鮮人の入所希望者五名)仁川二十七名、開城二十五名、大邱二十七名、浦項二十一名、方魚津十一名、大浦二十七名、釜山三十八名、東萊三十名(このうち朝鮮人十七名)鎭南浦四十一名、馬山三十七名、大田三十六名、群山五十一名、全州十七名、忠州二十四名、松汀里二十七名、平壤十八名、鎭海二十九名、新義州十一名、元山四十一名(このうち朝鮮人四名)、城津三十六名、羅南三十名、淸津四十名、羅南五十二名、會寧三十一名の多きに達してゐる、のみならず

官民 双方は一般に靑年訓練の効果をよろこんでこれを援助し發展を促してゐて、元山府陽地洞の農林業永井和松氏のごときは同氏經營の農場に靑年訓練を應用し歩兵操典や陣中要務令の綱領はそのまゝ事業にあてはまると農場典と名づけてみづから小隊長となつて職員を訓練してゐるので作業能率が目に見えて上がり附近農場の模範になつてゐる、しかしなかにはわからずやもゐて、京城タバコ專賣局では同局員で歩兵中尉の鈴吉氏が訓練所指導員となつたのに對し事務に支障を來たすと來賞與を減じ、場合によつては退職させやといふ無理解振に靑訓關係者が

相談 の上一まづ指導員をやめさせ同局長の諒解を得て本年四月の新學期開始の際更に指導員に任命することになつて解決したが、これがため政務總監の名をもつて先日總督は第一次官署に對して靑年訓練の援助方を通牒した

朝鮮の迷信研究

第一部として發行される 村上氏の『朝鮮の鬼神』

本府總務課が囑託村上智順氏をして編纂せしめてゐた朝鮮の鬼神と題する迷信の調査は漸く印刷を終り發行の運びに至つた、同書は六百ページ近い浩瀚な書物で朝鮮人の信仰と迷信

生活 を知るには誠に好個の書籍で本府では右を第一部とし更に第二部第三部の發行をなすことゝなり村上氏は引續き調査中である、朝鮮の迷信は朝鮮人生活に根強い影響を與へこの迷信のため多くの財産をなげうち、又命を棄てる者などザラにありこれを如何にして善導して行くかは實に社會生活上重大な問題とされてゐる

迷信 は無智文盲の徒のみでなく智識階級にも行はれ先般社會の耳目を聳動させた李[illegible]局長の牧師事件の如きも端的に現はれたる金氏の迷信が生んだ現象の一つといはれ朝鮮統治上にも重大な關係のあるものとされてゐるなほ村上氏の著者による第一部は鬼神篇と觀鬼篇よりなり氏が當時の考察を加へ實例としては本紙多年の記事を拔粹記入されてゐる

救援作業捗らず

【アラバマ州トロイ十五日發電】ピー河堤防決潰により激流の中に取殘されたエルバ市民に對しその後あらゆる手段を以て救援作業が開始されてゐるが船の不足と強力な探照燈が手に入らぬため未だ救援はかどらず然し夜明けまでには目的を達成しうる見込ありと報ぜられてゐるなほ同市の旅館エルバホテルは激流に洗はれて倒潰したが死傷者ありや否やは未だ判明しない

捨つた河豚で死亡

十五日午後一時頃永登浦町派出所金巡査が戸口調査中永登浦町三丁目二四四番地土幕内に女の死亡し居るを發見調べた結果同土幕居住林淳泰妻金姓女(三三)と判明、右は十四日本町方面塵芥箱から拾つて來し河豚を食ふ相ぐの農家族四人で食して後苦悶を始め、午後十時頃死亡したもので、死體は檢死の上夫林淳泰に引き渡した

客車の火事

十五日勝湖里線で 一列車を燒き乘客は無事

【平壤特電】十五日午前八時二十分平壤驛發勝湖里行き混合列車が同八時五十分大同江前梨里にさしかかつた所二、三等客車より發火し列車は急停車して同車を切離し、四十餘名の乘客を救出したが同車は全燒、十一時半鎭火した、損害三萬圓、原因は乘客が所持した揮發油の不始末からである

國務長官の乘船に 腦脊髓膜炎發生

九名死亡廿餘名羅病

【ホノルル發聯合】アメリカ國務長官に新任すべき前フイリッピン總督スチムソン氏一行が便乘せるダラー汽船プレジデント、ピヤース號は十四日ホノルルに寄港したが同船二等船客の間に腦脊髓膜炎が發生し續發すでに横濱ホノルル間航海中七名死亡し二十五名の患者はホノルル到着とともに病院に隔離されながらその内にまたもや二名の死亡者を出し他の六名は危篤狀態にある

入學試驗合格者

京城中學校 (受驗番號順)

▲中西利雄▲藤澤辰一▲山崎弘介▲切山良▲野田靖▲小林祐二▲大隣清太▲金川保行▲岡明▲宮田大藏▲前田益男▲宮崎源吾▲德江正隆▲坂田辰雄▲松山一之▲鶴見芳郎▲北川千俊▲松尾經雄▲岩井一成▲鍋島國夫▲佐能孝臣▲中村進▲黒渡茂信▲中村博▲新田泰夫▲岩淵學▲奧島保▲今村克人▲畑本章▲葛西登▲久保繁▲小林知巳▲槇醍瀰▲福島鷲彦▲岡田謙三▲杉田重男▲岩原好夫▲富田川正安▲國枝治男▲西原正▲堤四一▲今井正史▲小松雅夫▲山本殿▲坂井芳郎▲市原八百喜▲室田誠▲森田清孝▲松本龍三▲鍋島隆▲前田侃▲田中丸治▲小林良臣▲新田禮三▲瀬戸口雄▲古川敬港▲美原邦俊▲久津輪三郎▲岡部司郎▲小島孝須▲森原一男▲香川敏行▲高橋利通▲河野浩▲千田暦一▲殿所辰之助▲松尾茂孝▲西八男▲島田博一▲川上直人▲萩野長太郎▲小野勝雄▲增田明▲平井武臣▲井上清正巳▲河田公明▲星山直道▲馬淵辰郎▲鹽田博正▲小倉裕▲古川陽三▲鈴木敬次郎▲小野道明▲武藤齊▲妹尾隆之▲山本一郎▲山田偉剛王▲羽鳥正典▲毛利金治郎▲伊藤征藏▲丸山忠雄▲東田秀雄▲中本晃▲細田岩夫▲石村俊介▲淺井清彦▲中島直明▲石川和泉▲堀内道生▲田中靖七▲鈴木卓三▲田中激義▲石塚俊一▲五十嵐靖男▲岩谷滿▲長野保▲寺島重通▲神克博▲今村利男▲朝山兆▲島田幹作▲住友平三郎▲堤博▲伊能靜夫▲根津進一▲長谷川太郎▲牧野正方▲篠澤正▲工藤和雄▲佐藤吳▲井上松夫▲吉武信▲大強三男▲三吉保▲吉峰滋 毅▲伊藤稔▲森 井良雄▲藤井忠夫▲宮崎宗三郎▲鈴木良之▲國ト田剛威▲上原福藏▲内海芳雄▲前川清治▲增永勇二▲西堀正三▲佐渡ⅱ四郎▲穗永清▲首田敏雄▲中村孝▲久保敏博▲永井修三郎▲片山恒▲米林浩一▲加内辰雄▲安藤浩▲又得▲西川泰郎▲岡本誠▲澁正夫▲久野辰男▲三角健二▲水口英雄▲松下孝▲黒川常夫▲吉岡慶二▲川添忠正▲田畑辰男▲鈴木勝吉▲森田敬三▲古川辰巳▲鈴木賢▲谷逕也▲能勢道▲森清成▲澤田英悟▲吉本貞臣▲土居正 義▲千賀 裕▲佐々良雄▲小川定巳▲勝谷幸三郎▲高本清一▲松山昇一▲木崎三郎▲岡川照▲信原賢▲瀬戸義雄▲中川茂夫▲山田茂男▲增田敏郎▲鍋藤始▲吉川啓次郎▲大武正▲岡村秀三▲鹽原一男▲谷岡治夫▲鶴山一郎▲佐々木辰雄▲後藤悟良▲瀬戸謙▲宮崎正巳▲富永利次▲倉石澄夫▲竹原辰和▲近藤弘▲ヘルマンシールパウル(以上二百名)

異り種のパウル君

京中に合格

京城中學校入學者は十六日午後四時發表せられたが、内にヘルマンシール、パウルといふ變つた名前がある、當のパウル君は仁川第二小學校の六年生で今回難關を突破して見事にパスしたもので、西洋人として同校入學の新記錄を作つたもので、父君はドイツ人で仁川の獨逸洋行支配人ヘルマン、ヘンケル氏で仁川實業界の中心人物

京畿道立商業 (いろは順)

▲伊藤隆平▲伊藤明德▲一田源夫▲市野洋健兒▲池田實▲井斗植▲井和超▲井熙演▲登喜康▲馬場武▲堀内定夫▲朴明熙▲朴琦圭▲土井謙一▲戸澤忠夫▲富田太田▲近石英夫▲趙學允▲趙鍾璟▲李瀚祐▲李統(江華郡出身)▲李甲誠▲李相龍▲柳永昌▲李完錫▲李圭錄▲李永李允賀▲李燦一▲李敬熙▲李昌根▲林茂實▲越知總郎小山卓衛▲小野正次▲若山眞大▲川畑貞光▲加納啓一▲河瀬平八郎▲眞山由次▲高見大作▲田邊正清▲田淵勝▲山崎晉吉▲津田辰男▲中西宋太郎▲南島清光▲村山雅雄▲村辻利次▲内藤桂▲宇土義男▲大庭千里▲大賀美英▲黒松榮二▲栗山一郎▲草野文治▲具仁會▲山口肥佐行▲山崎勝▲山本勁▲丸尾明▲眞一郎良太郎▲牧龍太郎▲元敦復▲玄容燮▲深堀清雄▲福田常雄▲文學淳▲伏見宗一▲小林泰明▲後藤輝臣▲黄憲金▲洪顯南▲江藤春謙▲錫衡鎭▲鄭乙文▲鄭寅奉▲青木忠秋▲荒内安宮▲新井豐▲天弘卓二▲崔龍煥▲崔光皓▲崔文海▲殷昌宗雄▲木村茂▲木村治▲金亚玉▲金祈洙▲金榮倍▲金範作▲金永根▲金燦泳▲金榮周▲金晋鉢▲金碩培▲姜斗善▲岸本正夫▲宮澤嘉典▲朱炳毅▲朱炳萬▲任元彬▲晋明鉉▲清 彦生▲平野俊郎▲関敬和▲諸隈健治▲杉正▲杉本恭雄▲鈴木山(以上いろは順)

けふ午後四時から 淸元の夕

…本社來靑閣で…

本社後援の一同淸元の夕はいよいよ今十七日夜本社來靑閣で開催するが淸元の大會だけに出演者は朝鮮初の淸元を通じて盛況が豫想される出演者は十二歳の天才少女土井絹枝孃、多美孃ら新進を初め職日來報道の冠老中堅すぐつての出演であるから觀物のされ方が多い入場料は一圓で當夜會場でもプレイガイドでも發賣してゐる(寫眞は出演の花蝶と都園)

壹圓八拾錢が 貧富の岐れ目

諸君さん!大阪朝日の金儲け實驗談『商賣押切帳』を御覽下さい、誰でも應用自在です(全國書店販賣)

ヤマサ醬油 品質日本一

列車顚覆 死者無し

【鐵道省公報】

【東京電話】鐵道省公報=十七日午前[illegible]行上り六號列車事故は機關車脱線顚覆、郵便車一、客車三輛傾斜、驛員一輛脱線、機關手重傷、助手一名重傷、一名輕傷、乘客四、五名輕傷

缺席判決の 強盜犯人

鐵原で逮捕

大正十年四月十九日京城地方法院において強盜傷人の罪で懲役十年の缺席判決をうけた李聖甲はその後轉々姿をくらまして惡事を働いてゐたが十六日朝鐵原において警察の手に逮捕された

漁船の被害 頻々

昨今の釜山地方は氣溫の低下と共に烈風が吹きあれ漁船遭難も大概遲れがちであるが牧の島沖合の小蒸汽船は内地人一名朝鮮人船員四名乘込み釜山沖合にて出漁中十四日午後一時頃加德島附近の海上にて激浪のため轉覆し乘組員は通りかゝつた船に救助されたがその他を流失損害千圓同じく金海加德面訥次島里安成丸(その他一名)は十三日牛山より生魚を積んで釜山へ向ふ途中同日午後三時半頃鎭海の南東三海里の沖合で遭難し激浪中を漂ひ漁船釜山丸に救助され其他の船員はそのまゝ行方不明となり消息がないので目下搜査中である(釜山)

旅館で 阿片自殺

何處の者とも知らぬ

十四日夕刻慶州邑砂町永信旅館に年齡三十二三才の朝鮮人が宿泊し夕食後東向の部屋に就いたまゝ翌朝になつても起床せぬので旅館で不審に思ひ窓をのぞいて見ると同人が苦悶して居るので大騷ぎとなり直に附近の同山醫院長の診察を受けた處多量の阿片を呑んで居ることが判明なほ懷中に二包の阿片を所持しあり自殺を計つたものらしく生命危篤であるが何等手係になるものがないためどこの者とも知らず慶州署で身元取調べ中である(新義州)

アナウンス

▲世界の醫學界を驚かせた慶大醫科大學の加藤元一博士の新學說に關する慶大石川教授との討論は每年日本生理學會の大問題として注視されてゐるが▲本年は加藤教授も早國内の異說を豫期せず、アメリカへ出かける事になり▲來たる四月東京で行はれる日本生理學會には出席しないので、加藤博士の高弟として聞こえてゐる城大教授大塚藤吉博士は、師の留守中の同學會に出席して再び問題となつた場合は、討論の大舞臺に立つ事になつた

土木科生徒募集

目的 水利、鐵道、一般土木技術者ノ養成 二年修業夜間授業七十五名

願書締切 四月二日 入學試驗四月六、七日

京城府明治町二ノ八二 京城工學院

生徒募集

實科 日本女子藥學校

中京高等女學校

中京裁縫女學校

▲二年生二〇名 ○願書受付三月末日迄 規則書要切手二錢
▲家事科 裁縫專攻科ハ中等教員無試驗檢定ノ特典アリ
▲東京府下代々幡町幡ヶ谷七二八 (電話四谷三三二番)
▲高等師範科ハ中等教員無試驗檢定ノ特典アリ 入學案内要切手 名古屋市中區南新町 (電話本局三五〇四番)

品のよいこと おいしいこと

シンアロルート

ニレット

チョコレートサンド

全國到る處の菓子店食料品店にあり

東京品川 東洋製菓株式會社

朝鮮地圖販賣元は(一覽表進呈)

京城長谷川町 小林又七朝鮮地圖部

朝鮮水電御視察には

松興旅館

咸南新興郡松興里

小兒科 吉田醫院

醫學博士 吉田得次

診察 自午前九時至午後二時

京城黄金町四丁目 (電話龍山四八番)

玄米入 ほうらい茶 こうらいやなぎ 高麗柳

京城 水月堂 電光八〇六

西洋剃刀 バリカン 安全剃刀 其他理髪具一切 カタログ呈

東京市淺草區新福井町五番地 中村富雄商店

型錄呈

設計請負 衞生工事 給水工事 煖房工事 消毒裝置

朝鮮・京城 杉山製作所

京城府竹添町二丁目 電話光一八一一・五四番

頭痛にノーシン

京日案内

國産 若狭の淺漬 業者に限り相場表進呈 産地直接製造元で仕入は 本箱港 奥田徳一商店

賣地 交通至便、眺望絶好 日常好き理想的住宅地 所在地東大門外安岩里永導寺入口 希望の方は電本局一參へ

貸家 一枚 便利好、住宅付十五枚 九十 御用の方 錬兵町(電話龍山六〇番)

恩給 立替を受ける方は不正な者に乘ぜられぬ様 信用ある店は取引の安全 京城府古市町 公債證券取引店 江州屋本店

讓店 本町四丁目市場附近 四季向き居抜のまゝ格安に讓る 姓名在社

空間 南山町三ノ二一 六疊、四疊半二間にて賄付 電氣會社横上り約半丁 津賀家

刀劍 日本刀研及御手入の御用命は 京城古市町四三 電本五六四番 吉岡刀劍店

恩給 年金の立替 手數料は低利 京城本町六丁目 取引同業者へ

縄叺 安賣 御用の方は京城古市町四三 電本四一六四 京城縄叺株式會社

貸家 京城府錬光化門 一三〇六 神谷

外務 提出書類は履歴書に三名の保證人の同意書 申込は京城支店へ 三井物產生命保險部

淋梅 專門 京城本町三丁目 診察時間 午前八時より 和田醫院

運送 運賃は京仁間の貨物を自動車にて取扱ます 京仁間の運賃と同額です 長谷川町 電本局三八四番 丸山運送店

十字 天帝一揆 (107)

佐藤惣之助作
多田穀三畫

百姓一人に 武士十人

立花の家老、十時三彌は屈強の古强者で、槍にかけては名ある者である。

今、十時の突いて出たのは、充分の見込みのある處で、長足に出やうとした大矢野が、それに氣づいて引くく先手の筒合であつたから、忽ち一揆の二三人が突き伏せられる。次いで四五十人あまり突いて來る。名のある敵に飢えてゐた大矢野は、それつと見るより引返し、雑兵共を蹴ちらして、馬からひらりと飛び下り、一騎打の槍を運むで十時に突かゝる。

『立花の先手、十時三彌ぢや。この槍を受けて見よ。』

彼は大矢野と知つて、渾身の勇氣が迸る。

『推參な。』

大矢野ははげしく突かける。

カチリと十時の槍が大矢野の左のかゝまりに突込まれる。

大矢野はパツと鎌形の槍を避て十時の槍を右手につかむで引延びりがゝりに飛びかゝる。これは十時が少しだらろいで避けやうとするのを、大矢野は當にかゝつて押し倒し、すぐに十時の首を搔き切らうとする。

十時は年に於て、大矢野を跳ね退ける力がない。とう／＼上になつた大矢野が、短刀をぐさと突き込む。

十時は大矢野が小指を嚙み切つたが、とう／＼咽喉もと深く突きこまれ、急所を避けてあらぬ方をひつ搔く。

『それ大矢野を生捕れ。』

立花の一隊は槍ぶすまをくんで取圍む。囲まれては一溜のこと、あやふしと見たので大矢野は、十時を突き放してかたはらの馬にひらり。一目散に一揆の隊に迫ひつく。

千々輪、左内はと見ると、隣の馬田の隊とにらみあつて、馬田先手、左衛門、鍋田の一隊にぢりぢりと押しつけられてゐる。

『退たまへ、これまでぢや。』

大矢野が呼ばるゝので、千々輪も左内も部隊を取纏め、一つになつて靜々と退く。とう／＼城門まで退いた時には、一揆はほんの十二三人ほどしか戰死してゐなかつた。

それと反對に、先陣の小笠原一家では四五百人を失ひ、立花の手では先手の大將の十時三彌を失つた。

三彌は深手で、とう／＼陣へ退いてから間もなく落命した。

『無用な引餌ぢや。味方の混亂も結局あの餌をきいたからだ。いかにきびしい戰法とはいへ、今一と息で小笠原勢がもり返すところをあの餌で總崩れとなつた。』

『いらざる東法立てだ。わが手もいよ／＼敵に槍を入れやうといふところで、あの瘋狂な喚鐘ぢや』

立花の陣の中では、さういつて伊豆守の引餌を批難する者が多かつた。

たゞこの一戰で、思はぬ貫目をつけたのは鍋島一族で、甲斐守さすら、小笠原の一手に返忠の者があり、一番のりをするであらう。その功を横台から奪つてもよくないと、神妙に陣立をかたくし、揚げで下知を待つてゐたので、千々輪の一隊とにらみ、つたばかり、一歩も手勢を動かさなかつたので、又何等の失策もやらずにすむだ。

とにかく一揆の百姓一人の竹槍に、寄せ手の屈強の武士が十人づゝもやられるに至つては、伊豆守の軍略もすばらしいとはいはれない。

營養 乳菓 米の胚芽應用 米の精

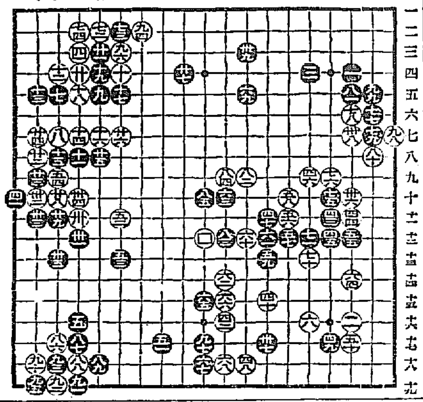
金剛饅頭 本町 龜屋

讀者らん

▲少數汽車通學女學生たちに特に便宜をはかり、放課後から汽車時刻までの數時間を自由に放任しておかないで、圖書室を開放して讀ませたら大變よい結果を得られると考へる（苦勞生）▲普通試驗の初歩から解いた分り易い算術の教本或は教科書を御存知の方は本欄に御知らせ下さい（普文受驗生）▲マンドリンを初歩よりお教へ下さるお方は御座居ませんかあへて立派な先生でなくともよろしうございますおひまな時間に遊びに來て結構でございますから（A B C子）▲三月十二日讀者欄洞六九ノ五柳生君に御答へいたします小野雅堂先生の所研究へ東京市神田區猿樂町三ノ二社團法人斯藥會であります（京城府圖書館長）▲洋服（婦人服、子供服）を少しばかりお稽古したいと思ひますが誰か個人のお方でお教へ下さる方は御座いませんでせうか（S子）▲市内に洋傘を修繕で骨を直す確實な店はありませんか（尋ね生）

圖碁新局 （五）

先 鈴木秀哉（三段） 坂口常次郎（初段）



八十一 は五　八十二 ぬ十　八十三 上十八　八十四 れ十八　八十五 ぬ十七
八十六 ち九　八十七 れ十七　八十八 そ十八　八十九 わ二　九十 い七
九十一 り十二　九十二 た十七　九十三 た十九　九十四 そ十九　九十五 ろ五
九十六 り九　九十七 た十八　九十八 れ十九　九十九 か三　百 ぬ十二

京龍館

赤頭巾と呼ばれて居た有名な三次が改心して目明の手先となつた。果然江戸中に大事件か？秘密の鍵は木鼠と異名をとつた三次の活躍は果して？巧みな杉狂兒獨特のユーモアと皮肉の大飛躍！

映畫 京龍館 より

米國パテー支社提供 十六日より ルス・ローランド嬢主演
運命大活劇 **白鷺** 全四巻
白衣の騎手に救はれて經育に向ふ列車中に赤い一隊に襲はれ……果して事件は如何に進み行くか？

大日活太秦時代劇部超特作品 故松之助一周年記念
原作 監督 池田富保
故松之助 大河内傳次郎 **荒木又右衛門** 全拾七巻
河部五郎 市川市丸 新妻四郎 葛木香一 外オールスターキャスト
劍聖 荒木又右衛門一代記

大正館

十六日より 鐵都の人生二映畫特別大興行 果然新レコードを作り 日活現代劇部所 長谷次郎監督作品 … 新しい涙に終る描くところは…

さらば故郷よ 八巻

地獄街道 八巻

柳咲子主演 石山龍嗣、小藤田正一、… 泉長二郎、… 非常時… 小松… 子

中央館

マキノ社 十五日封切 三大映畫特別提供

大安日 全四巻
マキノ第二回特別大興行 良太氏代監督作品

水戸黄門 全十三巻 東海道篇
市川幡谷、南光明、谷崎十郎、河津清三郎、小金井勝、市川新蔵、松浦築枝、大林梅子、外マキノプロダクション超特作

東亞倶樂部

十四日より封切上映三大名篇
ぬかるみ小路 全七巻
御用盗三次 全九巻
河合映畫特作品 探偵時代劇

喜樂館

十二日封切 日活時代劇部特作
流轉 全十巻
遠山櫻 八巻

濃い うまい トリスソース

トリスは濃い良いソース故
ダツとお皿に迸り壜に垂れ
卓布に染むの無駄をば恐れ
おもふがまゝのほどほどに
チユ！と輕く出切つて了う
よう新案振出し式の壜の口

代理店 株式會社 祭原商店
ソ36

●受驗準備 ノーシン 出來

は頭が第一である●頭のボンヤリした時●頭のクシヤクシヤして學課の進まぬ時●鉢卷子印の荒川ノーシンをタツタ一服のんでごらん忽ち頭はハツキリし思ふ存分面白い程勉強が出來る●ノーシンは醫學博士森田宮孝先生●御推薦の優効藥にして●づつうなどのむとすぐなほる●論より證據●すぐ試みられよ

滋養强壮劑 ゼートマソ
獨乙バイエル製

潑剌たる健康は ソマトーゼの服用と適宜の運動から!!

過去三十年の歴史と全世界の醫大家より光輝ある學術的確證を得たる肉蛋白製劑ソマトーゼは滋養强壯劑として理想的の使命を果し、體力を充實せしめ眞の健康を得せしむ。本品は世界的に信望ある獨逸バイエル製品にして一般病弱體質者、疾病恢復期、姙婦、神經衰弱等に卓效を奏す。

包裝・價格 末 五〇瓦 二、五〇 一〇〇瓦 四、五〇 液 一瓶 二、九〇

（御中緑の方へ「健康への門」なる說明書進呈、各地藥店にて販賣）
バイエル・マイステルルチウス 藥品合名會社
神戸局郵便私書函一〇七番
S. 205

內科 胃腸科 神經病

京城本町四丁目百五十五番地（電話本局二二七四番）

北島醫院

色白くなる ハータ 過酸化 石鹸

東京室町 寿屋製藥株式會社

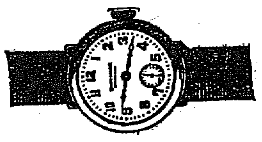
米菊 酢 菊菱

味も名も良い 菊菱は
林酢釀造場へ
京城本町四丁目
御注文を御願します

●性の秘藥 早○延長藥ユートピアン

早○で慣の快樂なく悲觀の人、身體虛弱又は神經衰弱及包莖の爲時間短き人、健康人とする人、老年にして愉悦を味はんとする人……本劑は禁慾の期間を○せられよ……

京城府外二子町 …… 振替東京六一八八番



新學期の奉仕大廉賣 年一度の大々的特價提供

毎年各位の大なる御期待と好評を博せる今回の賣出は大なる犠牲を拂ひ優秀堅固なる品を精選し平素の御愛顧に酬ひんが爲め業界類例なき安價にて提供仕候間何卒一度御來駕御批判賜り度候

瑞西製クローム側十型アンクル十石入腕時計 金四圓八十錢均一
瑞西製クローム側九型アンクル十石入腕時計 金六圓六十錢均一
瑞西製クローム側九型アンクル十五石入腕時計 金六圓九十錢均一
瑞西製十八金側八型アンクル十五石入腕時計 金八圓均一
瑞西製金側十型アンクル十五石入腕時計 金十二圓三十錢均一
瑞西製十八金側九型アンクル十五石入腕時計 金十二圓九十錢均一
瑞西製十八金側八型アンクル十五石入腕時計 金十三圓七十錢均一

愈々來る十日より卅一日迄 此機を逸し悔を殘す勿れ

京城本町一丁目 株式會社 大澤商會京城支店
電話本局（長）二六二番・三三九番・四八〇番
振替京城 一三一番

資本金 五百萬圓
朝鮮火災
本店 京城朝鮮

銘酒 ワカマツ

釀造元 若松商會
大邱府 電話長三二一番 二七九番
京城出張所
京城府櫻井町 電話本局長九七五五番

ホシ胃腸藥

ホシの 胃腸藥は 滋養食料
これを服むと召上つたものゝ滋養が倍になる……

ホシチエーンストア（元の特約店） 募集
申込は 鮮滿本部へ

釜山府本町 ホシチエーンストアー 鮮滿本部
東京・大阪 星製藥株式會社

辰馬汽船 仁川出帆

大新丸 三月十六日 門司、大阪、神戸
辰山丸 三月廿二日 宇和島、阪神、清水
喜春丸 三月廿五日 芝浦、名古屋、伊勢灣
大新丸 月 日 阪神、芝浦
辰山丸 月 日 阪神、名古屋
天長丸 三月二十日 清水、芝浦

仁川本町四丁目
仁川代理店 朝日組回漕部
專用電話 五二九六番・六八二番
長距離 市內電話 五六一番・四番

大阪商船株式會社

●神戸、大阪行（群山、木浦經由）
蘇州丸 三月廿一日
湖南丸 三月廿三日
大城丸 三月廿七日
大連丸 三月十五日
長安丸 月 日
大河丸 月 日
△筑前丸 三月十八日
●名古屋、清水、東京行
△天佐丸 三月十五日
△德賀丸 三月十七日
●大連行
關東丸 三月十九日 前九時
長崎、鹿兒島、三角行
●元山、雄基行 元山丸 三月廿五日
●清津、雄基行
●河南丸 三月十九日 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
武昌丸 三月廿四日

內地各港出帆主要航路

●歐洲行毎月一回 ●北米行毎月二回 ●南米行毎月一回 ●濠洲行毎月一回 ●孟買行毎月二回 ●甲谷陀行毎月一回 ●加爾各答行毎月二回 ●紐育行

（注意）右は船客御断
京城代理店 大阪商船株式會社仁川支店
電話二一〇・二一一番
京城代理店 株式會社 仁川本町一丁目 電話一七〇・二二七番
專用電話 仁川港町六 電話七一番・四三〇番

仁川出帆

尼ヶ崎汽船部
●群山、木浦、阪神 月 日
伏見丸
●群山、木浦、阪神 三月十九日
玉榮丸
●群山、尼ノ崎、阪神 三月十七日
赤城丸
●群山、阪神 月十日
百福丸
●群山、尼ノ崎、阪神
第八善榮丸

尼崎汽船部岡崎汽船會社代理店
高杉商店回漕部
仁川海岸町（電話五九〇番）

森信汽船出帆

▲江華島行 毎日出帆
▲安津行 毎日出帆
▲延坪島行 月六回出帆
▲黃海道 隔日出帆
▲平壤行 隔日出帆

各沿岸行帆船貨物ヘ一本杜穩通部取扱
仁川府 電話（長距一六三番）
森信汽船株式會社

嶋谷汽船 仁川出帆

○寄港地＝天津、大連、鎮南浦、群山、木浦、釜山、浦項、城津、清津、雄基、興南、元山、文川、新浦、伏木、新潟、小樽、函館、大泊、室蘭、釧路、樺太、根室、小樽……
○各船共總噸數二千噸以上ノ優秀船客容船ニシテ無線電信設置ヲ有ス

大連天津直行（大連汽船天津大連航路接續）

仁川發

△群海丸 三月廿一日未明
△大成丸 三月廿一日未明
△長成丸

裏日本北海道 樺太行（群山、木浦、釜山經由）

鎮南浦發

代理店 日鮮海運出張所

△群海丸 三月十五日午後
△大成丸 三月十六日午後
△長成丸 三月廿一日午後

仁川發

代理店 日鮮海運株式會社

△群海丸 三月十六日午後
△大成丸 三月十六日午後
△長成丸 三月廿七日午後

○各船共三千噸級優秀客船ニテ無線電信裝置アリ
嶋谷汽船株式會社出張所 電話五八八番
仁川代理店 本町四ノ一 日鮮海運株式會社 電話五〇一〇八番
京城代理店 國際運輸株式會社 支店
鎮南浦代理店 日鮮海運出張所

朝鮮郵船 定期 博多航路

●慶州丸（博多行）
三月二日 西鮮各港經由 同三月二十六日 北鮮各港經由 博多行
●清津丸
清津雄基線 清津雄基間 毎日隔日 同 午後一時
雄基発 同日 午後七時
清津発 日 正午十二時
咸南丸 午後六時

●仁川出帆（代理店國際通運支店）
東京行 金剛山丸 四月七日
大阪行 慶州丸 三月二日
長崎三角 京城丸 三月一九日
鹿兒島行 湖南丸 三月二十日
木浦行 昌京丸 三月一九日

○木浦出帆（代理店山野回漕店）
東京行 天安丸 三月一九日
大阪行 芝浦丸 三月一八日
西洲島行 西州丸 三月一九日
多島海行 統營丸 三月一九日
仁川行 昌原丸 三月二一日
釜山上海行 丸 月二六日

○釜山出帆（代理店大池回漕部）
東京行 天安丸 三月二一日
東京西鮮行 長白山丸 四月七日
大阪北鮮 芝浦丸 三月二〇日
大阪西鮮 江丸 三月二五日
長崎行 濟南丸 三月二二日
大阪線行 京城丸 三月二九日
北鮮行 春川丸 三月二一日
浦鹽行 釜山丸 三月二九日
上海行 平安丸 三月三一日
鬱陵島行 隱城丸 三月一八日
江原道行 雄基丸 三月一九日
西鮮行 錦城丸 三月二〇日
宇品大阪行 立神丸 三月二六日
浦項元山行 立神丸 月 日

○元山出帆（代理國際通運支店）
東京行 長白山丸 四月五日
大阪行 清津丸 三月二九日
大阪行 慶江丸 三月二二日
沿岸雄基行 忠清丸 三月二〇日
江原道行 錦江丸 三月二一日
鬱陵敦賀行 鶴江丸 三月二四日
雄基行 春川丸 三月一九日
浦鹽行 清津丸 三月二四日
宇品大阪行 立神丸 三月一九日
清津直行 立神丸 四月六日

▲右之外各地北鮮時臨時船ヲ配船致シ船腹ノ潤澤ヲ取計ヒ居候

●日本郵船出帆
歐洲行 白山丸 三月二五日
來港行 大洋丸 三月二八日
濠洲行 安藝丸 三月二〇日
三月二七日
四月一日
四月九日

●釜山出帆（郵船釜山回漕店）
釜山出帆（代理店釜山回漕店）
濟州行 各港寄港 毎日前十一時
麗水行（急行） 毎日前十一時
木浦行 各港寄港 隔日後一時
馬山行 各港寄港 毎日前九時
統營行（急行） 毎日夜半
浦項行 各港寄港 毎日後十一時
方漁津行 各港寄港 毎日前十時
●木浦發（扱店吉田回漕店）
釜山行 各港寄港 隔日後十時

京城南大門通り 朝鮮郵船株式會社 電話本局四一九五番 四一九六番 四一九七番 四一九八番
釜山支店 大倉町 電話長一八四番
元山支店 海岸通 電話長一三四番
仁川出張所 海岸町 電話長三五一番
京城代理店 國際通運會社 電本一七九、三一一〇番

仁川汽船出帆

●海州行 江華、甲串、海州 隔日出帆
●延安行 喬桐、甲串、延安經由、仁士里、徐漢浦 隔日出帆
●仙掌行 海津、富里浦經由 隔日出帆
●德積行
●鎭南浦 鎭津行 毎月八回以上出帆
●瓮島行 毎月十回以上出帆直行
●外浦行 毎月九回以上出帆（江華島西浦經由） 僑島、仙水、乾坪經由
●龍游島行 毎月十回以上出帆
●南陽行（水原經由） 靈興島、大阜島經由 毎月十回以上出帆
各沿岸行汽船帆船貨物取扱
鯨油蒸汽貨物一般取扱
仁川府港町（築港）海運部

株式會社 仁川汽船會社
仁川府港町 電話六一番・一四〇番
荷捌所（電話一〇五八番）